

アップデートインフォメーション

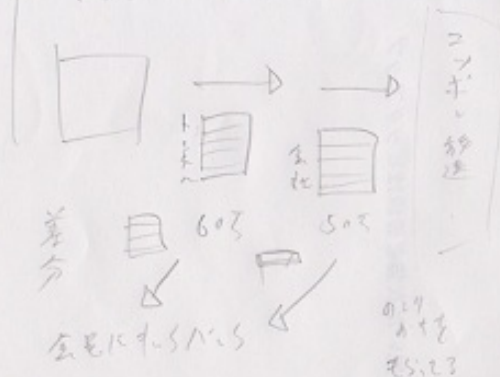
MEN'S ONLY05

GOTOCHIH*gotoh chihiro

Architecture Product System

サイズと色 広さ

日大 百五ノテ



日大
ア
ナ
フト
部

YAMI NO
NICHIDAI

最新更新情報はこちら

[MEN'S ONLY06](#)

おすすめコンテンツ

随筆 [ミニマルミュージックは劇伴に向かない](#)

書評 [幻のG3.0 『押井言論 2012-2015』 押井守](#)

日記 [経済学は天文学なのか？ 1.24](#)

批評 [劇画再考](#)

2018年12月某日 休養宣言

休養をとることにした。

理由は日記の「休養する」のところで書いてあるので、そちらを。

ペースはだいぶ、間隔があくようになる。

「GAME REVIEW SPECIAL DOMESTIC DEVELOPER」は完成するまで、やめないけどね。九州のゲームを作る会社がtagtypeの情報に触れる機会があったのに、それを自分たちで潰しておいて、勝手にいじめられていると、思っているらしい。

えとう乱星さんと田川さんがゲームを通じて出来たプロダクトを、踏みにじっていたのに、そうプロダクトを知っている人材を登用しなかったのだから、普通、イメージキャピタルが悪くなる。

それはレベルファイブも同じ。

2017年12月19日 ぼろぼろ

疲れすぎている。

寒い。

それで具合が悪く、更新日の日付が一日ズレていたり、軽い脳梗塞みたいなのがあって、体調不良になったかもしれない。

「オイラ、鴨志田穰みたいに、なっていくのかな」

そんなことがあったため、やっぱり「GREEN BOOK」にちょっと手違いがあった。

バックタイトル、裏表紙を入れ忘れていた。

あとがきを入れ忘れていた。

お正月まで、休もう。

「製版技術の向上とマンガの進歩」と「Shaon」の「美学って何？」を更新していたことを忘れていた。

「GREEN BOOK」を読んだら、「ズルい。お金を払った人には、正確な固有名詞が書かれているのを読ませている」と、知られるかもしれない。

横本の方も、「映画を観たⅢ」にキューブリック版の『ロリータ』を観た件を追加した。

2017年12月11日 まだキャプションが完成していない

できていたら、「シルエットアクター」に修正がある。

後は横本に修正があるか、無いか、なんとかできた。

「製版技術向上とマンガの進歩」も、少し修正。

なんか足りない気がして、もうちょっとキャプションが足りない「MEN'S ONLY06」をアップした。来年の更新情報誌である。

振り返ると、やり残したことが多い。

『あり思』第三巻なんて、掲載分が一ヶ月遅れているが、ぜんぜん追いつかない。「バックステージ」があるので、憂鬱だ。さらに第二巻の終わりあたりに掲載するはずだった特稿「第四の壁」も、そろそろやらないといけない。

マンガとは少し内容が違うオープニングの絵コンテも切らないといけない。

第二巻だって、巻末付録としてルドゥスとパイディアにフローチャンネルを組み合わせると、こうなるというのでも、作らなくてはいけないはずなのに、なかなか結論めいたことが決定できない。『あそびと人間』と『フロー体験』を読めば、わかることなんだけど。

徐々に線の量を増やしているのも、悩みどころだ。

どこでも書いているけど「-Mirror Shield-」だって、コピー版の試しが終わったから、やることが『スーパーアスタリスク麻雀PV』のセリフをアゲハちゃんに言わせることぐらいしかないというので、あまりモチベーションがわからない。一応、「シルエットアクター」の裏方パートで描き版のようなクオリティーが低いものを表現したくて、コピー版の実験をしたりして、色鉛筆で塗ったりハイリア文字で遊んでいたら、もうやることがなくなった。『神々のトライフォース』をもう一回プレイしなおした方がよさそう。

でも、完成させないと、ゼルダにお別れが言えない。

「社長が訊く」のパロディも今年中に終わらせたかった。画像で文字情報を整えるのが、

事後報告になると思うけど、「GREEN BOOK」がアマゾンで税抜き100円で売られている。なんで販売当初に安売りなのかは、何か手違いで、失敗しているかもしれない。ミステイクがなければ、内容このままである。

来週頃には税抜き300円にする。

それまではサービス価格。

2017年12月11日 まだキャプションが完成していない

できていたら、「シルエットアクター」に修正がある。

後は横本に修正があるか、無いか、なんとかできた。

「製版技術向上とマンガの進歩」も、少し修正。

なんか足りない気がして、もうちょっとキャプションが足りない「MEN'S ONLY06」をアップした。来年の更新情報誌である。

振り返ると、やり残したことが多い。

『あり思』第三巻なんて、掲載分が一ヶ月遅れているが、ぜんぜん追いつかない。「バックステージ」があるので、憂鬱だ。さらに第二巻の終わりあたりに掲載するはずだった特稿「第四の壁」も、そろそろやらないといけない。

第二巻だって、巻末付録としてルドゥスとパイディアにフローチャンネルを組み合わせると、こうなるというのも、作らなくてはいけないはずなのに、なかなか結論めいたことが決定できない。『あそびと人間』と『フロー体験』を読めば、わかることなんだけど。

徐々に線の量を増やしているのも、悩みどころだ。

「-Mirror Shield-」だって、コピー版の試しが終わったから、やることが『スーパーアスタリスク麻雀PV』のセリフをアゲハちゃんに言わせることぐらいしかないというので、あまりモチベーションがわからない。一応、「シルエットアクター」の裏方パートで描き版のようなクオリティーが低いものを表現したくて、コピー版の実験をしたりして、色鉛筆で塗ったりハイリア文字で遊んでいたら、もうやることがなくなった。

でも、完成させないと、ゼルダにお別れが言えない。

「社長が訊く」も今年中に終わらせたかった。

事後報告になると思うけど、「GREEN BOOK」がアマゾンで税抜き100円で売られている。なんで販売当初に安売りなのかは、何か手違いで、失敗しているかもしれない。ミスイクがなければ、内容このままである。

来週頃には税抜き300円にする。

それまではサービス価格。

U

UとはUWFのUである。
検索ワードに「プロレス」を入れるため、
収録。

補足として、『1984年のUWF』には「1981年のタイガーマスク」を収録するため、連載時にあった佐山のネーミングセンス、中島らものエピソード、U戦士が練習中の脳挫傷で亡くなってしまった事をカットしているようだ。

2017年12月5日 QRコード付き宣伝カーはポケモンならいいけど五社はダメ

「フライボール理論は、たしか現役中に落合が実践していた事を、擬似科学『百匹目のサル』みたいにメジャーリーガー全員はじめちゃったのでは？ だから誰もついてこなかった落合の俺流『ホームランの打ち損ないがヒットでいい』は、メジャーリーグが証明したのでは？」

こんな野球の話をして、わかる人が減ってきている。

せっかく、次回予告的「続き」の画像を作っていたのに、先月掲載し忘れていた。「シルエットアクター」の修正を見てほしい。ナタリー・ポートマンだと松梨さんが思っていたから。

「製版技術向上とマンガの進歩」と『かぐや姫の物語』のアニメレビューも修正した。

各横本も修正・追加。

「MEN'S ONLY04」も少し修正していた。

11月の30日に『マンガとかを「天体観測」』が半日もせずに、無料配信のつもりだった、余計な事後報告。少し、酒を入れてしまい、「新日本プロレス」の番組を観ているうちに、無料配信のキャンセルを忘れてしまっていた。

「グリーンブック」の販促だと思って、あきらめちまいなよ。

2017年11月27日 やっぱリアスタリスクを更新情報誌に出すのはよくない

「私は『魔法使いの嫁』について、第三のプリンセスアニメの後継なら、高く評価するが、そうではないなら、評価を低く見積もる。なぜなら悪い奴だから」

ということで、アスタリスクという発言があった四コママンガは別所に格納。

「紅い花」に差し替え。

BSの番組「ザ・カセットテープ・ミュージック」を見て、「なるほど、はっぴいえんどと、よく一彦と入力し間違う和彦さんは、同じなんだ」と思って、修正したのが「全面裏焼きの衝撃大友マンガ」である。

もうちょっとで、完成だろう。

後は横本だけど、「和月伸宏のネタをして、いいよね。許しなよ」である。

・・・忘れていた。

忘れ魔・・・多しである。

「シルエットアクター」で十一月分を少し足した。

代原を載せるギャグはまだやらない。

悪だから、第三のプリンセスアニメを高く評価するのである。

スペル上はBがあるイプセンの「人形の家（ノラ）」を知っていると、ねえ。

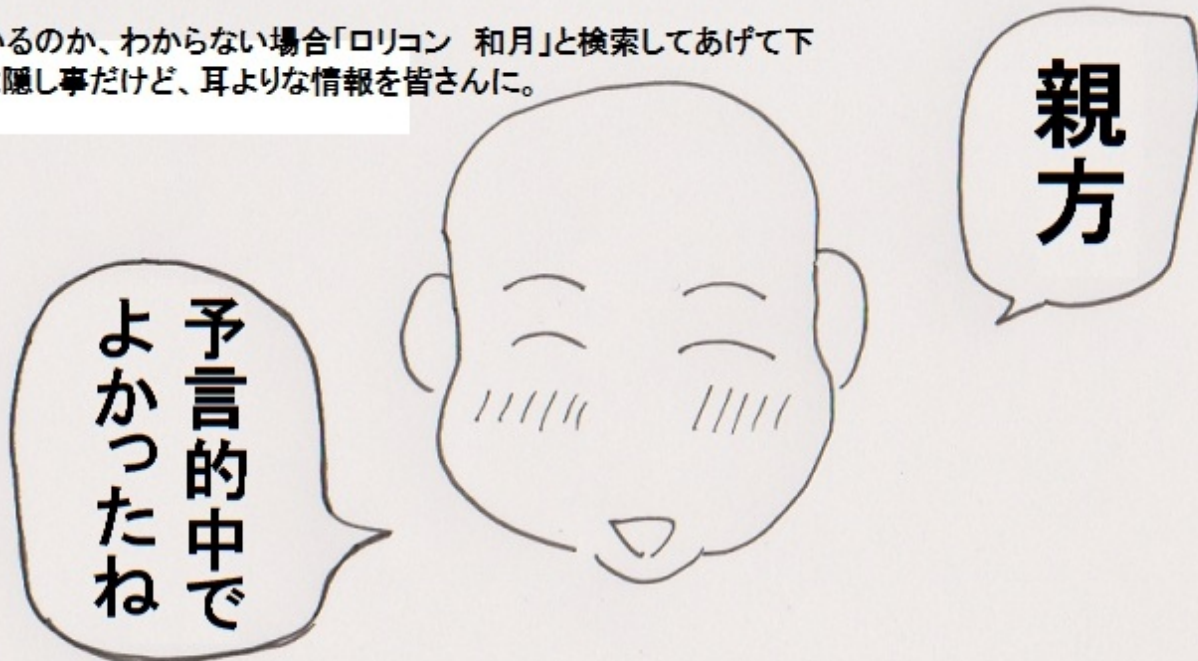
悪い魔法使いの側。

「久美子先生の源氏名を考えているけど、なかなか思いつきません」

「リザレクション禁止のネタ振りの回収、一週間も待たせているじゃないか」

何を言っているのか、わからない場合「ロリコン 和月」と検索してあげてください。本当は隠し事だけど、耳よりな情報を皆さんに。

『天使のスリーピース』の作者は大丈夫なのか、心配だあああ。



全国のマンガ家の皆さん「次は お前だ！」

2017年11月20日 リザレクション禁止

「サイゾーのネタが無いね」

と、思われたかもしれない。

毎月毎月、ネタを採ると思うな。

「ありえない未来の思い出たち」の第三巻、「シルエットアクター」は裏方のコマだけだったのが、表にあったことも描かれていると、いいな。

もしかしたら『喧嘩稼業』みたいに、代原が載っているかもしれないので、このネタはいつか使おうと思うので、そのときはよろしく。

あとは、横本を少々追加と修正。

「田下さんのドラクエ評よかったなあ」

かーずSPもプレイしていて、マルティナさんが好きだとか言い出したら、どうしよう。

「(ネタバレ)にしろよ」

と、うっかり発言しそうだった。

そういえば阿波根さんと相性がいいとされていたけど、フランス出身のハーフらしき人物(名前を調べてきました「大和・クリスティーナ・和子」)が確かいて、母国ではお姉さんがゲーム会社で働いていて、それは『エル ELLE』の元ネタなんじゃないかと、ずっと思っていた。

やっぱりネタバレである。

しかし、リュウとハルキの問題で『コインロッカー・ベイビーズ』と『世界の終わりとハードボイルドワンダーランド』は表裏一体、もうドラクエ研究は私の中で終わったからなあ。

2017年11月12日 忘れ魔多し

「サブローの横本」を追加・修正。

し忘れたかもしれない。

忘れ魔である。

好事、魔多しとは良い事にはとかく“邪魔”が入りやすい。邪“魔”されることが多いということである。

男女の位置を間違っただのは、ただのボケ。デッサンが狂っているわけではないから、製版作業で頑張れば、左右反転できたと思うけど、まにあわなかったのだろう。(後日、ラフ画で描いた「横綱の不在」通りに日馬富士が不在になる)

もう、今年も二ヶ月を切り、来年のことを考えていて、赤鬼ドナルド・トランプに笑われるのである。来年、ペイメントを有言として実行しようと思うが、トランプに「そんなことできるわけねえだろ」と笑われてしまう。

まあ、儲からなくていいから、諸経費の赤字を埋めて、『かくしごと』講入（注・誤字ではない）のための基金から崩しているのを、やめなければいけない。それこそ、隠し事にしろと言われるかもしれないが、五万円ぐらい赤字幅が増えており、2月には特別損失が出る。『氷の微笑』のシャロン・ストーン（*ズボンを穿いていないので、ここから深層心理に刷りこまれてしまったとわかった）の8万円もするフィギュアを買うためじゃない。

小さい文字でイバンカさんの話題を早くしたい。

2017年11月6日　しゃぶろう！

「シルエットアクター」の今月分が、アップされている。
ということはなく、先月分（10月）のが、少しあるだけ。

横本が追加・修正されている。

「焰」なのか「少女」なのか、「三郎」…「サブローの横本」が出ている。けしておちんちんを三郎ではない。長男太郎、次男二郎、三男三郎…んで十郎太でもう一度太郎に戻る。（十郎太の次、一郎にしないと九進法になってしまう）

「MEN'S ONLY04」に更新があって、何を更新したかということ、読んで調べてほしい。お金を払わないと、もしかしたら、わからないかもしれない。

そういえば、「製版技術とマンガの進歩」も、更新していたような。

それと「真・超人大全」の更新は、欺瞞工作気味だが、一兆円争奪トーナメントなんだから、しょうがない。なぜ、Aブロックで敗退したぷりぷりトラえもんがDブロック代表になっているのか、あんまり語りたくない。

「販促！文章読本」も、敗北宣言が載っている。

本当のは、本とに売れなくなった。

「…銀色に輝いているよ。赤もあるよ」

「それはフィギュアスケートのシーズンじゃなくて、違うこと？」

2017年10月25日 パナップは江崎グリコの登録商標

「シルエットアクター」の九月分が、修正されていたら、いいな。

もし、修正されていなかったら、今月分もまずい。一週間以内に、ラフでもいいから、今月分の楽屋パートをアップしないと。

「赤ちゃん？ 赤ちゃん出来てる？」は来月には、なんとか。

更新情報誌の表紙画を作り忘れた、というわけではない。

「レタッチ画工と赤本マンガ」も修正。太郎先生のマンガについての本にも、リンクがついているはず。

リンクがついていない場合、サボっていたということである。

ずっとサボっていて『シブすぎ技術に男泣き！』のリンクが貼られていなかった。

てんでんてん。よくいしかわじゅん先生が初期の手塚治虫のマンガを「溜息が出るくらいいい絵だ」という要旨のことを言っているが、それは描き版の絵なのかな？ 私もあえて、セルロイドに筆で描けば、いしかわ先生に喜んでもらえるかな？ 描き版っぽくするために、コピー版があるのだけど、今から考えると、成功していたとは言えない。

「販促！文章読本」も修正。

「PickUP!文読」を公開していることを報告。

「PubooxPaboo2014」の随筆や批評を修正。まだ、できていないのである。いつになったら、できるのだろう。

2017年10月17日の更新情報

「PickUP!文読」が公開配信されている。ちょっと時間が経たないといけないかもしれない。「一行スナイパーといふもの」と「インテリゲンちゃんの教室」、さらに書評の「文読以上の出来」が足されて、完成ということになった。

できれば、「暴君しんちゃんの口述筆記？」も足したい。

そんな暇は無いので、内容は「お時間が参りました」というお粗末なもので、これ以上時間をかけられない。ちゃんとしていれば、マイティ・ソーになれる。

パブーで公開されていないということは、アマゾンにしか、無いということ。

今日はこれぐらいしか、更新情報が無い。

「横本焔」を少し修正したんじゃないか。

2017年10月11日 親戚の間で星季（ひかり）ギャグが悪い意味で問題に？

「シルエットアクター」の九月分が、アップされていたら、いいんだけどな。

実はレーティングが子供向けの時のように、表舞台が見えないような、何が起きているのか、わからないように読者に見せている、そんな器用なことにはできない。市川猿之助がスッポンの装置で怪我したのは、私のせいじゃない。

「ガンバレ！ピンポンフォロワー」が修正されているって、頼みの綱も連載終了して、非常に悲しい。

「平面アニメの継承は誰か」を追加・修正。ほっとしていたら、ずいぶん経ってしまった。

出来たら、「横本焰」やいろいろ、「横本」が修正・追加されている。追加されていなかった場合、私はそこまでの男だったという事。『ハイエボリューション』と『花火』は観ないのに、『響け！ユーフォニアム』は観たのか。

また映画の『ガルパン』を観なかった事、後悔したみたいになる。

まあ、わざわざショッピングモール内にあるシネコンに行き、フードコートを眺めて「誰もニンテンドースイッチの携帯形で遊んでいない。これはおかしい」と感じて帰ってきたのである。

さすがに、3DSで遊んでいるやつはいたけど、すれちがい数が少ない。モール内をうろうろしていれば、二・三年前なら山のようにすれ違ったけど、今はそれほど。『DQ11』（ギリシャ数字の11が表記できない）はすれ違わないことはないが、人数が少なくなったから、ミリオンヒットなのにヒットしている感が無い。

という、わかっていることをあえて、報告する。

またも事後報告だが、10月4日から8日まで、「テクノプロデューサー横井軍平」がアマゾンの方で無料配信されていた。

今年はトラブルもなく、ちゃんとできてよかった。

2017年10月1日 毎月1日は映画の日

先月の分が「シルエットアクター」に追加されているという期待を裏切ってしまったが、シャフトを裏切った手前、それは仕方ない。

七月分を、十月初めにアップしている。それも八月をほぼ休んで、九月はラフでも一枚もあげていない。

後は「かぐや姫は戦後アニメの自意識だったのか？」の記事の一つを修正したような。

フローチャンネル&ルドゥスとパイディアな冊子を作らないといけない、オープニング映像の絵コンテを切らないといけない、そんな八月九月をすごしながらも、「GREEN BOOK」を書いている。チャンネルの違うアマゾン向けに、「兄になりたかった人」や「ピンポンフォロー」「dramtick picherの輸出」を収録する予定である。

これで税抜き300円は高い。

これでやっと「楽しい幻想小説」（「クリスマスにファンタジー極右からの贈り物」に題を改める）は女性でも読めるのである。ミナ坊みたいな新左翼の悪い奴以外はリベルティーナしか、今まで読めなかったのだ。

それで本題に入ると『メイドインアビス』とある本を読み比べている。なるほど、赤から白に塗り替えていて、元ネタである証拠に中身が赤いと。リコはあるキャラクターと同じ窃視をしている。緑を付け足して、クリスマスまでには完成させたい。

だから、「GREEN BOOK」には「V」が付け足される。

「私はあこぎになっている」

こっちは朝からのNHK-B Sの放送も観て、気分を高めているのだ。

『花火』を観ないのに、『響け』は観るんだ。

「別冊ユリイカ」の幾原邦彦特集を読んでから、スリップストリームで完成される「リベルティーナたちの命懸けの飛翔」は、まだ出来ていない。

・事後報告

9月の終わりかけ頃に「PickUP!文章読本」がアマゾンの方で無料になっていたけど、別にいいよね。事後報告で。

2017年9月25日 日本は人治主義の国だった！

豊山が無気力相撲とか、ファミ通を讀んでいたらイザベラ・ユペールというより豊田真由子議員がいるとか、それよりも驚くことがあった。

雑誌「サイゾー」では、「法痴社会ニッポン」で有罪が確定的（時間の問題）だと、されていたから山口敬之は起訴されて裁判がかけられると思っていた。ところが、検察審査会が「不起訴相当」にした！これが不起訴なら、オリンピックの柔道メダリストが準強姦罪の容疑があっても、不起訴になる。（更新情報誌の規定ではまずい文言が含まれているが、罪名なのでなんとかOK）

ビックリした。

「三文オペラ」の大オチが現代社会で出来るとは、思わなかった。日本はまだ18世紀だったんだ。

ナチスドイツに批判的だったブレヒトの時代が一周してきてしまったのか、それはいったい、だれのせいなのか、犯人探ししないといけない。

そうでないと、日本は法治主義は建前で、実態は人治主義だったということになる。それはいづれアムネスティとか、海外から監視団から来ることになる。

なによりも、ネタつぶしされた。

つじつまが合わない四コママンガのキャラクターが下着泥棒で捕まって、裁判にかけられて、フェイトくんがもらしてマーキングしたその下着が証拠物件として裁判に出されて、羽川つばさによく似た人（フィギュアを撮影）が被害者として出てきて、「これはあなたのものですか？」と聞かれて、「そうです。私の物に間違いありません」と、鼻からうどんを入れて口から出すほっしょんと字面が似た人の声を出して、窮地に陥った被告人が、
「ぼく、安倍さんの友達です」

と、言ったら即刻釈放、無罪放免で閉廷して終わる「昔話法廷」みたいな茶番法廷劇が、シャレになってない事にされてしまった。

安倍政権、許さん！

「MEN'S ONLY04」を追加・修正。

「シルエットアクター」には画像を差し替えて修正。

マンガレビュー「製版技術の向上とマンガの進歩」も修正・追加。

「販促！文章読本」も追加・修正。ということは文読も。

「横本」もけっこう修正したけど、ペーター（声・神谷浩史）のギャグがやりたかっただけ。

「英文は「設定協力」という意味である。「金」だけ、変えていない」

「ほとんどの人は、日曜の最終回を観るまで、わからなかったのでは？」

2017年9月19日 岡田斗司夫の言っていることは、政治的発言だ！

「シルエットアクター」の追加があると、いいな。

岡田がアートアニメに対して、何か否定的な発言があったらしいが、ソース元を押さえていないし、テキトーなことは言えない。

だけど、さすがに言わなくちゃならない。

たとえば、「チコタン」でセルの上に、本物の水滴、水を置いて撮影している。1971年の作品だから、故・出崎統監督の演出と併走していたのでは？ という当然の疑問が出てくる。思い起こせば、『学園戦記ムリョウ』でも接着剤に色を付けてなどの起源も感じる。

淀川長治も涙を流すわけだ。

さらに『スタンドバイミー』のドラえもんのパッケージにある、涙の表現も似ている。まったく影響はなかったのだろうか？ ドラえもんは、チコタンのような少年の傍に寄り添う物語ではないのか。

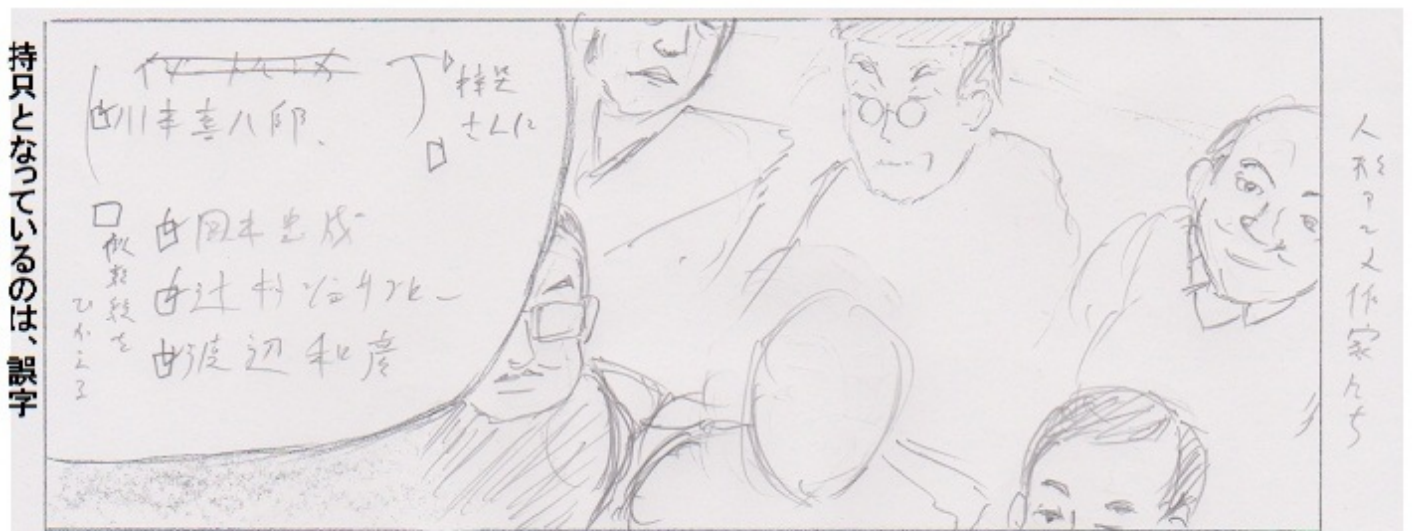
岡田の言っていることも微妙で、雑誌「芸術新潮」のベストアニメでも永野護が描いて、奥さんの川村さんが声をあてて「ロックだ」と評したけど、それはもちろん、シド&ナンシーなパンクロックの文脈であるのはわかる。しかし、アニメ史だと「ウシワカとべんけい」で正岡さんの奥さんが牛若丸の声をあてたのは有名であるし、ノルシュテインの奥さんが手伝っているのは、鉄拳の奥さんも同じ。ロックか？ 家内制工業のアニメに戻っただけでは？

今なら手塚の『JUMPING』を3Dモデルの車でやってみたら、面白いんじゃないか、とか思える。物理演算ソフトが進歩して、路面の摩擦係数やタイヤのグリップ力まで入力する「自然な動き」にしか、自動車を動かす事ができないかもしれないけど。

岡田は自分が日本アートアニメを追っていなかったから、データベースにこれから触れる人に、先に偏見や先入観を与えるためではないのか？ マスコミ志望者を性搾取していた構造と、そっくりそのままじゃないのか？ 警戒するのが人付き合いの作法だろう。

アートアニメーションの不当な扱いに故・淀川長治がまたしても涙を流すのだろうか。

ガイだけど。



持永さんの似顔絵を控えていないのでページ差し替えがまだできない
それにしても、人が描いた似顔絵を丸写しするって、ラクだなあ。

2017年9月11日 ハシケンのトラクター

「MEN'S ONLY04」が少し修正できたはず。

また「dramtick picherの輸出」を修正し、変な奥付になっていたのが、直っていたはずである。その「製版技術の向上とマンガの進歩」も、宮谷一彦が宮谷和彦になっていたのが、直っている（弟子の方も直っている）が、こういうところが、いしかわじゅん先生に仕事の斡旋や金銭の授受を求めても、なかなか認めてもらえないところではないか。ダウンロードデータを作成し、「かぐや姫は戦後アニメの自意識だったか？」は、なにかやったような。

『票田のトラクター』が実は、議員たちの政務活動費詐取のアンチヨコになっていないか？富山の市議たちといい、ハシケン通信の詐取問題といい、印刷物が関わっているから、邪推してしまう。

その昔、『沈黙の艦隊』が自民党幹部の部屋にズラッと置かれていたという、本当なのか疑りたくなることがあったらしいが、議員達の間では影ではこっそり『票田のトラクター』が読まれていたのではないかと思う。

政敵の支持者に「政治保険」としてパー券を買ってもらって、半分ぐらいを実家の印刷所で刷る。その差分のカネを主人公は懐に入れて、

「これはやめられねーズラよ！」

と、叫ぶ。

この主人公がハシケンになっただけでは？ 神戸弁に直して叫んでいるのでは？

政敵の支持者なら、パー券を買っておいて、指示している政治家が落選した場合でも、いろいろな便宜を図ってもらう裏取引だから、表沙汰にできないからやっていたけど、それが政務活動費で可能だと、誰かが気づいて、皆がオレオレ詐欺を始めてしまうような、ビートたけしの「* *を皆でやれば怖くない」ということになってしまったのか。

悪影響があったのか、謎である。



やっぱりイジー・トルンカは都合によりリストラしました
持只さんに差し替え

2017年9月5日 これを書くと…

「しまったなあ。先生の献本に、ミスしたやつを送っちゃったけど、いいか、別に。催促と見返りを期待できなくなっちゃったけど」

その話とは関係ないが「dramtick picherの輸出」は修正されている。「モーショングラフィックノベルの景色」の章がまるまる、「辰巳ヨシヒロの遺影」のテキストがコピー&ペーストされているという、大ボカをしたのだが表紙と裏表紙も差し替えである。

夏ボケだよ。

気温が熱いと脳が動かない。

夏休みボケという言葉が学生時代に聞いたことがあると思うが、違う。

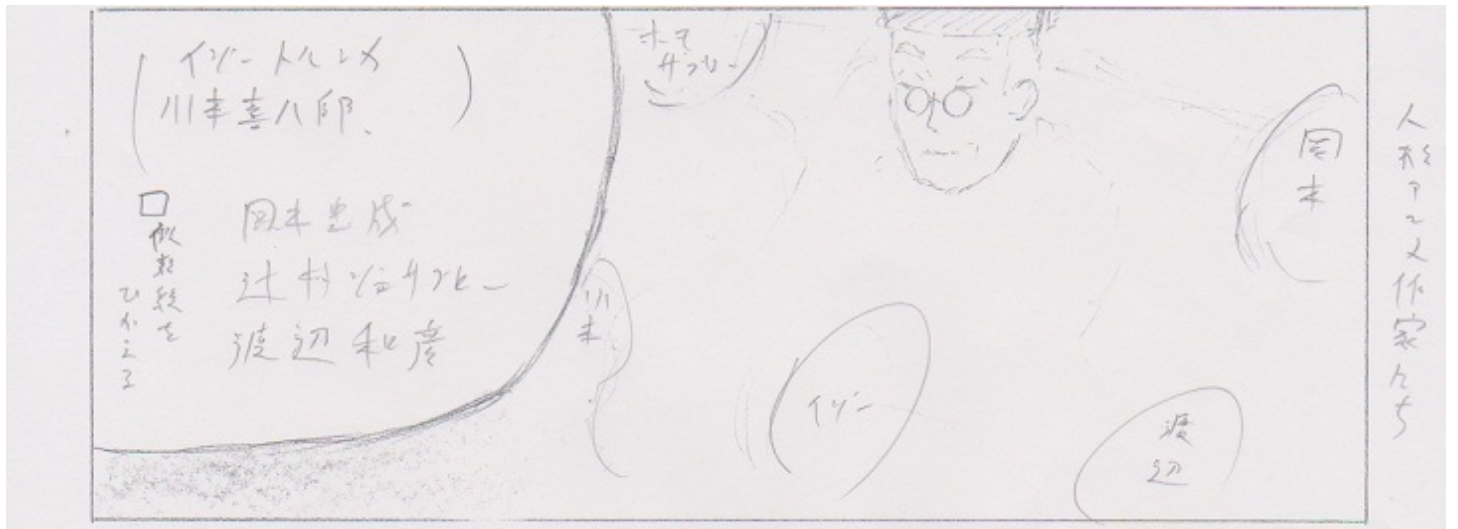
気温に脳がやられる。

涼しくなってきたら、今度は衰えさせた集中力や正確性を取り戻すのが、大変だ。『鬼トレ』をやり直したいけど、ルドゥスが高くてきつい。

今日、「シルエットアクター」が更新されていないと、さすがにまずい。

それほど閲覧者が多いわけじゃないし、私はそんな健康ではないので、未来、ちゃんと完成するのも、わからない。冬にインフルエンザにまた罹って、その遅れを取り戻せないことがまたあるかもしれない。

何よりも、テラさんみたいに「バカ」と指弾する人もいない。活動を続けたいから、仕事の斡旋、金銭の授受…これはやめておこう。シャレじゃなくなる。



わざわざ人形作家たちの似顔絵を描くために肖像をひかえるなんて手間をかけたなら完成するものも完成しないだろう

「これを書くと、アニメ脚本家は螺旋人さんの本を読む」、その結果が『プリンセス・プリンシバル』です」

オープニングの英文のスタッフクレジットをよく読もう！ setting cooperation rasenjinn hayami

2017年8月30日 マ` ッ` チ` ョ` ドラ` ゴン♪

アニメレビューのスペシャル版「dramtick picherの輸出『TATSUMI マンガに革命をもたらした男』」をやっと公開。有料である。

大変だった。

二ヶ月前、できそうと書いておいて、なかなか最後の仕上がりに手を焼いた。それは他でも無い。夏が悪い。

しわよせは「シルエットアクター」に来て、今月の更新（追加ページ）は無いけれど、そんなことより『TATSUMI』は辰巳ヨシヒロの事についての映画としては名作、劇画史の物語としては、やはり「ちょっと」と、苦言が出る。いしかわじゅん先生の『漫画の時間』を読み返すと、80年代に戦後マンガを回顧する本がぽつぽつ出たけど、劇画の本は桜井昌一（辰巳義興）のモノしか無いらしい。

「いつになったらでるんだろう」と同じ事を書くと、21世紀になって劇画史を包括するようなガイドラインとなるような書籍が無く、その中で『劇画漂流』は東考社側から見た劇画史を自伝マンガ的に描かれた、ひさびさの回顧本だったのかもしれない。それが海外に輸出されて、映画になっている、それも平面アニメで。バブル期に予算があって、『ダビデの星』（漢字を表記できないからカタカナ）をOVAを作っていたぐらい衝撃。

あんな『ジュスチーヌ』で、ジュスチーヌをいたぶる側の視点に立ったマンガをアニメ化しちゃダメだよ。（劇画原作者梶原一騎もとりあげないといけないけどそんなことやってたらいつまで経ってもおわらねえよ。劇画工房は『アトム』の青騎士編の青騎士側なのか、それをやると手塚中心主義になってしまう）

それは別として、大区分の劇画についてこれだけ廃れているのだから、小区分のヤンキーマンガが廃れるのも、なんかわかる。いずれいわゆる萌えマンガも廃れるだろう。

それで現在の読者との距離をつめるために『進撃の巨人』の話題をしたけど、これもしょうがなくやっていると、自己批判がないわけじゃない。日記と同じネタをすると、立体機動装置は猿飛びの術だとしたけど、スパイダーマンのウェブシューターの方が正しいのではないのか？ アニメ版だと映画『スパイダーマン』のようなシーンと、サイドビューで屋根と屋根を移動している時は猿飛びの術という、これは高質・高コストと低質・低コストを分けているのであって、別にどちらの説にも気を使っているわけじゃない。

『ダークナイト』のジョーカーは王蛇起源説と大友マンガの冴えないヴィラン説は、特撮好きとマンガ好きで意見が割れるように、アメコミ好きはウェブシューターで巨人も『インクレディブルハルク』、劇画派は山丈で座標を叫ぶ。

ともかく、『1984年のUWF』があるように「1959年の劇画工房」のようなものがないと、これからの世代には伝わっていかないとされる。

「MEN'S ONLY04」に随筆「ゴーレム ソラリスの海辺の王国」を足した。二瓶勉さんのマンガも、同じものを表現しているかもしれない。後は日記6.9と6.20。

「MEN'S ONLY03」は「LINEはどういう会社か 正解編」を修正。もうちょっと資料を読み込める時間とカネがあれば、正確なものにできるのだが。

「横本炎」を追加・修正。まだTシャツの扉を作っていない。

「販促！文章読本」には修正があるが、文読本編には修正は無い。

そして「製版技術の向上とマンガの進歩」のリンク貼りをしていた。（これに時間がかかってしまい、並列作業していた「dramtick picherの輸出」でミスがあったのかもしれない）

近況は、藤波の歌い方を真似している。ダミ声で「いつまでこんなことが続いているんですか！」と、猪木に迫ったシーンを真似していたら世界一下手な歌い方（誇張表現）の「マッチョドラゴン♪」も、真似するようになってしまった。「羽ばたきのバースデイ！」も、藤波みたいに歌う。藤波の音声データをヴォーカロイドに入力して、フジナミロイドを作りたくなった。

「また、清ちゃん先生かよっ！」

2017年8月13日頃の更新情報

なにを更新したのか、忘れた。

思い出すと、テラさんの本「兄になりたかった人」は修正して、奥付を付いた。

参考文献を作れなかったという「なんだかなあ」なことが書いてある。

前回の更新はうまくいかず、せっかく猫に「ハロー キミも将棋が好きかい？」というカラー画像をアップできず、それどころか、うっかり7月の更新情報のところに、8月にする更新情報を入れてしまって「何をやっているんだ」と思った。

そんな「横本焔」も、いろいろ追加されているはず。

「MEN'S ONLY03」は「太宰をどう評価すべきか？ 正解集」。「MEN'S ONLY04」が2.5と2.23、「正誤表番外 太宰始末」「随筆なのか批評か 書評の愚痴 批評の難しさ」、を修正している。

「販促！文章読本」も、修正した。つまり、文読も修正があった。

DQ11が出る前に「堀井の“ブンブン”調査」を完成させられなかったけど、さやわかさんの『文学としてのドラゴンクエスト』があるから、大丈夫。そんなことより、原さんが恐喝されて金を払った件をスッパ抜いた記者は、豊サキ（山立可）さんや山サキ（山立可）賢人みたいに、表記できないサキと判明した。どうしよう。

アニメ『かぐや姫の物語』のレビューのところで、映画『打ち上げ花火、下からみるか？ 横からみるか？』の答え、「シャフ度からみる」という事を書いた。

「映画公開をする前に答えをいったたつた」と。

クーラーは直ったか、直っていない。

それは、別に、いいこと。

仮に直ったとしても、減ページ便乗は、避けられない。

『海のトリトン』みたいに、「悪いのはみんな、講談社なんだ」とか、言い出しかねないが、みんな減ページだから、休んでいい。

山崎。

「清ちゃん先生は*ズボンはけない子じゃない」

2017年8月6日 みんな減ページで休んでいるのだから私も休んでいい

たぶん、「マンガレビュー 製版技術の向上とマンガの進歩」を修正できているはず。

後は追加・修正が無かったときや更新するネタが少なかったとき用に作っていた横本シリーズ、その「横本炎」のカラーページに加藤一二三みたいなことを言っている画像を足した。と、思っていたら夏場の暑さにやられたのか、うまくいかなかった。

後で返しに行ったとはいえ、マスターキートンみたいに小物を持ってきたり、夏場でかなりやられている。暴漢に襲われて、投石器に作り変えるような事が無かっただけ、いいか。

『喧嘩稼業』や『ボールルームへようこそ』も減ページ掲載である。

これに便乗しない手は無い。『ボールルーム』なんて、アニメ放映時期だと『セントールの悩み』のように二本立てとか、カラー攻勢とか、いろいろしなくちゃならないのに、減ページである。

が、減ページはやりすぎて、もうできない。

私も何もしていないわけではない。毎月が減ページや、非カラー掲載である。

2017年7月31日 天才ナスDのゲテモノをバリバリ食うTV

「兄になりたかった人」が大失敗していた。一週間で直した。というよりも、一週間もかかった。わざと失敗して、お金を払わないと、見れなかったところを公開したわけじゃない。

藤本さんがテラさんと二年差があり、安孫子さんが三年差がある…らしい。二人は学年は同じ、だったはずである。豆知識としては『愛しり』で、「漫画少年」でテラさんは『白黒物語』を連載されていたとされて、だけど図画像はなぜか『背番号0』のゼロくんなのは、『愛しり』の連載中はまだ『白黒物語』が復刻していなかったから。

「シルエットアクター」は修正ではなく、追加のページ（本当は六月分）があれば、よかったね。

もしなかったら、「兄になりたかった人」と同じく、失敗したのである。

ほとんどラフなのは、テキストのあたりを見るため。せっかくセリフやナレーションを入れたんだから、もったいないなあと、思って掲載してみたのである。それから六月分がまだできていないのは、仕方ないよね。気温が30度を越えなくても、昼間は暑くて作業が捗らず、苦勞した。

「マツコさんの言う、テレビ局にはたまに天才が入ってくるのが、『陸海空!』のナスDで、受験戦争を勝ち抜く教育を受けてきたエリート候補をテレビ局は人気だから採用できるけど、その中から本当に天才が出てくるとは…」

「ナスDの話題しているけど、青には修正も追加もないね」

2017年7月24日 裸のパンクラチオン

「かぐや姫は戦後アニメの自意識だった？」のかは、まだ議論があると思うが、とにかく修正した。正岡さんが日勤の借金を被るのは、削除した。ドキュメンタリーで観たり、何かで読んだ記憶があるが、調べたら出てこないの、しょうがなく消した。

「兄になりたかった人」も修正がある。（が、これが酷かった）

『ありえない未来の思い出たち』の第三巻、「シルエットアクター」も修正されている。

「MEN'S ONLY04」の「随筆 U」が修正されている。

「真・超人大全」を修正できた。

「真・超人大全」を読み返すと、おかしいことばかり書いている。“古代期には学生プロレスが流行っていた”と、書いてある。

ちがうよ。

古代期のパンクラチオンは、本当に裸でレスリングしていたという。古代オリンピックも裸で競技をしたから、読者に間違った情報を与えている。アテナイの学生プロレスなんて無いから。たしか有名な哲人もレスリングしていたとか、それでうっかり同性愛に目覚めたのかは、知らな

い（裏技は使用していたと思われる）。最近、うっかりミスが多いと、判明している。プラザ合意は、ドル安誘導、是正。

ブードゥーにやられてしまった。

ドル安で割安感を出して自国製品を買わせて、貿易赤字を埋めようとしたらしい。で、ロンヤス関係で「アメリカの製品を買いましょう」をしたら、日本にバブルが起きてエンパイアステートビルを一時期買収されるはめになる。

中国籍の人に水源地を買われるというのも、民主党政権からあったらしいけど、円安誘導して、拍車がかかっていないだろうか。



男から男へのマネーショット

2017年7月17日 苦渋の決断

『ありえない未来の思い出たち』第三巻の八月分は無く、八月月末までに、七月分までと今までの修正含めて、「シルエットアクター」は掲載することにした。事実上の休載だ。

電子書籍がそんなに売れていないので、エアコンが買い換えられなかったという事実は曲げられないので、「休もう」ということになった。

正確には休んでいない。今までの遅れを取り戻すために、いろいろしたり、第二巻のモブキャラを書き足さなくてはいけず、フローチャンネルを再考したり、いろいろしていて、八月分のネームをやる作業量を増やすことができないのだ。

はっきり言ったら、作業できない。

時間を金で買うはずのコピー版をしたら、時短になるかなと思ったら、思ったほどよくなかった。

辛気臭い話はこれくらいにして、“幼馴染対政府が決めた運命の女の最終戦争”の話をしよう。私は心理テストで「お金を持っている人」を選ぶと、答えが出ている。

苦渋の決断をせず、迷わないので楽。

おまけ

更新情報の事後報告。

「MEN'S ONLY03」の「LINEはどういう会社か 正解編」を更新。

「MEN'S ONLY04」はまず、『日本語を作った男』の書評。日記は4.30、6.9、6.25を更新。四コママンガに「アルマニ登場」を足した。

「販促！文章読本」は、「日記的に完成後の話を2017」を修正。ということは、だいたい『文章読本』も修正されている。

2017年7月6日 苦悶のコマーシャル

「横本焰」と「MEN'S ONLY04」を追加・修正。随筆の「U」を修正しているはず。もしかしたら、『あり思』第三巻が修正してあるかもしれない。ポキモンが出ているかもしれない。

ほぼ完成していた『スターフォックス2』をミニスーパーファミに収録されるということだが、これがどうして出来るのか、「ゲームラボ」の記事を読まないとわからない。カセット内にスーパーF×チップが入っているせいで、エミュレートが難しいから、バーチャルコンソールにも出来なかったのに、何故できるようになったのか、分解解析記事を読まないとわからない。

具体的に半導体に縮小されたチップが入れられているのか、ソフトウェアで解消できたのか、そこを明かすと任天堂にとってみればクラッキングされるから、「技術的に解消した」という広報になるけど。

やっぱり「ゲームラボ」必要。自分で解体して調べるのは、いろいろな面でリスクが高すぎる。ミニファミコンはメルカリで手に入れようと思う。

時の流れとは早いもので、初舞台稽古のドキュメンタリーで泣いていた万斎の息子（裕基）が、公文式のCMでお父さんより背が高くなっている。さらに、今の『ゴルゴ13』の連載を読むと、さいとうたかをの線が杉浦茂の遺稿並によれよれで、でんぐり返しをできなくなった森光子を見ているような気分。それと同じ気分を『ありえない未来の思い出たち』の読者に味合わせていないか？

[今までの更新履歴情報はこちら](#)

今までの更新履歴情報はこちら

MEN'S ONLY04

コンテンツ案内

[随筆 U](#)

説明をすると「三沢光晴のことについて、いつか語りたと思っていた。田口流の言葉では、生死をかけて四天王プロレスをしていたことを書きたかった」というお話。

[随筆 女子禁制であるのを振り返る](#)

[日記 付度したから「アイアム・ノット・アキエ」3.**](#)

[書評 文読以上の出来 『日本語を作った男』](#)

[正誤表番外 太宰始末](#)

マンガレビュースペシャル

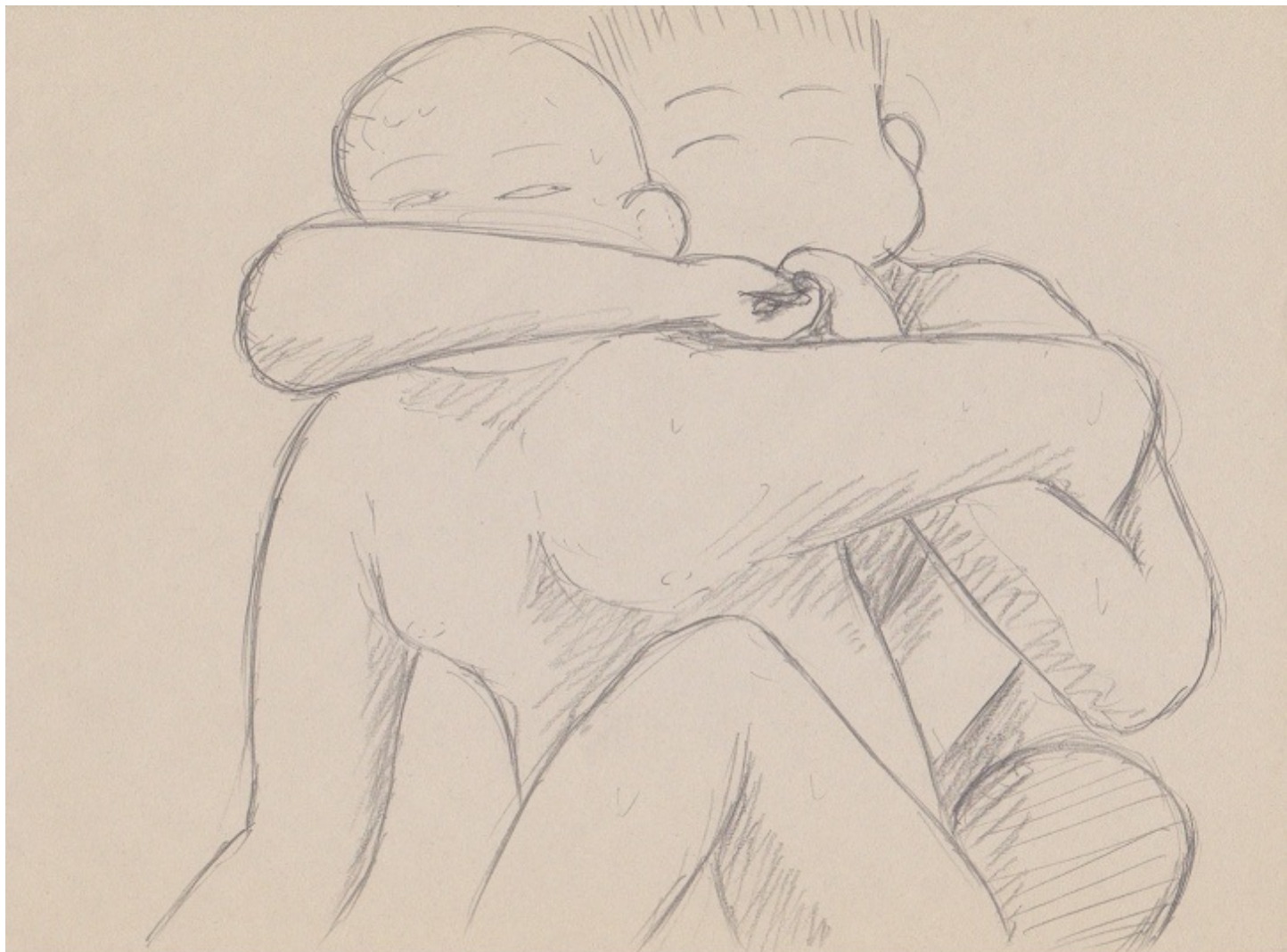
兄になりたかった人

持論の寺田ヒロオ評

完成

価格 百円+税

[アマゾンへ ジャンプ](#)



春日太一さんの
『ドラマ「鬼平犯科帳」ができるまで』
を買わない奴はこうしてやる

「たぶん足の裏から釘を刺されて、その釘に蠟燭を立てられて『買いなさい』と……違うや。爪を剥がされて、その生傷のところに熱い蠟を垂らされる」

広告

今回、ずっと同じ事をして、面白くないので、版下のスキャン画像を特別掲載。ちゃんとセリフを入れている。

普通のA4コピー紙に鉛筆で描いた版下をコンビニコピー機でモノクロコピーして、コピー版を作りそれに青インクの影を塗る、手間と若干のお金をかけた楽屋裏である。それに画材屋としてしか利用しないアニメイトで手に入れた無地の上質紙の表舞台を二層として、デジタル製版することにした。

一応、青インクを塗っているときに失敗したら、10円払ってコンティニューというアーケードゲームにルドウスアップした。ぺんてるでパイディアダウンの時期は過ぎた。でも画質的には同じだけど。クオリティーが上がらない。

ムック本の「マンガの読み方」の記事にあるような多層構造で、いろいろマンガ史研究してきたためもあるが、隠してもしようがないので、はっきり書こう。お金が無く、電子書籍が売れないからであった。

iPad2の償却が出来ず、マミヤ狂四郎さんが紹介した描画タブレットを手に入れられない。メモリー増やしもしたいのに、「コミックスタジオ」も使い倒したいのに、難しい。いしかわじゅん先生が『吉祥寺キャットウォーク』の連載をはじめるとにあたって、作画環境を整えるためデジタル機器を新調するのをホームページで一ネタでやっていたけど、うらやましかった。

今なら、腰を下げて右手をやや上向きに掲げる「うらやまディーン・フジオカ」のポーズをとる。（日付を控えてさえいれば、「さては『ユーリ』を見たな!」というネタが出来たのに）貯めたお金をすべて酒に消えたわけではない。

これは仕事の斡旋と、金銭の授受を求めたくなる。

いしかんわじゅん先生と黒い交際。

だから苦肉の策として、このようなことになった。

他の電子書籍のマンガはもっとお金をかけている。

というよりも初期投資の描画タブレット（タブレットは画板という意味）やメモリーの多いPCをケチらずに十数万かけてやれば、ある程度クオリティーはただ、そこに魅力を感じないというもある。

リンク

[イントロダクション](#)

[お遊戯会のはじまり](#)

[シルエットアクター](#)

バックステージ「731」

劇中劇 影の王子

海外向けソフトを目指して



おいおい
また アルトは
ダウンか？

タマじいも
汽車が遅れて
遅刻ござい
ますな

困ったね 今日
はこわ～い親方も
来ていて

これ以上
引き伸ばしたら
エラいぜ

ええと
ブラウンの
タマオウを
私がやるから
寄越してくれ

へへ 団長
タマ爺の
ブラウンで
ございませんか？

タマじいと言っているのがダンゴベエ、こわ～いとかエラいぜと言っているのは、フルカ。衣装を貸してくれと言っているイワマツツ団長。

ご覧のように1コマ目は墨ベタを入れ忘れ、違うところからコピー&ペーストで貼った

ああああっ

ジミーを
今日は削ろう
一つにして
フルカできるな

どうしたら
いいんだ!?


任しな

それでも
裏方が
一人足りない

ともかく
マリア 本来
ドレッサーの
お前には



ともかく
マリア 本来
ドレッサーの
お前には



リハーサルで
やった…



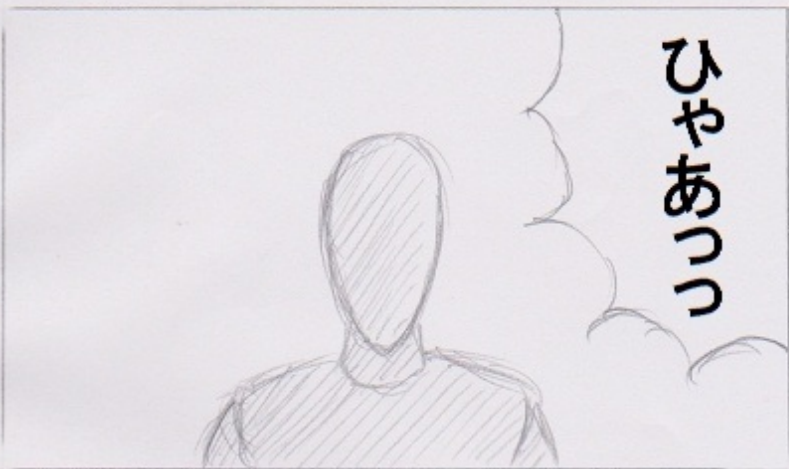
ガタ



なんだ?

本来は痩せ型のタマオウに合わせた
衣装だから、コロスのホームレスの服装も袖から出してしまう
……コロスの説明は要る?

リハーサル通りにしないと大変なことになる



ひゃあっっ



フアントムジオペラ

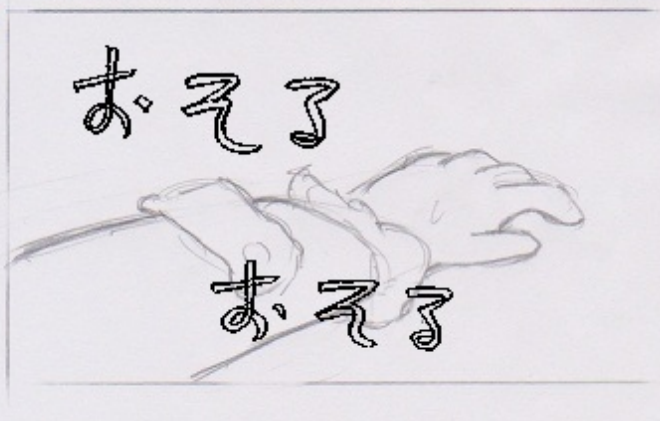
このあたりに原稿では墨が散っていたりするが、コピー版をスキャン後には修正している



影か?



影が立っている?



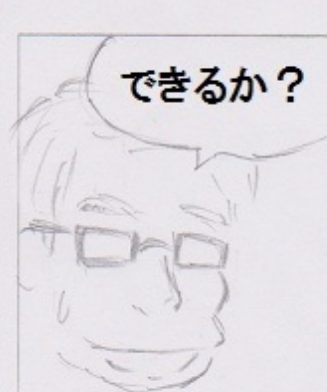
お、え了

お、え了



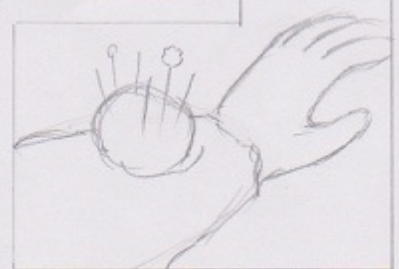
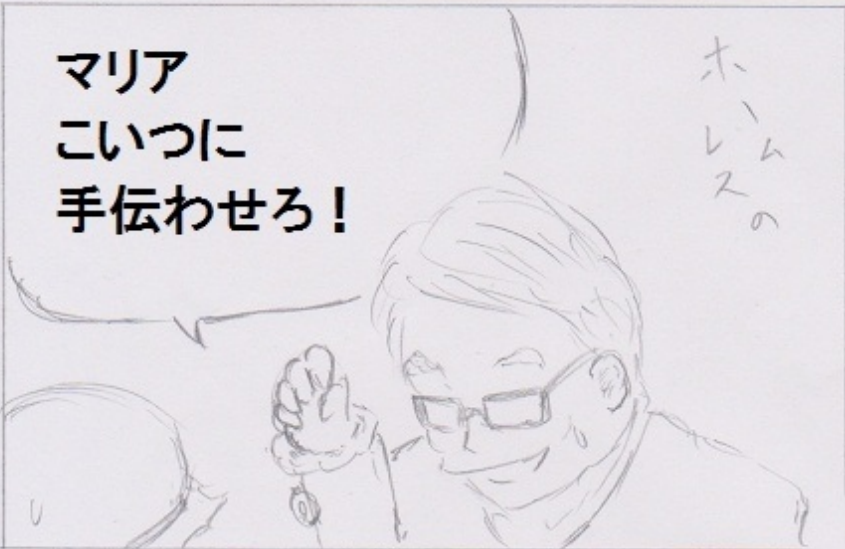
さわれる

コピー版に腕の動きをえんぴつで描いているが、たぶんこれからの作画で自分の首をしめることになる

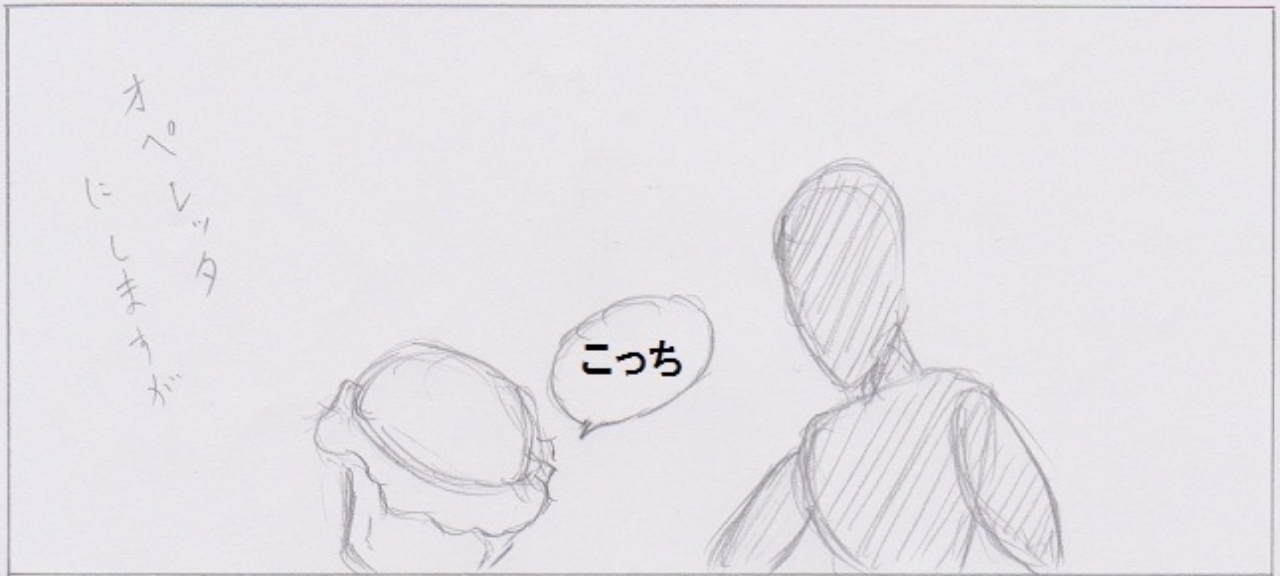


首と身体を描き忘れてる

ステディカムで撮影しているように回転しているが背景が無いのでわからない。たぶん背景があっても、わからない。実際には団長の顔を正面に捉えて回転するカメラワークはできない

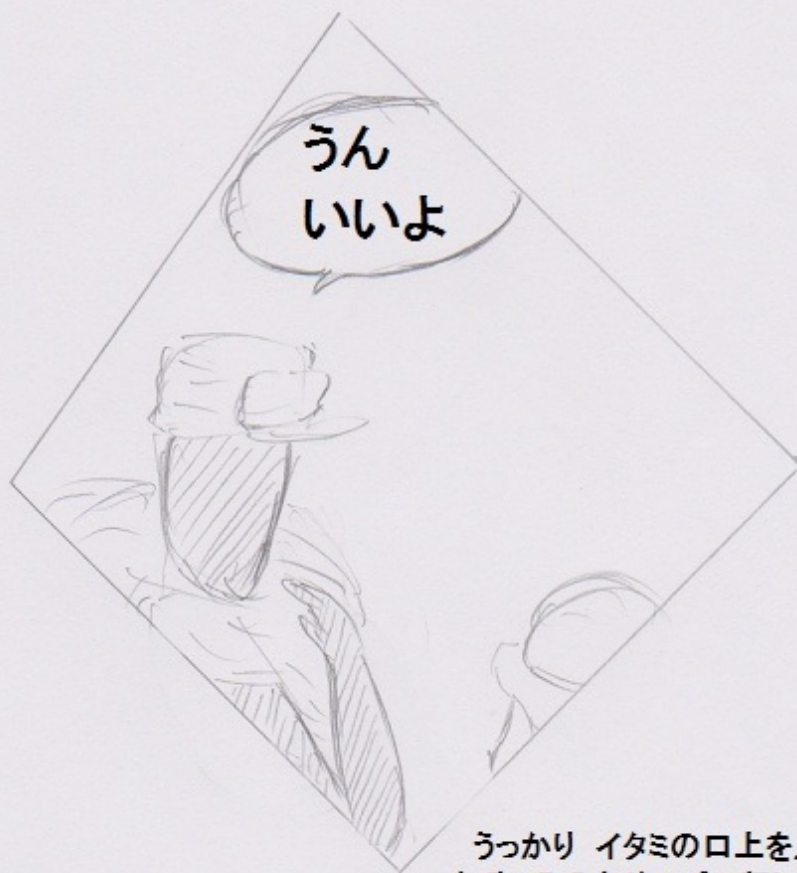


リハーサル通りにしないと大変なことになる



パズーの帽子と救世主の赤マントあるいはジュリアス・シーザーの際にカエサル役が羽織るマントか

少し時間は戻って表舞台のイタミの前口上がはじめから



うっかり イタミの口上を入れ忘れる そのためコピー版にえんぴつで書いた

後は本編を読んでね



やっぱりコンティニューしていた
コピー版のおかげ

おまけ



みてわかる通り
内話のクモが
一つ足りず
コンピュータ上で
付け足した

コンビニコーヒーをこぼしてしまう
薄いシミだったためコピー版だと
消えている





この若い頃の
マキタスポーツさんみたいな
描き方をすると
薄毛家・ハゲ・前髪が頭頂部にある人と
同じ髪形で無いと、叱られるらしい。

* ネタばらし *

『まんが道』に描かれた作業工程と同じ事をしている。満賀道雄が当時の映画俳優の似顔絵を描いているように、無地ノートにキャラクターを描いて、人物配置、相関図めいたものを描いたり、設定を書いている。

マンガの中でキャスティングされた映画俳優No.1はチャールズ・ブロンソン。BD『ブルーベリー』も、ジャン・ポール・ベルモンドよりも、ブロンソン似にブルーベリーが描かれる。だから、『石油』の「第三部第二章」がある。大林監督の「うーん、マダム」で『SBR』のスタンド名マダムである。たぶん、『キバの紋章』の影響だろう。

ゲームでも、普通に『MOTHER3』にそのままのキャラクター名、ブロンソンって、出ているからね。

ということで一度やりたいよね、マンガの中の有名人を集めた話・記事。マツコ・デラックスが、現時点でのチャンピオン。福本伸行もマツコ的な女性キャラクターと、書くべきか迷う登場人物をマンガに出している。バナナマンの日村さんも『BECK』で「連呼」（ある事情で主語を描けない）したり、ちょっと前にチャンピオンのマンガでカッコいい役をもらえたとし、前髪重たい系の元祖である。あの宣材写真が大きいと思う。

配役やモデルについて、通常のテレビゲームのキャスティングとは違う。基本的にギャラとスケジュールだけど、有名人を起用するのは、プロモーションであって、朝の情報番組やスポーツ新聞の芸能欄に、一般の方がお眼にかかるようにするためである。

もっと言うと壇蜜のデビュー作が『龍が如く』という、そういうのがほしい。

ちょっと古い『鬼武者』シリーズで金城武や松田優作という実在、実在した俳優を主人公のモデルに「起用」したのは、こうしたプロモーションを行わないと、埋もれてしまうからである。百万本以上を売り上げたが、これは佐村河内守の名義の新垣さんが作ったアルバムの本数よりも、売れている。

実際に作るわけじゃないから、こんな下記にある無茶な配役ができる。裏方の人の中には、声を聴いたことがないけど、

括弧内は担当声優。生きていれば、本人の場合がある。生きているのに、ご本人様でない場合がある。それはスケジュールとギャラが合わないと予想されるか、故人になる可能性が高い。後は、私はデッサン力がないので、似顔絵がご本人様と似ていないのが、肖像権的に正しいと思われる。だから川本喜八郎の『三国志』の紳々と竜々並の再現率でいいと思う。コンビは天下三分の計のように分裂する。

イワマツツ 岩松了（本人）

団長。東京乾電池の人。

本当に『テレビデイズ』でティッシュ箱が定位置に置いてあるか、気になる人。静かな演劇の前世代、『時効警察』でオダギリジョーの家に用を足しにくる役。「キリヤマ君、キリヤマ君」と言っている人と思えば、覚えやすいだろう。

イワマツツ団長はステージマネージャー、演出や興行プロデューサーを兼任、代役までしてい

るようだ。

そもそもイワマツツ・アンサンブルである。

最近、ヒゲを生やしている本人のように、アゴにごま塩をふらないといけない。

イタミ 伊丹十三（未定）

看板俳優。随筆家にして俳優、映画監督。

未定としているが、魔術卿とワランのおじいちゃんの人が最有力だが、デスブログ・エフェクトを起こすといけないので、未定とした。偶然、スケジュールとギャランティーの条件があえば、大塚明夫になる。これで手打ち。それで演じるのがピーチャムさんという「やっぱりホームレスでした」と。乞食の元締め（翻訳書では乞食王としているのもある）だから、ずいぶん出世を果たした大役である。（つーさんも『Fate』声優は出演できない）

よかったね。

『スウィートホーム』の伊丹さんの「心の力」の話は、そのまま演劇論だけど、演技伝説として昔から語られる熱くなっていない火鉢の箸を「熱い」と思って握ったら、俳優の手の平に火傷のような痣が出来るみたいな事をよく言われてた。これはメンタリズムだと思うけど、化学薬品のA薬を手の平に、B薬をあらかじめ火箸に塗っておけば白土流化学忍法的に出来ると思われる。（参考文献『忍者武芸帳 影丸伝』）

でも、黒沢清と仲たがいして、ビデオソフトで見返すことができない。

記憶の中で、あのセリフをリピートするしかない、それが心の力なのか。

ハリノスケ 正岡憲三（佐々木蔵之助）

俳優。アニメ映画監督で映画俳優であった正岡。

名前は芸名・瑠璃ノ介から。そのまんまだと、ひねりがないから、ハリに。

「ななつとみつとひとつ」では、数学者（三人目のゴットフリード）。

正岡と団子兵衛で、夢の共演。

奥さんがウシワカの声をあてたから、中性なのか、そういうことである。

声は京都出身で俳優はいろいろいるけど、とりあえず佐々木蔵之助。やはり誌面映えする人。本当はカンバーバッチの吹き替え声優の三上哲さんがいいが、こういうことを書いて、キャスティングできなかつた時には落ち込むから書かない。

ハリノスケのキャラクターはもちろん、メッキに近い。現役高校教師である。

ヨーロッパ企画の人に偶然会ったら、「どうしてハリノスケの声をボクにやせらせてくれなかつたんですか？ 泣かすぞ！」と言われる。

マエカ 前川麻子（本人）

看板女優。オリジナルは劇団を率いている人、作家でもある。面白いことに、日活の先輩後輩の立場が入れ替わっている。

「ちゃんと日活アスタリスクを観ました」

小説の通りなら、タレント名鑑に載っているはずだから、そこから連絡を入れる。

「お願いします。アスタリスクの虜バラードを歌ってください」
と、私自ら頭を下げる。（ヒロインをいじめるいい役とかは、あえて言わない）
場合によっては、公演でもカットされる。（栄作版では本当にカットされた）
…バージョン違いで、レーティングが大人向けだと歌っているけど、年齢低めを対象にすると、下画面の裏方と同時進行している「百円オペレッタ」の表舞台が上画面に表示されないのは、本編でも語るどころ。

フルカ 古川日出男（本人）

俳優。オリジナルは文学者。もちろん俳優経験がある。

よくわからなかったら、まず雑誌「新潮」の新年号（2006・7年頃）に付録にあった「詩の朗読」のCDを聴けば、『（表記できない漢字でサン）・さよなら絶望先生』の斎藤千和先生のようなことをしているとわかる。

「前回までのあらすじ」で十数パターンナレーションがあったように、中也の「汚れちまったかなしみに」を半角カタカナの「ヨレマツカシミ」としゃべるようなことをしている。（聴けばこの表現が正しいとわかる。シティボーイズライブで「エイチツーオー」をきたろうさんが「Eイツァ！」と言うようなもの）

ただ、懸念はこのアニメに声をあてた人の中には、難病指定の特殊な病気に罹っていたり、早死にした人がいたり、縁起（この間まで演技と誤記していた）が悪いのが心配だった。「スコットランドの劇」みたいに、直接戯曲名が言われなくなるのではないかな？

でも、もう心配しなくていいんだ。

アルト アントナン・アルトー（ギャラの安い声優）

俳優。演劇人。

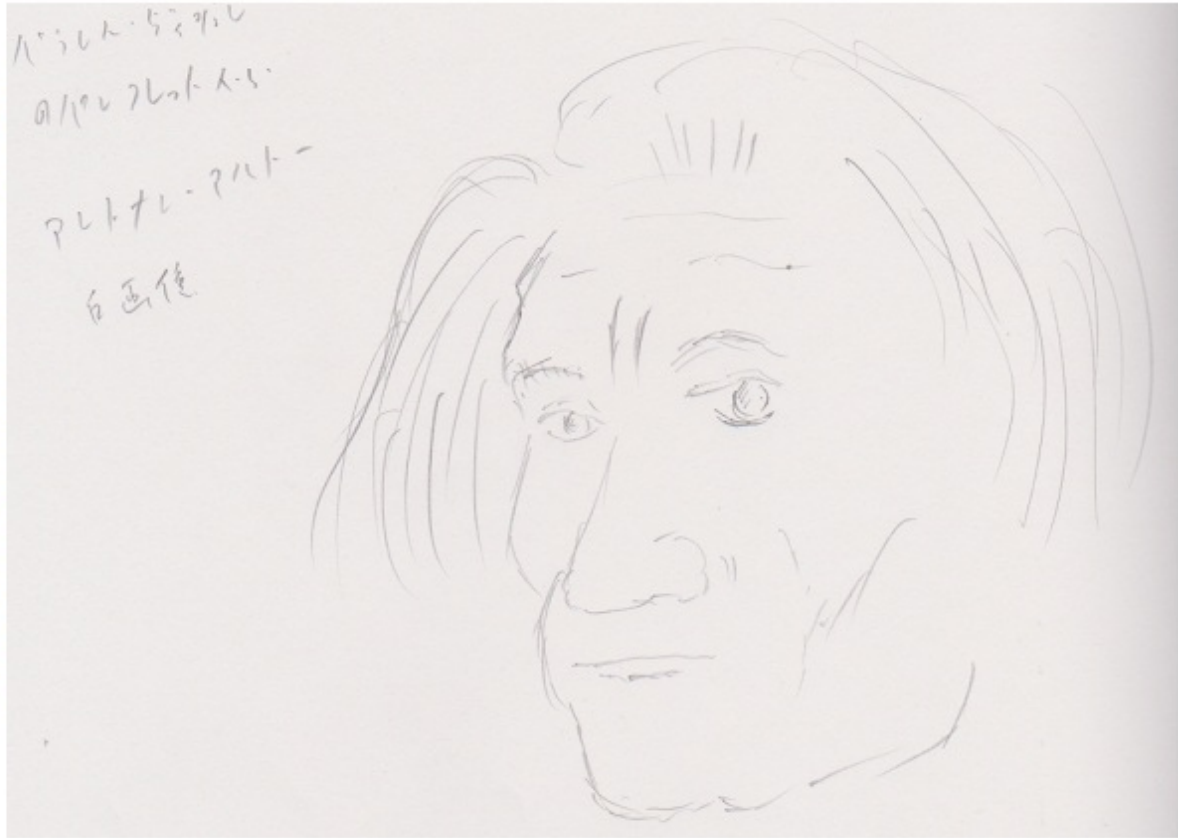
見た目は岩崎真哉。エピグラフにもある『今夜、全てのバーで』に出てくる人物でもある。病気がち。彼がいないと、表にも裏方にもしわよせがいく。

もしかしたら、「シルエットアクター」の更新も滞るのは、彼のせいかもしれない。

アルトーの著作を読んで第一世代が始まった。で、全集をちょっと読むと霊媒派というか、何かの憑依される（する）演技に興味がある。さらに四方田犬彦さんの本でも、小泉八雲の怪談「耳無し芳一」の話が仏訳されて、アルトーがそれを読んで、翻案した戯曲が没後に公開されている。

実際にゲームにはならないけど、アルト主演で「ある楽士の物語」が上演されただろう。

アントナン・アルトー 自画像模写



このスケッチはすでに著作権切れ

キーダ きだつよし（本人）

俳優兼スーツアクター。TEAM発砲・B・ZINの主宰だった。

作風は特撮やテレビアニメのパロディで構成する内容である。キーダもそういうキャラクター性を引き継いで、「なんでドロボウをやらないといけないんだ」とゴネる。白波五人男が戦隊ヒーローの元ネタだから、落ち着きなさい。

宣材写真がカッコよすぎるので、似顔絵の参考にならない。

今はもう、特撮番組の脚本家で有名だけど、ロケをしていたらギャラリーの方が「オレの方がうまい」とスーツアクターをやりはじめた『月光仮面』のエピソードみたいな、三角マーク・東映のプロデューサーが舞台公演をわざわざ観に来て、その縁で照英さんの『ギンガマン』の脚本を手がけて、特撮番組に留まらずアニメの脚本もやるようになった。

いい話である。

……キーダに言わせちゃいけないセリフを言わせちゃってるかも。

キーン ドナルド・キーン（本人）

能楽者。日本文学者。

日本文学の研究者が、なんでお能をするのか、キーンさんの『二十世紀クロニクル』の「青い眼の太郎冠者」の項を読んで、次に「私たちは三島に賞をとらせる」とカイヨワがした謎の耳打ちのところも、あわせて読むといい。別の著作にも書かれている。

亡くなられた場合、リザーバーとして、わかりやすく野村万斎さんだけど、たぶん、断られる。こういうことを公表できるのも、もうありえない未来の思い出だから、できる。シン・ゴジラの中身をしてくれたのに、古典芸能も包括する演劇のゲームソフトは下に見られているだろう

から、演じないだろう。

だから、あのエピソードも無い。

それもまた、ありえない未来の思い出なのだ。

タマオウ 吉田玉男（清川元夢）

人形遣い。故人であり人間国宝であった。

リアリズムの人。

故人なので声をあてるのは『ご注文はうさぎですか？』にいるチノの頭に乗っているうさぎ、その声が清川元夢である。意外に人形浄瑠璃的な、意味合いがある気がする。できれば品川徹さん。

品川徹さんかあ。

いいかもしれない。でも品川さんのキャスティングは、「このドラマ・映画はシリアスです。けて喜劇ではありません」というテロップが流れているようなものだから、苦しいね。

でも品川さんはタマオウのような事をする人じゃない気がする。

ダンゴベエ 市川団子兵衛（片山福十郎）

歌舞伎役者。アニメ内キャラクター、大藤信郎の持ちキャラ。

女形もこなす。ベティ・ブープの顔をしているため、ジェニー役ではそちらによせている。

もともと市川団十郎一門という設定の根多、落語「団子兵衛」から来ている。（マンガの団子串助の方がアニメよりも早いはず）

声優内山昂輝くんに鼓を打って聴かせた片山福十郎なものも、歌舞伎役者であるからである。

屋号を持っているような名跡継承者よりは、スケジュールに都合がつくと思われる。

ミノル 田中実（…）

六・七枚目辺りの俳優。故人である。

また声の配役が難しい。

亡くなった故人を演じさせるのは、リスクが高い。「スコットランドの劇」みたいな、でもあのアニメに声をあてた人なら、「難病指定の特殊な病気に罹っていたり、早死にした人がいたり」して、もう大丈夫だと思うから、その出演者をキャスティングすれば、なんとかなる。

それから、一度アゴ付近に青鉛筆でテキトーに点描を打って、それを消しゴムで軽く消す、髭剃り後を表現している。が、後から思いついた描き方なので、最初の方はちゃんと処理していない。朝剃ったヒゲが生えてきたのでは？

ササミー 笹峯愛（本人）

女優。元アイドル。

「マンガ夜話」で強引に仕切る、あのニャンチューとからむお姉さんは、舞台もやっている。運営費用も足りなかったら、雑誌のカラー記事になることも厭わない。

それだけで、良い俳優である。

マツリ 松梨智子（本人）

女優。女優とっていいだろう。

『毒婦マチルダ』の監督でもある。詳しくは拙著『石油』で銃をつきつけられた主人公が、学生時代『レオン』のパロディをするシーンを思い出すきっかけとなった、あのシーンを読み返してほしい。（阿部和重と榎本俊二がバカなことをしていた…まあ、いいか）

「まつなし」を“マツリ”と読める（読まない）ので、この名前。

シルアクでは、マチルダ似や『トキワ荘の青春』のような姿である。つまり、女優のナタリー・ポートマンと水野英子の若い頃を足して、二で割ったような見た目となっている。

ともかく自分はナタリー・ポートマンだという自意識をもたないと、『レオン』のパロディとはいえ、マチルダを演じられない。イケテツ（スパイ）と他の男性（最高権力者）がシャワーを浴びながら、キスしたりする。それで、労働問題は『近未来蟹工船 レプリカント・ジョー』。

まったく気づかず水野英子を描いたつもりが松梨さんだった



これが松梨さん

「映画を観たⅡ」

マリオ マリオ（カズレーザー）

メイクアップ。たまたまピーチャムを演じた人が、メイクアップのことも学んでいるというので、その人物をモデルにしている。

カズレーザーがダメだったら、『スラムダンク』の魚住の声をあてた人に頼むけど、イッコーさんといい、メイクアップをする人はゲイやトランスジェンダーの人がなぜ、多いのだろう。

カズレーザーはイッセー尾形のような一人芝居をしたかったと言っている。ピンクのシャツに“今時売っていない”ホワイトパンタロンで、収録の際には、ピンクのシャツに白いスラックスでまず形から入ってもらう。観客に着替えるシーンをそのまま見せるような、もの。

津田健次郎さんや小野坂昌也さんみたいに一度でもオカマを演じると、オカマが売れる。ごはんが炊ける。メシが食える（ギャラがもらえる）。だからいいのである。

キム 木村哲人（本人）

音響。本物の音響の人。音効。

正直に言うと、資料を紛失してしまった。

名前が変わるはず。

（2019年になって資料を再び手に入れて読んでいる）

コノエイ 近衛秀麿（新垣隆）

音楽家。日本オーケストラの父。

ミュージカル・オペラのような音楽劇だと登場。演奏家たちの指揮をする。たぶん、モリタートをちんどん屋調にモード変更しているのも親方が編曲している。コノエイ版である。ボコスカ大筒ソングとか編曲、 Kult・ヴァイル・アソシエーションから音程を変えるのはダメと、厳しいお達しが来るが、著作権はブレヒトよりも早く切れているので、大丈夫。

そもそも近衛版は、原譜通りには、演奏しない。

「タイガーマスク」の曲は、ビデオソフト化の時は、ピー音を入れないといけない。シティボーイズライブの『ゴッドファーザー』の曲を口で表現時にはそうしていた。

故人なので、だれがいいか、それはもう、新垣さんであろう。

見た目が同じという、理由。（大きな声では言えないけど、ダメだったら榎田氏に）

一部ではマイスターと呼ばれ、だいたいコノエイ親方が親方と呼ばれている。秀麿親方と同じ。

チンコロ ちんころ平平（SE）

クロニャゴ 黒ニャゴ（劇団ひとり）

犬と猫。なぜか劇団内で働いている。大藤信郎の持ちキャラクター、きっと中に人が入っているだろう。声はSEと書かれているが、『けものフレンズ』に出ていた人たちがいいと思うが、この間『コララインとボタンの魔女』を観たら、黒い猫を天才・劇団ひとりが日本語版吹き替えをしていたから、これはいいと思った。

エキストラや荷物運び、楽器も弾いたり、いろいろ手伝わされたり、エコノミックアニマルズである。

犬や猫がしゃべるゲームである。

団長自ら、「東映マンガまつりかよ」と。

ウサギ ウサギ（SE）

兎。『クレヨンしんちゃん』のある人物のお母さんが、ストレスがたまるとなぐる、うさぎのぬいぐるみ。なぐられうさぎという名称があり、ホラ一回で活躍し、普段しんちゃんの声をあてている矢島晶子さんが、不気味な声色をあげる。

だいたい痛い目にあう。

タヌキ ぶんぶく茶釜（水田わさび）

狸。よく国道に死体が転がっている。

たぬきといえば、ドラえもんで、本当は大山のぶ代だけど、小原乃梨子さんを近づけても、反応しなくなっただろうか。

まるでモノクマの声がタラコになるような人選である。

ゾウ 寺田ヒロオ（小野寺丈）

象。石森章太郎の発言、木陰に下にゾウがいた。

ということで、石ノ森の息子、ドラマ銀河『まんが道』でも石森を演じた、小野寺丈に。パオぞうという名前は、『オーバーマン キングゲイナー』から。

キツネ おこんじょうりのおこん（ ? ）

狐。漢字では書けないツツモタセイ。

少し、先行した情報を書けば俳優に化けて、代役をこなす。

トキ ニッポニアニツポン（金田朋子）

朱鷺。野生に放たれたトキも個体数を順調に伸ばしている。

シン 大橋裕之のキャラクター（木村昴）

大道具・小道具。新造工務店の人っぽい。

「シンさん」「シンさん」と呼ばれている。

怪我しても、万力を使って片手で小道具を作ったりする。亡くなったキャラクターではないので、現在のジャイアンの中の人木村昴でいいのでは？ だけど、大橋さんも俳優をしているので、昴のスケジュールが合わなければ、大橋さんが声をあててもいいと思う。

シンさんが舞台装置を材料を組んで作る。

トシオ 中島利夫（本人）

照明。必殺仕事人の照明。

普通なら、長年蜷川演劇の照明をしていた松井さん（か原田保）なんだけど、「シェイクスピアロマン」と同じように、蜷川色を強めてはよくない。

王差川哲朗（例のごとく漢字が表記されない）とか、似顔絵を描くときに定規を使って輪郭線を描く白石加代子さんなど配役に入れようとしな。アルトくんのお母さんが白石加代子とか、面白そうだけど、それは「身毒丸」である。

片目だったり、小指がなかったりして、カタギではないかのような、見た目であるが、東宝というより三角マークの東映的人物である。

アッキーラ 山口晃（本人）

舞台美術。美術家、日本画家。

横山さんにそっくり。『すずしろ日記』には奥さんのご尊顔が拝める。

舞台の書割を描く。一応、舞台装置の設計もする。そのため、設計図を描いているはず。そういえば、馬をバイクにたとえた蜷川演出よりも前に、戦国武将の騎馬がバイクになっている日本画を先に描いたのか、気になる。花道でバイクでウィリーしながら退場するシーンとか、インフレを起こした真似をする。東宝演劇のような大手ならできる。

だけど、イタミに「なんか足りない」と書割に付け足される。これは伊丹さんご本人のエピソードだけど、山口晃本人は烈火の如く怒ると思う。勝手に西原理恵子を書き足そうとして、腕を握激しているマンガとか、読んだような読まなかったような。

う～ん。山口さんさえよければ、「続無残ノ介」を戯曲に…

ケイノジョウ 水玉螢之丞（小見川千明）

美術補佐。イラストレーターでマニアック一族岡部家の娘である。

やっぱり、「水玉堂本舗」の連載と「ハイテク遊戯塾」のカットイラストをしていたから、顔傷がある人をひいきにしている。トシオにはかいがいしい。カブキ丸につながるダンゴベエは見た目がよくないのか、あまりひいきにされていない。

基本、シンさんとアッキーラの間を取り持つ。女性でないと、用意しにくい、用意できないものも調達する。（こういうのは女優が用意してもいいが、マエカが「私は女優よ」と言って、やりたがらない）

オミガワちゃんは、舞台演劇をしているから、任せても安心。故人だけど演じる時は崇られる（顔傷が好きになる、とか）ようになって大丈夫。

ホームレスの衣装でタッピング、ドロッピングしたようなモノはケイノジョウが用意したのか、これは演劇あるあるで、俳優が普段塗装工のアルバイトをしていて、それでもらってくるいらなくなった飛び散り防止の布を、衣装に転用しているのである。でも、書割の美術を作っている、できる。

たまにケイノジョーと表記されても、気にしないでね。

一応、会計係りも兼任と、後付設定。

ヤンマザキ 山崎清介（本人）

悪い魔法使い。山崎さんは演出家兼俳優。

「子供のためのシェイクスピア」を観た人にしかわからないけど、「あの人形、操るときの声」で「シルエット。シルエット！」と言ってもらおう。

山崎さんの演出にある、クラッピングで場面展開など、本編でも描くはずだけど、演出もしている俳優さんには、演出アイデアも出してもらおう。きださんがいるから「一幕終わったら暗転前に、アイキャッチ入れよう」とか、我慢できなくて、一場目でアイキャッチを入れてしまい、役者たちに「思いつきで演出している」と酷評されるイワマツ団長は私の投影である。

マリア イジー・トルンカの人形（妖精だから福原遥）

衣装（ドレッサー）。そして、女優になる。とくにモデルとして設定しておらず、だから百円

オペレッタの売春婦でデビューさせても、事務所から怒られない。

蜷川演劇なら、小峰リリーだけど、それは「シェイクスピアロマン」の実写パートで「あれ？こいつまるで小峰リリーがデザインしたような衣装を着ているな」と、演劇ファンがなんとなく思っていてスタッフロールを見たら、「本当に小峰リリーさんに頼んだ衣装だった」という、まあ、それはもうないんだけどね。

シナリオ「影の王子」を宮崎アニメ好きの成井豊に発注するため、わかりやすく宮崎アニメのヒロインみたいな行動をする、言動がある。（ダメだったら『キャプテン☆ラブ』の脚本家）おもねり。

こび、へつらい。

「そんなゲームソフトを売れ線に寄せたいのか！ この商業主義め！ 資本家に飼いならされたブタ（一瞬宮崎駿の自画像がサブリミナル効果的に挿入される）がっ」

と、読者のお怒りもごもっともだが、まあゲームソフトを実際作るわけではないので、いいのである。

少女マンガの瞳の描き方ではなく、たしか人形の眼にガラス玉を使っているらしく、泡が入っていた。気泡が入っているらしい。（ドイツのドールアイなのかは定かではない…とか思っていたら、この間カラー写真でみたら、見間違いだったと判明。モノクロ写真で妖精の人形を見て誤認していたようだ）

バレエとか踊って、瓦割り人形みたいにしたかったのではなく、『MOTHER』と同じようなことをしたかった。ロマンティックバレエの型を覚えなくちゃ。ちょっと、不思議ちゃんのような、妖精ちゃんのようなところがないと、いけないのでは？ ちょっとそれがある。

まずいことに、マリアの成長物語を入れるなら、「ピグマリオン改題」の主役になり、言語学者の二人をハリノスケとダンゴベエで、学者のお母さん役をマエカでやりたいけど、そんなことしている時間が無い。言語学者は音のアカシックレコードで蓮っ葉な頃のイライザの声を聴くのである。こうなると、本来なら長いキャリアのある声優でないと、できないのかもしれないが、別に作ることもないのでそんな心配は要らない。

『クッキングアイドルまいん』に出演している頃から、「この子が大きくなったら大成させるために売春婦デビューさせたい」と思っていない。

後付設定で、小さい頃は金髪であったが、成長するにしたがってミディアム・ブラウンになった。

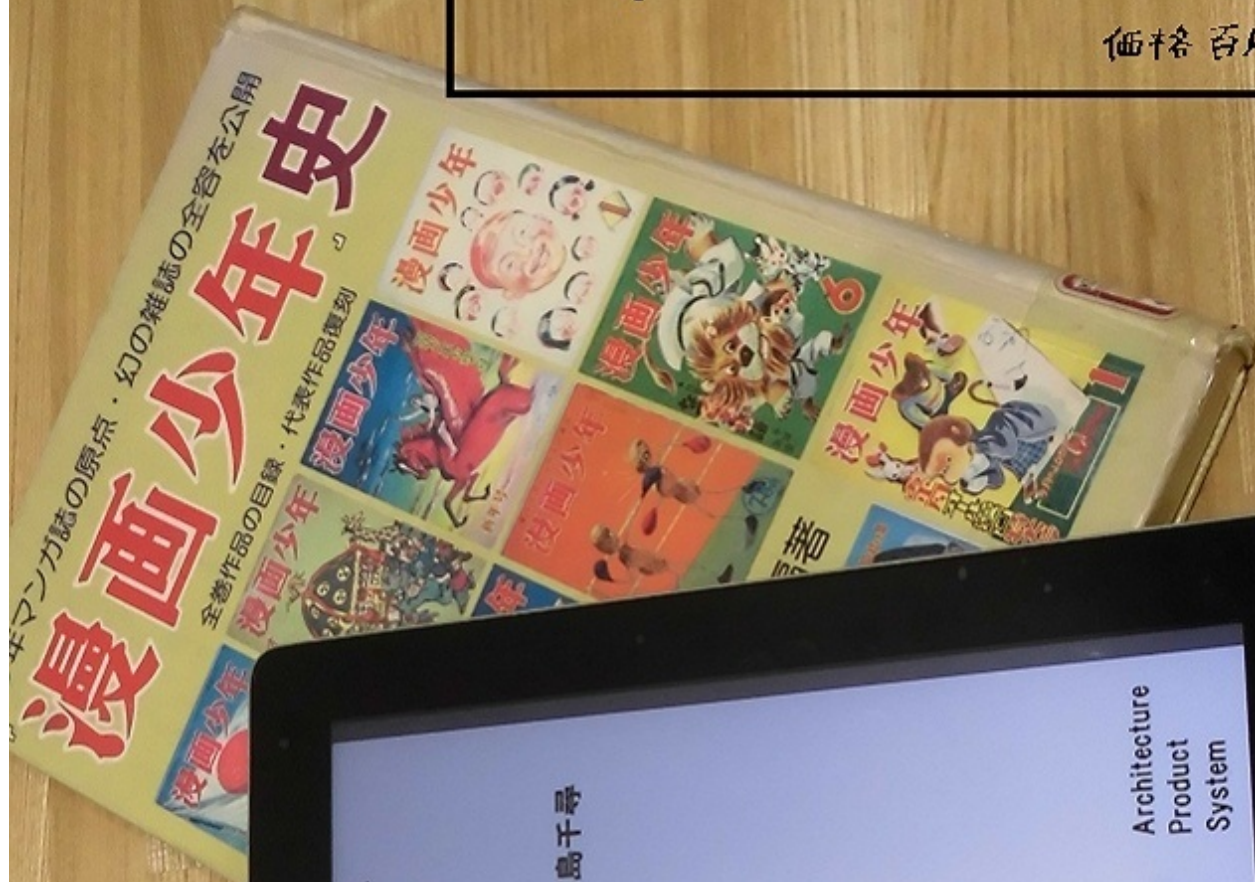
マンガレビュースペシャル

兄になりたかった人

持論の寺田ヒロオ評

完成

価格 百円+税



diary

RE

**SE
AIN**

ネタとしては「本当は瀬尾光世のアニメのキャラクターによせているのを、杉浦茂のキャラクターによせていると、発言している」と、しているのか、どうなのか謎である。

長年かかっても判明しないだろう。

長年かかって判明したといえ、プチ鹿島さんが「電波少年」の「ひいきチームが勝たないと飯が食えないペナントレース企画」に参加していたとは。そんなPKさんは『東京ポッド許可局』で“喜怒哀楽をむき出しにしているファンは美しい”と、言っているが、それは本当か？

俺嫁設定している（そうでないとゲイと思われる）花澤に関しては、報道があって、感情をむき出しにしたはずだ。

「今度こそ、うまく行ってほしい」

「そもそも梶君とのアレ、なんだったんだ？」（ちょっとここから言えない話が飛び出る）

これ、美しいか？ 狼狽を見せているだけで、見苦しいだろう。

こういう、喜怒哀楽をはっきりさせると、うまくいくものも、うまくいかなるなんて、影響があるはず無いのに、つい思ってしまうからあまり表に出さなかったけど、表に出さざるをえない。

これがいわゆる二次元の嫁をうかつに設定してしまうと、大変なことがある。たとえばそのキャラクターがストーリー上死んでしまうと、恐ろしくショックなので設定しない。今思えば「カレー食ってるときから、怪しいと思っていた」である。去年の冬は危ない。

落合夫人がロックオン（注『ガンダム00』のキャラクター）が死んで、夕飯を作らなかったことは有名で、福嗣君にとっては「ひいきチームが勝たないと飯が食えないペナントレース企画」みたいに、飯が食えなかったのである。

「チョコタン」みたいなラストになる。

私は自分が思っている以上に、『ジョジョの奇妙な冒険』が好きなのかもしれない。

本気で嫌いと言っている松山洋、「GAME REVIEW SPECIAL DOMESTIC DEVELOPER（PはペニスのPです）」なんて、「松居一代と同じ」と思われる。

それは仕方ない。そんな区別なんて、できない。

情報を精査して、あんまりマスコミで語りづらかったゲーム裏面史も、『現代ゲーム全史』とは別の形で語るとか、そういうのはどこもずっとほのめかして、すませている。

タグタイプのソフトウェア部分の開発ができたかもしれない因縁があって、そんなにジョジョラーと言えるほどのめり込んでないけど、あのゲームは「これダメだよ」と思うわけで、機会があって返信を読み返してみると「なんだこれは、バカにしてんのか？」と、わかりやすい怒りを表現したのである。

喜怒哀楽の「怒」である。

それで、「みそ先生のマンガから山田さん説」か「チューニングが無いと無力デベロッパー説（PはペニスのPです）」、どちらかはっきり知りたいけど、もう客観に寄ったゲームマスコミは無いから、憶測記事を書くしかない。ゲームファンとして怒りをむき出しじゃなくて、80パー

セントからかっている。

はっきり言えば、嫌われるためにやっているようなものだから、同じ事を書くと別にサイバーコネクトツターのファンに嫌われていい。

友達になりたくない。

むき出しの喜怒哀楽の内、サイバーコネクトツターに関してはそうとうに怒っている。

はっきり書こう。

「このゲーム開発会社の作ったソフトが面白い、面白くない以前に、触りたくない」

という偽ざる本音で、お金を払ってゲームをする人には、サイバーコネクトツターのソフトを遊んでほしくない。普通、ここまでのことを「書きません」。最終的には本人の自由意志だから、「悪趣味ゲーム紀行な人たちの間でも評判がいいから買う」というなら、止められない。

タグタイプのページにリンクがある資料を、「意図じゃない」と資料を見ないということは、逆に同じ事をされても、文句を言えない。タグタイプのホームページを見せるという意図も、否定されている。それを九州のデベロッパー（PはペニスのPです）がしている。（プチ鹿島さんはこういう話嫌いだろうけど）

はっきり言ったら、喜怒哀楽の哀しいだろう。

「あのう、レイシズムって、悪いに決まっているじゃないですか？ 松山洋が朝鮮民族なら、在日に特権は無いのにファンタジーを信じている狂った組織にあえて影から支援するって、それを公表するという事は真面目に嫌われている」

えとう乱星さんや田川さんに、この事実を知ってもらえばいいんじゃないか？ ゲーム業界の側がこういうことをしているって知って、顔が引きつると思うけどね。

だいたい、雇用しなかった人間の言う事なんてきかない。

なぜなら必要な人材であった事を認めて、雇っている人事部の人間を処分とか、できない。著作権上欠番になっているから読み返せないけど山田さんを出さないようにするぐらいしかない。チューニングをアウトソーシングするとか、マンガ表現論の応用でゲーム開発とか、必要ない。ちゃんと社長責任だ。

自分たちに経営力がなかった。

『世界樹の迷宮II』以降のテキストみたいに、認められないし、認めたくない。

それで、裏から手を回そうとしたらしい。

燃料投下という、炎上のメカニズムをわかっていない。（こんなヤツがボスだと最悪だが、スタッフには同情できない）

本当はケンカしたら弱いのに、島田紳介の「ツレのツレはツレやないけえ」みたいな、平和解決で自分の強さの隠蔽してデカイ面する。

オトナになって、暴力団を利用してしまう。

だから、松山洋が工藤会の利用しているかは、確定していない（むしろ利用していないだろう）が、「紳介の行動に似ている」から、実際に奥さんが工藤会幹部の妹である「松本龍みたいだ」となると、どんどん状況証拠が埋まっていく。本当に利用していないのに、どんどんそう思われている。むきだしの喜怒哀楽の楽しいである。

これはPKさんがいうようには、美しくないだろう。

それから八方美人で誰とでも仲良くって、難しい。アメリカと中国の両面外交って、難しい。最終的にロシアが漁夫の利って、明治時代じゃないのだから。

あきらめている側の怠惰かもしれないけど、それはできない。

子供の頃から、大人になっても、うまくいかなかったからだ。

松本人志はよくスタッフのせいにするけど、仕方ないよね。皆気づいているとおもうけど、三木聡監督が面白かったのであって、出来た映画見比べると、素直に三木さんの方が笑えてしまう。差がはっきり出てしまう。

シンパの人たちには、そういうことを言ってほしくないのは、わかるけど、

シンパの人たちの前では、さすがに言わないけど、

「八方美人ができないんです～」

ということである。

だから、瀬尾光世や大藤信郎など、戦中にアニメを作っていた人たちをちゃんと評価して、その手法を真似たシャフトを手放しに褒めず、裏切ってしまったのは、八方美人なんて、できないからだ。

ある種、松居一代は船越英一郎の狂信的ファンで喜怒哀楽をむき出しにしている。

それはけして美しくなかったのだ。

笑えるけど。

七月十五日はオールスター第二戦 7.15

オールスターに入る前に、優勝予想をしておくはずが、暑くてなかなかできなかった。まず、オールスター前の順位である。

| | | |
|----|-------|----------|
| 首位 | 楽天 | 広島 |
| 二位 | ソフト | 阪神 |
| 三位 | 西武 | 昔はカマボコ球団 |
| | オリックス | 巨人 |
| | 日本ハム | 中日 |
| | ロッテ | 乳酸菌飲料 |

セリーグは順位がまぐれで当たっているところがあっても、パリーグはあるチーム（昔はカマボコを作っていた丸はがスポンサーだった）を最下位としてしまった。

それはしょうがない。

楽天はメジャーでは少し流行った二番打者に長打力のある選手をもってくる…その昔、吉田義男が桧山を二番にして大失敗して以来、日本球界では清水選手を二番にして成功している。（注・桧山二番起用と同年）

気を取り直して、最順位予想である。

予想順位

| | | |
|----|-------|------|
| 首位 | 楽天 | 広島 |
| 二位 | ソフト | 阪神 |
| 三位 | 西武 | 巨人 |
| | オリックス | 中日 |
| | 日本ハム | ヤクルト |
| | ロッテ | 横浜 |

これでいいのでは。

黒田さんと前田くんがないのに、なんでこんなに勝つのか。日本一を取りに行つて、楽天に返り討ちにあつて、また来年、日本一を目指してほしい。こういう事を書くと、日本シリーズで勝つて「あの日記記事はなんだんだ！ ふざけんな」と広島カープファンから怒られるかもしれないけど、油断しちゃだめだよ。CSは短期決戦で三本柱が揃っている巨人が勝ち残るかもしれないが「アサヒ芸能」を紙の日に出す前に読み返したら、福本豊が連載記事で巨人大型補強を「これで勝てなかったら、エラいで」と語っているが、女子禁制だから言えるけど、愛人宅から愛人宅へ、二盗三盗したというのを、奥さん自ら話していたのテレビで観たことがある。カネやんなんて武闘派で（日記なので途中で終わる）

なんかネタがあった気がするけど、忘れちゃった。

ここ一週間は、この間の暑い日が続いたのに比べれば、松居一代である。涼しい日が続いていた。ベッキーと同じ扱いである。

ちょっと号泣議員を思い出した。

高座に上がるべき人だったのでは？ 船越父が息子との結婚を反対したとか、それは正しかっただろう。結果にすぎないかもしれないけど、我々にネタを提供してくれる松居さまの言っている通り、船越さんがこっそり飲んで（何を）不倫をしているなら、結婚を継続できない理由だけど、松居さまが嘘をついているとしたら、船越さんの勝利なんだけど、どうも、そこらへんは真実はわからずじまいで、どっちに味方すればいいのかわからないで、灰色決着してしまうのでは？

そういえば、桃太郎→かぐや姫転生説だけど、桃太郎→ナウシカ転生説もあって、ナウシカもお供のサル・イヌ・キジを連れているようだ。

これが交代する。

| | | | | | |
|-------|---------|---|---------|---|-----|
| 猿 | ドルグの子供 | → | チチク | → | オーマ |
| 犬 | テト | → | 蟲使い | | |
| 鳥（キジ） | トリウマ（親） | → | トリウマ（子） | | |

ということで、船越さんはキビダングの代わりに違う物、『AKIRA』における超能力を導入するピルを飲んで鉄男みたいにドクン！ となり「ぐっ」…高畑アニメと宮崎アニメの相対差、ジブリアニメとシャフトアニメの違い、その補助線が大藤信郎だ。交点Oにのび太くんみたいな見た目の大藤信郎さんがいるのか。（これは表明しておかないといけないけど、こういうことを書くとラジオでネタにされるが、元々伊集院光のラジオで無ければ別にいい。サイバーコネクトツの件で全部伊集院に集中！ アスタリスクビデオの流出の犯人は私だ）

ナウシカは、アニメ業界の松居一代だったのか。

墓所の主に向かって、「真実を語れ！」って訴えているようなもの？

表紙画がかわかずおやドリヤス工場じゃない、田中圭一の『もし、文豪が…』という本が、スマッシュヒットらしいけど、“その道はいつか来た道”で、清水義範さんがやっていたパスティーシュが、もうほとんど誰も真似しないし、本人すら原稿依頼がない時期が長らく続いて、この本と清水さんが活躍していた頃の間、誰もいなかった。

パスティーシュ本は元々、需要があったけど、出版不況で一度廃れて、読者が渴いてきた頃に、乾ききった時にやっと一冊が出たのだ。懸念は便乗本がたくさん出て、また飽和する。そして時間が経ったら、同じ本が出る。

文読では書かなかったけど、清水さんはゴーストライターをしていた頃の技を、著作名が出ている本でやっているのではないか。そこらへんは、本人にあたっても、教えてくれないと思われる。

やっぱり、これも村上春樹で、著者インタビューを読むと春樹のパスティーシュ記事を書くと、面白がられたという。そこから派生して行って企画本が出た結果らしい。村上春樹巨大恐竜説である。

さわわかさんの『文学としてのドラゴンクエスト』でも、村上春樹との距離を図るしかない。それ以外の作家、もう皆わかっている「あの作家」と「あの作家」との相似性や、けどその作家の説明に紙幅をとられるから、村上春樹との相対差をとるしかない。たとえば、『ドラゴンクエストX』ってハルキからリュウに変わっていないか？ 双子の『コインロッカーベイビーズ』じゃないか？ とは、語られていない。「たまにある残酷性がドラクエ」（調べたら“不意に現れる暗い文学性が「ドラクエらしさ」をつくる”が正しい）の、その残酷性（暗い文学性）は村上龍からきているのではないか、リュウなのか、ハルキなのか、謎なのである。

両村上というくくりは、ミナ坊に無化されている。たまたま同じ時代に苗字が同じ作家がいただけで、そのくくりは別に正しくない。リュウ派が必ず肩入れしている村上龍の方が優っているという、妙な結論を出される。（この延長線上で春樹らしさは否定され、村上龍っぽいところを評価されてしまうというのは…もうドラクエ研究は終了した）

「dramtick picherの輸出」でも『進撃の巨人』は劇画から来ている、劇画から引かれているという、すごく売れている作品をとりあげないと、劇画がわからない。マンガ読みには必須科目である、劇画をいちいち説明しないといけない。現在の読者との接着面になる『進撃の巨人』を不本意ながら、とりあげないと、過去にあったんだかわからないジャンルの話になる。事実、伊藤剛さんのマンガ評でも21世紀に入って若い人に「劇画って何ですか？」と聞かれるようになったとある。劇画の説明しないといけない。

メジャー作品を取り上げて、読者と劇画の間にある空間に接着しないといけない。そこで出てきた問題は、白土起源と断定できないということ。

立体機動装置は、スパイダーマンの方が有力だと思うけど、猿飛びの術であることも、否定できない。白土流忍法は児童漫画の忍術、ほぼ魔法であらゆる科学法則から解放されていて、それを白土は分身の術は三つ子や変装、急に手紙が燃えるのは化学物質を塗って室温で発火するようにするなど、今までの忍術に相対的に科学的な理屈を導入したのだ。そのため児童漫画で表現された忍術が陳腐に見えるイノベーションをしてしまって、夏目房之介さんはこれを「失樂園」と呼んだ。

それで『進撃の巨人』は前にも書いたとおり、『空想科学読本』以後の「つつこみ」、「これだけの大きさの怪獣だと自重で潰れる」のを、怪獣並の大きさの巨人は密度が低く、低い密度を内部から蒸気を発して風船のように大きくしているという、理屈付けをしている。


非常に白土的だけど、まだ結論が出ていない。

本当は後出しジャンケンのように議論が深まって、結論が出てからやりたかった。

「チョコタン ぼくのおよめさん」も、早すぎた深夜萌えアニメだと、嘘でも提示しないと、今のアニメ視聴者にはわからないだろう。おそらく、飲酒運転による事故が起きても業務上過失致死で量刑が殺人罪に比べてあまりにも差がありすぎるのが、21世紀になって是正されたことを考えると、当時から問題提起があったのかもしれない。それはスポンサーがついていない自主上映会でないといけない。

そんなことより、ドラクエのパステリーシュなら、いくらでもできるけどね。賃金としては、非正規社員ぐらいも払ってもらえるらしい。

ああ、ドラクエの発売日だった！ うっかり忘れてた。



ぼく 知ってるよ
天使が出てくる
ゲームだよね？
一日早くドラクエ
フライングゲット
したよ☆

お前の言ってる
ゲームは
あれしかない

ネタが「運動不足で膝が脱臼して、膝サポーターをしている」や「押井版『攻殻』バトーはやっぱリユリシーズで、犬の世話しているのはアルゴスだからだ」ぐらいしかない。一時的に腰を悪くしたマキタスポーツさんみたいに、杖をつかないといけなかったかもしれない。

本来、「第三ライトノベル」のネタにすべきだけど、たまたまフローチャンネルのネタ、後でリライトしようと思うから、少しやっておかないといけない。カイヨワの『遊びと人間』の英文タイトルをムリに翻訳すると、「人はゲームをするか、遊びをするか」である。

だから、テレビアニメの『ゲーマーズ!』は、正式なタイトルは「ゲーマーズ・オア・プレイヤーズ」ではないか。これが正確なんだけど、正確なタイトルはたくさんの読者を得られるわけじゃないから、ゲーマーの複数形になる。

たぶん、マーケティングではプレイヤーをライトユーザー層（年にミリオンセラークラスを三つぐらい買う）とゲーマーをヘビィユーザー層（年にミリオンセラーを含んで十タイトルほど購入）に分けていた。

百人ぐらいのテレビゲームの消費者の消費動向を分析すると、ちゃんと年五本ぐらいソフトを買う層（中間）はあるが、ボリュームゾーンじゃないので、二つの層に向けたソフトが作られていた。

はず。

これが確認されていたはずだけど、洋ゲーが出てくると、ヘビィユーザー層が割れてしまう。国内派か国際派で、個人輸入して海外ソフトを手に入れる人とか現れ始めると、国内ゲーマーが割れはじめる。

フローチャンネルとルドウス・パイディアを組み合わせる（複論理）のをすれば、ゲーマーとプレイヤーは、明確に分離できる。謎なのは、『フロー体験』が訳出された約20年前にすでに答えが出ていていいのに、私でも答えが出せる問題が、なぜ流通していないかだ。

ゲーム業界のフシギ。

つまり、『遊びと人間』と『フロー体験』を二つ読めば、出る答えを出せなかったら、何がダメって、全部ダメ。これってゲーム部の先輩の言っていることと、同じだろう。プロ指向だと、どうしてもそうなる。

問題は、ゲーマーとプレイヤーの間にある溝が、恋愛の障害になっているのを、わかりやすく表現していない。

今は販売するときのジャンル表記で、恋愛シミュレーションとちゃんと書いてあるのは少ない。具体的に発売予定表をチェックして数を調べたわけではないので、恋愛アドベンチャーと比べて、本当は多かったとなるかもしれないが、「少ない」という事で話を進める。

恋愛アドベンチャーはステータスをアップさせる努力をしなくていい。女の子にとって、個別に都合のいいことを言ったり、行動すればいい。コミュニケーション主義の表現というか、スポーツのチャンピオンでもない、受験戦争の勝手でエリートでもない、それなのに口先一つでトロフィーワイフ（この場合トロフィーステディか？）を手に入れるなんて、うまい話は無い。だからこそ商品価値がある。（…また女子禁制でないと書けないことを）

広告代理店を使って、ほしくないソフトを売るわけにもいかない。

商品価値があるとは、このように受け手にとって、あまりにも都合のいいものだ。

カイヨワ流だと、主人公は恋愛シミュレーションをゲームせず、恋愛アドベンチャーをプレイしている。（ゲームだけをする人は変な事を書いていると思われるけど、古典ルドロジー上は正しい）

藤崎詩織は攻略（攻略って…）するのが難しかったから、ゲーマーに『ときめきメモリアル』が認められ、それで吉田戦車にめきメキラーとバカにされる。後半、茶化しが入っているが、ゲーマーはそうした闘技性を求める。

何が起こっているかと言うと、近代小説の「エリートが近代思想を知らない近世女性と恋愛（近代化による輸入物）をしようとして失敗する」の性移項がなされている。

だから、主人公が逃げるのは正しい。近代思想の人体実験・思想改造をされたら、たまったものじゃない。ここで部活動という、スポーツで補助線を引いているのも、わかりにくい。高校野球でたとえれば、甲子園を目指す野球部と、草野球をして楽しい野球同好会が、ゲーマーとプレイヤーの違いに、なっているんだと、ゲーム部だけだと説明していない。（放送が続くと同好会を作りこの指摘はあてはまらなかった）

ゲームにたとえると、フリーウェアの『勇者を怒らせる48の方法』のように、不親切きわまりない事をさせるギャグと、ゲームシステムについてマニュアル要らずで親切すぎるのが、同居している。もちろん不親切が「ボケ」で、親切が「つつこみ」になっているのは、わかるけど、バランスが悪いように見える。

ここで私の「解説」を読んで理解したというなら、逆に作品が受け手に不親切に教えていない、スパイアニメみたいにわざとわかりやすくしないような、理由があるだろうか。

片手で眼を塞いで暗いところにあらかじめ眼をならしておくって、わざわざセリフにしなくても、スパイアニメなんて観ている視聴者には説明不要。脱落するのは、能力的にスパイになれないヤツと同じで、切り捨てられていく。

ゲームのように人を殺す、と表現されることがあるが、これはルトロジー上、逆。人を撃ち殺すのに、なんのためらいももたず、射殺数を競うようにするのが軍事訓練、その前の国民化教育であって、その労働（被教育も含む）の写し絵がゲームにすぎない。ナショナルにたやすく教化できる装置がゲームだ。

国民皆兵思想の理にかなった兵士になっていることが、国家主義的ならほめられて当然だ。逆にルドロジー上、難度が低く闘技性も低い「子供の遊びだ」というのは、ナショナリストにとっては物足りないものだ。

国家主義は人をキルマシーンに変える。ノーブレス・オブリージュのように「高貴な義務」ではなく、国民としての義務で戦う。「国民」という部分を「男性」にして、好きになるという教化だけど、これはもう、自分を騙さないとうまくいかない。

部活動は活動実績を作らないといけない。実績を残し続けないと存続できない。はっきり私立は受験参加数を増やすために、全国大会に勝ち進む部には、運営資金を注力する。有力選手をスポーツ推薦で入れる。

受験料が収入になるからだ。

だから、きついことになる。突き当たりはPL学園野球部になる。

どうしても、小さな国家主義にならないといけない。

国家主義になったときに、近代的恋愛が表現できる。

そもそも、それは我々が求めていた、もの、なのだろうか。

なんだか、よくわからないところに到達したが、いいか。

日記ってそういうものだから。

日記の内容を読んでもわからない人のため親切パターン
(これ見てわからなかったら「パーだね」と、昔の表現をする)
この頂点が「冬季エヴェレスト南西壁無酸素単独登頂」を目指す人

ハイブ?

ヘビィユーザー
ゲーム

中庸派

量が読めない無愛派尾から

ライトユーザー
コレクター

ヘビィユーザーほど

ソフト年間購入数

- 千万人時代

ライト

数百人

謎の中庸層

『ゲーマーズ』の主人公は
中庸派だけど、ゲームソフト購入数が多いことから
「消費者マーケティングではヘビィユーザーとされ、
遊戯性を好むところからルドロジー上プレイヤーとされる」

黄色いヒロインとはルドウスギャップがあり
ワカメさんにはパイディアギャップがある

ラジオ番組の「爆笑問題深夜のカウボーイ」には、投稿コーナー「思っちゃったんだからしょうがない」があり、リスナー（「聴取者」という意味らしい）から送られてくる思ってしまったもの（昔はハガキ・現在はメール）が、太田光に読まれる。田中裕二さんは…その話は止めよう。大犬丈夫。

創作すると、「田中さんが結婚したというので、奥さんの子供達を連れて映画館に行くと、どさくさに紛れて子供料金で映画を観ようとする」といったものが、送られてくる。老婆のアスタリスク。

ともかく金子智美さんの画像を見て、

「これが本当の*ズボンはけない子」

と、思っちゃった。

わざわざ画像を見に行かない人のための親切な画像



後は小藪の悪口で、森友学園に小藪の子供を通わせて、他の児童が粗相をして汚した*ズボンを、小藪の子供のカバンにビニール袋でくるまらずに直接入れる。これはただのいやがらせかもしれないけど右傾の国粋主義者なんだから、反論などをするのは「いきってる」やつのこと。

「それ、ドラマが放送された当時も、たしかそういうことを語られていたから、そんなのシャブ度じゃない」

と、配信が遅れていた「ねつもじ」を聴いて思ったことは、心の中にそっとしまっておく。昨日の野球中継の話題の話題でもしよう。WBCで皆が観てくれるときにしか、コバヤシくんは輝かないのか、三ヶ月ぐらいレギュラーマスクで一本もホームランを打てず、ほとんど直球を投げてくれて配球を読まなくていいオールスターでホームランを打ち、ちょっとマスクを被った宇佐美くんにホームラン競走で抜かれる。カメに抜かれるウサギではなく、宇佐美に抜かれるコバである（語呂がちょっと悪い。カメっていう姓に変えろ！）。

たしか、前にも話したような、どこかで書いたような、63年公開のモノクロアトムは著作権が失効しているはず。

法人は自然人と違って長生きだから、法人所有の著作物は公開から数える。マンガ『鉄腕アトム』は著作継承者の権利は後20年ぐらい保つけど、フジテレビで放映されたモノクロアニメ『鉄腕アトム』は、二年間の放送期間も含めても失効しているだろう（後で調べたら四年間だったから来年で最終回まで失効するはず）。調べていないけど、動画配信サービスのところでは、国内では観れるようになっているかもしれない。

だから、アニバーサリー50周年は祝わない。

昔のモノクロ映画や初期のディズニーマニャ格安DVDが販売されていたけど、モノクロアトムはそれにならって格安DVDが売られ、富野監督の「キャプテンフューチャー」の回は皆が知っている事になってほしい。（キャプテンフューチャーじゃないよ、フューチャーの回だよ）

しかし『蒸気船ウィリー号』のマグカップを作ろうとしても、そういうものは商標登録でディズニャ社がおさえているはず。陶器だけじゃなく、ガラスとか素材での違いもちゃんと登録しておかないと、いけない。

商標登録はちゃんと弁理士に聞かないといけないけど、登録料を払わないといけないし、登録するに足る資格を保有していないと、まずい。経済的価値を生み出せなかったら、無駄金を払ってしまうことになる。

それでもいろいろ、もめるけどね。

『笑う大天使』のパロディをしていた『終物語』は、物語シリーズが『陰陽師』だったという、初期の設定を思い出したかのように、作っていたと思う。アニメ化された事が無いから、ほとんどの視聴者は何やってんだと思っていただろう。

夢枕獏というすごいペンネームの伝記作家の書いたベストセラー『陰陽師』を現代を舞台にして、さらに神山健治監督が『守り人』をライトノベライゼーションして横文字を入れたのと同じだったのが、『化物語』と思われる。アララギ君が源博雅で、忍野メメが安倍清明だった、という話ではないのか、初めから思っていた。最初の印象を忘れていた。上書きされていた。

「呪（しゅ）」について岡野玲子がマンガに描いたモノを読めばわかるけど、その「呪」を与えることで、怪異の繰り出す現象を解決するという、安倍清明がやっていたことだった。

ボーイズラブな読みだと、博雅が清明に会いたいばかりに作り出した「鬼」みたいなものが、あのキャラクターとして生み出し…ケータイ電話問題が出てくる。アニメスタッフが必死で拵え

たキャラクター性と機種が一致する設定を、スマートフォンがひっくり返す。

原作者側へ「もう、携帯電話が小道具に出るシーンを書かないで下さい」なんて、あったかもしれない。そうした制限をせずに書いてラインが出てきたら、『ガラスの仮面』で携帯電話が出てきたときの衝撃を味あわせる。

博雅はピュアなところがあって、笛を吹いていたら、いい音だから鬼が寄ってきて、その笛を交換しようと鬼が持っていた笛をもらう伝承があるという。（吸血鬼とアララギ君の関係には、ちょっと遠いか）

小学生が好きな子の笛をなめる、走りである。

平安時代からあった。

鬼の方が早かったのだ。

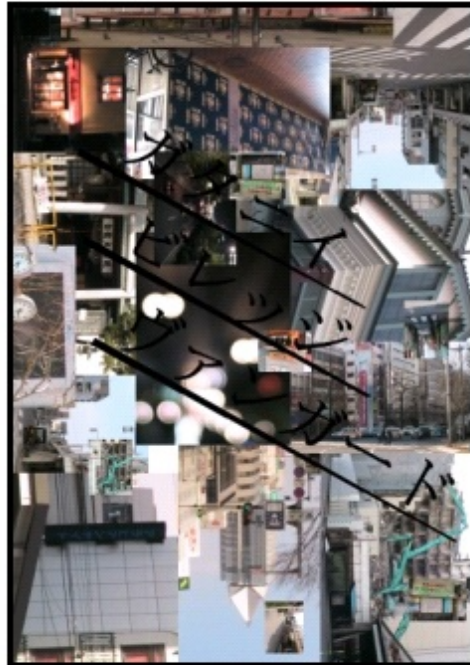
もう話をまとめるのがメンドウくさくなったから、「夕焼け酒場」できたろうさんが小学生の女の子の笛をなめていた（著作権切れ）という捏造によって話をテキトーに切り上げる。

GVV

ジャズ喫茶小説
という分野がある。
これはそのひとつ。

Architecture
Product
System

ブクログのプブー
¥50



広告

ガタニイ
ビレッジ
ヴァンガード

五島千尋

竹ひこのループがあって内側も竹アーマーなレッドヴァルキリーは今まで倒した敵を亡霊として出したりするけど、お盆ですからなんとなく皆さんご存知の通り、ローゼンクランツが蘇った亡霊の中にいるので、そこはさあ、もう確かめることができないから。

甲子園とミュージカルの構造は一緒なのか、あんな甲子園に沸いた日本に冷や水を浴びせるような内容の「汚れたマウンド」を観て、泣く。『永遠のPL学園』を読んだ後だと、あながち空想ではなく、事実を元にしたフィクションにしか観えない。

『少年ラケット』の話をしたいけど、バンナム監視員の話をしようか。ちょっと前に何かに監視されていると思っていたけど、それはバンナムだったんだ。

クドカンが週文の連載で『ゆとりですが、何か?』の取材のために、新入社員と話をして業務内容を聞くと、自社製品のネットでの評判を調べるといふ。「これは生産になっているのか?」という疑問はともかく、資金潤沢なバンナムも、似たようなことをさせているみたい。

新入社員に言えることは、『ありえない未来の思い出たち』で描かれていることは、開発現場では全否定されている。そもそも採用しなかった人間の書いてあることが、自社で通用するわけではない。さらになんらかのアイデアを採用するという事は、上層部を批判することになる。ちゃんと、こうした処世術を身につけて、閑職に追いやられないようにしてほしい。

甥っ子を見ると、子供達は仮面ライダーが好きであって、ゲームが好きになったわけじゃないから、エグゼイドを見ても子供はゲームをやらない。

本当は日記じゃなくて、書評でやるべきだけど、二つの本を取り上げる。

ちばかおりの『ハイジが生まれた日』と津堅さんの『アニメ作家としての手塚治虫』を同時に読んでいる。

『ハイジが生まれた日』の方は、カルピスマンが劇場の正誤を知りたくて、もちろん“まんが”を脱字していたのだけど、それはもう直っているから、いいじゃないか。

大藤さんの記事も書いている津堅さんの本は、片渕監督も読んでいて、タマちゃん先生（斎藤環のこと）との対談でも話題に上がっていたし、昔夏目さんが手塚研究の本として取り上げて「手塚は伝説を生み出している」とも語っていたから、機会があったら読もう、読もう、と、ずっと思っていた。

そろそろ読んでおこななくちゃなと、重い腰を上げて今回、読んでみたのである。

海外の週ペース（本国では隔週で放送？ 買い付けた日本では週間放送？）のテレビ放映向けに製作されたアニメよりも、ちょっとストーリーを表現できたのが、モノクロアトムの評価である。それは戦後児童漫画より、ちょっと差があり、実は戦中の漫画を読んでいた手塚のごく初期の漫画と同じ評価なのだ。

作画厨というのは、もう昔からいる。作画厨の筆頭が、大塚康生だったりする。手塚フォロワーの次世代（アニメファン）には『新寶島』の評価とは、逆の事が起きている。

惜しむらくは、引用文で「味方」が「見方」になっていたり、註釈になぜか余計な平仮名があったり、もう少しテキストに正確な事を書いてほしい。サッと読んだ人間でも見つかるような、誤字脱字がある。アマチュアが作った個人製作の電子書籍じゃないんだから。おそらく10年前から、校正費用にお金が出せていないという証拠物件でもある。

そう二つの本には、約十年の開きがある。

しかし、『ハイジが生まれた日』の方には、手塚がディスカウント、ダンピングだとしたテレビアニメ制作費値下げ問題が、無批判に書かれている。こうして、アニメ研究はアニメの事を記事にする人にも伝わっていない。

たしかに二重契約問題って、説明できないというより、説明がめんどくさい。こみいった、ややこしい事情がある。書評だとそこは、きちんと説明しなくてはならないかもしれないが、直接本を読んでもらうしかない。

単純に、制作費を抑えたい側が悪用してきた歴史を『ハイジが生まれた日』ではそのままコピー&ペーストのように、繰り返すのは北朝鮮を地上の楽園としていたのを、ずっと垂れ流していたのと変わらない。

本でも書いてある「一度きりの放言」を繰り返し俎上にのせて、タマちゃん先生も信じていたという、こういう事実かどうかの検証をした方が逆に「歴史修正主義」と言われてしまう。

ともかくそのために、十年前に答えが出ていることが、まったく浸透していない。検証がある程度すんだ正規に商業ベースで出版されている本があるのに、津堅さんの本にも書いてあるが、もう十年も前どころか、その前から関係者が否定する言説があったのを拾って、さらに裏取りも取材している。

これはさすがに、「本を読め！」と、言うしかない。

端的に右翼は右翼内でしか情報が回らず、左翼は左翼内の情報しか見てない。セクト主義化。そうして出来たセクトは結局、フェイクニュースを信じ続けてしまうのではないか。東映動画を出た組が手塚憎しを募らせて一人歩きしはじめた情報に頼って、手塚批判を繰り返した、これが左系の側から出てきた。

フードレフト、フードライトという言葉が流行らそうとして失敗したけど、アニメレフト、アニメライトのようなものが、実は支配的というか、そういうものが出来ている気がする。

ハイジ人気自体がPTA側が良番組として設定したという、つまり左翼思想にまみれた親が作った人気かもしれない。理由は子供に左翼思想を教化したいから、そもそものハイジ人気に疑念を持たせるような事になりかねない。こうした反論も甘んじて受けるべきだ。

だから、『ハイジが生まれた日』は図書館で借りてきて半分だけ読んで、つまらなくて、全部読まずに返した。小田部洋一がゲーム開発に関与していたことは、たぶんちばかおりさんはアニメレフトだから、見て見ぬフリをしているだろう。『SHIROBAKO』の会社（武蔵アニ）はエイケンのビルが正しかった裏取りは出来たけど。

後は渡辺岳夫さんは、新垣隆さんに作曲を下請けさせたとか、いないとか、その傍証のようなことが書かれている。

それはともかく、政権でたとえると、親米（ディズニー）左派政権が手塚であり、親仏（『やぶにらみの暴君』）反米左派政権が高畑・宮崎であったと。民社党的支持を集める野党勢力のアニメライトに押井守がいる（今は実写）という、構造では？ だが『アニメ作家としての手塚治虫』と『ハイジが生まれた日』を読めば、こんな簡単には、表現できない。

バンナム監視員には、最後に、「君たちには、敵対勢力がいるよ。それが味方に回るような、甘えた考えは止した方がいい。それから敵がどんどん増えていく」と言うしかないな。

「ねつもじ」を聴いて『マリア様が見ている』を、あおられて観た。

わざわざ、レンタルビデオ店でDVDを借りて、観てみた。

大変面白いと思うし、キャラクタードラマとしてお姉さんとスールになれるのか、この藤堂志摩子さんの声をあてた人が後に「しゃらくせー——」と叫んだり、『教えてギャル子ちゃん』のナレーションをしたり、スピリチュアルな発言で皆を震撼させるのか。

そういう話は面白いけど、気にかかることがある。

物語の根幹となるか、タイトルに上がっている聖母とは、そもそもキリスト教は、正しいのか？ そんな疑問にかられる。種小説と言われる吉屋信子の『花物語』の頃とは、日本のキリスト教の受容や認知の度合いが違うと思われる。

被征服民に棄教させ、改宗させるために、古代ローマ帝国が布教をはじめて、キリスト教徒であらずんば、ローマ市民にあらずのように振舞いはじめて、それでご存知兄弟皇帝が東西に国が分裂してカソリックと正教会に分かれる。

その結果、東方正教会によってスラヴ民族は民族神話の伝承を失い、その余波か『ロボット』『ロリータ』『ソラリス』が出来てしまったのか、謎である。

聖母子昇天で新たなセマルグルを生み出そうとしたのか、セマルグルのミモイドを作ろうとしたのか、そもそもロリータが擬態形成体ではないのか、その起源はカレル・チャペックの戯曲、さらにゴーレム伝説まで遡るのか、ソラリスの海を神にしようとしたのか。ソラリアナがスラブ民族を啓典の民にしてしまうのか。そしてニンフェットはキリスト教に仕組まれたものではないのか。

北村透谷に悪影響を与えて、「『南総里見八犬伝』が素晴らしい」と、やばいライトノベル評を書かせたりしていないか、ここで「芸術新潮」17年八月号の「仁義無きキリスト教」や架神さんの『「バカダークファンタジー」としての聖書入門』の話をする、ブレる。

なんだっけ、復活したイエスに「（槍で刺された）傷口に指を入れないと生き返ったと信じない」と弟子が言うが、それは女性が好きな、叶美香さんが好きな穴ではないのか。そのときキリストは村田がやる繰り返しのギャグ「おかげさまで生き返りやして」という、決まり文句は言ったのか。

笑えるところはこれで終了。

次の総理と目されている石破さんは、カソリック教徒なのである。

それが日本に悪影響をおよぼさないか、正直心配である。

前々から思っているのは、この人物が自民党の中核にいて、本当にLGBTの政策は正しいものになるのか、疑問である。平等を骨抜きにされてしまうのではないか。

加藤一二三には訊かないが、石破さんには訊かないといけない。

「あなたは同性愛者を認めますか？ 同じ信仰をもつ人が今、同性愛者を排斥していることをどう思いますか？」

海外のメディアだと、神父はそういうことを聞かれる。

日本は宗教家に優しい。甘やかしていると言っていい。「ぶらぶら美術博物館」で地獄図ワ
ンダーランドでは「同性愛者はこの地獄に落ちる」と言う解説をしていない。

前はお寺の地獄図でやっていたけど、最近はLGBTに気を使っているというより、仏教が積
極的に同性愛者を排斥していたという歴史的事実を隠匿しようとしているだけではないか？（
こんなこと書いていたら、デスブログみたいに保毛男田保毛夫が抗議を受けて、男色ディーノは
どうになってしまうんだ）

田川水泡がカソリック教徒になったのは、なんとなく、わかる。

弟子の長谷川町子の影響で教会に関わるなか、戦中の出来事でカソリックになるのは、四方田
さんの『犬の肖像』を読めば、軍国主義に加担し裏切られたためにカソリック教徒になってしま
ったのではないか、同情でわかる。

それを『のらくろ』のベタ塗りを手伝っていたという義弟小林秀雄はどう思っていたのか知ら
ないが、ちゃんと「のらくろはオレのことだよ」と、黒犬に自己投影している事は伝えてある。

ほんの少しだけだが、ちょっとだけ触れると、子供たちが『のらくろ』を読んで、すすんで兵
隊に入りたいと小国民教育に貢献したのに、太平洋戦争が始まると軍部から横槍が入る。

それで満州の地で五族共和的な集団のリーダーとして金塊を得て、喫茶店を開くのらくろのラ
ストは、どこまで折り合いをつけた結果なのか、戦後誰かインタビューで聞いてほしかったが、
もしかしたら、あるかもしれない。

そういえば、邪推した方もいらっしゃると思うが、「ななつとみつとひとつ」のカードの
柄は、「フリーメーソンに似ている」と。ものさしとコンパス、そしてプロビデンスの目のよ
うな、眼と視線。

これは数学の思想的なものと、一致しているだけだろう。

スコットランドの石工組合が、テンプル騎士団を起源とするらしいが、コンパスもものさしも
石をちゃんと図って加工したり、目というのも石の価値の鑑定を意味するのでは？ 石をちゃん
と鑑定しないと、風雪に耐えるピラミッド建築が作れない。単純にこうした観測や鑑定眼を培っ
ていくと、どうしても天動説には矛盾があると、気づいてしまう。地動説が正しいになるだろう
。

だから、フリーメーソンはずっとカソリックのデマゴグにさらされてきたのが、フリーメーソ
ン陰謀説の真相ではないか、と思うようになってきている。

ヒストリーチャンネルの番組で、アメリカに聖杯とともに母体となったとされるテンプル騎士
団が渡ったとされる説を出され、最後にフリーメーソンの話にして、どうなんだろう？ とは思
っても、天文学的な知識で遺物を建てたりしているから、地動説派で追われてきた人たちが、ア
メリカ大陸に渡った…そもそも地球が丸いと、コロンブスみたいに知っていたから大陸に渡れた
。

話を戻す。

リリアン女学院に通う彼女達は、支配者に被征服を受けていることを誤魔化するために、キリス
ト教ごっこしているのではないか、そんな『マリ見て』を編集改ざんして、『ドロレスが見て
いた』になるのだろうか。これも戯曲のネタにするか、考えものである。

雑誌「サイゾー」の記事を読んで、

「Nintendo SwitchのHD振動は、そんな事に使えるのか。買おうかな。ミドナ熊の手を握った時の振動なんて、機能の間違った使い方だったんだ！ ラブテスターの模倣なんて、やるんじゃないかった」

そんな話をしたいのではなく、『神々の山嶺』の話である。

メモにもあるように、もしも山際淳司がこの原作小説とマンガを読んだら、どんなブックレビューを書くのか、という想像でマンガレビューを書いて、さんざパロディにってしまった谷口ジローさんに罪滅ぼしである。

『神々の山嶺』は、「山嶺」と書かれているが、読みは「いただき」である。

いただきストリートじゃなくて、いただきマウンテンだ。

世界最高峰のマウンテンをいただく。山と令と頁の初登頂を狙う。

作中時間は1990年代の前半から半ばまで、山際の死後にも話は続く。

その年代でないといけない理由はともかく、マンガでも小説でもいいから『神々の山嶺』を一度読んでから、『俺たちのBL論』を読んでもらいたい。

そう、「二人は付き合っている」としか思えない。

そういう方たちに向けた、男と男の『ヤマノススメ』である。

ピックアップコミックの表紙に「山岳ホモまんが」としか思えないように、二人が寄り添っている。「付き合っちゃいなよ」

話の内容にも、触れないといけないが、ある山の高度5000メートルのところにベースキャンプがあって、そこにある人物が来るかどうか確証が無いのに、待つ。そんなところにベースキャンプがあるのは、K2かあの山ぐらいなんだけど、待つのである。

待ち続ける。

まるで「男なら来い！」とサイン会を催す炎燃の呼び込みチラシに書かれていた文言だ。

初めての出会いも、「ビカール・サンー—毒蛇と呼ばれた男」と、まるで運命の相手と出会った瞬間である。それから、主人公と言える山岳記者は興味を持って、取材と称して元カレの話を聞くようなマネまでする。（このあたり羅川真里茂の『ニューヨーク・ニューヨーク』を読んで元カレが気になるのをジローさんは影響を受けたのだろうか）

ガケから落ちそうになっているが、「これは助かるぞ」という決定的瞬間に、『餓狼伝』で言えば私がパロディマンガを描いたチキンウィング・フェイスロックをかけているようなシーンがある。登場人物であるリョウコさんに、関節技をかけるわけじゃない。

そうして、待っていると、来るのである。

話が進むと、酸素欠乏症とはいえ、その人物の声が聞こえる！

テントの中で2人きりになり、強風で石ころが落下して、身を縮めないと大怪我をするようなところで、一夜を明かす。落石が降り、テントの幕に穴があく。

暗喩が過ぎる。

獏先生は執筆中「これ、勘違いされちゃうよ」と思わなかったのか。

ジローさんではなく、田亀源五郎先生が描くべきじゃないか。片方は熊ひげ系だから自雷也！一夜を共に明かしたから、再び、あの山に登るのか。

そういえば漢字を控えてないリョウコさんは文化人類学でいうところ、「男同士が友情のために、嫁がされる女性」のような、まあ前近代社会の見本のような、女性の扱いを受けている。ここで俺嫁設定を花澤と明かしておかないと、ホモだと思われてしまい、新しい人を探しているが、なかなかいないのである。花澤と言っても、往年の名優花澤徳栄さんじゃない。新しい人を探したら探したで「お前、さてはロリコンだな」と言われてしまう。

友と友の間の真実として、聖山の頂に達したのか、頂はそこじゃないのか、山のアスタリスクをいただくとする、吸血鬼みたいなのがクライマーなのか。

山際さんの『みんな山が大好きだった』でも、少し離れてみると変なことが書かれている。見出しには「ザイルのトップは譲らない」「冷やしても冷やしきれない男の矜持（プライド）」など、まるで芸人くじらのモノマネにあるマニアックなジャンルの第一人者たちのキャッチコピー「オレに焼かれない肉は嫉妬する」みたいなセンテンスだ。

とりあえず、山男の死に方である。

こういう記事を書いても、なかなかマンガや小説に手を出してくれないんだよね。山男の歌……保毛男田保毛夫がダメだと、想像の架空力士・保藻とか、いろんなのが、ダメになっちゃうが、いいか。フジテレビは週のトップ20にコンスタントに入る番組が無いから、視聴率回復のためにもっと表現規制した方がいいね。

「わかりました。わかりました。

『我々はすどうりりさを応援しています』

という事は、よくわかりました。

だから、矢作さんの言う、五万円の哲学書エピソードは新聞寿の言っていることだと、思えばよかったですか。りりぽん、五万円の図書券にちゃんとお礼の手紙を書くような、いい子だと思わせたかった思惑と、それをラジオで聴いたリスナーは意見が違う。

つまり、ご祝儀をくれたと思えばいいのである。

だけど、サポートやバックアップをする人が足を引っ張るような事になっている。

引責辞任。

升田アナと同じく、卒業。

新聞寿が猪木のマネージャーを辞めるみたいに、辞任。

だからりりぽんは、結果を出さなくちゃならない。

ライブしたら客が呼べて、映画出演したら興行成績一億二億を上乗せできると配給会社から計算されるようにならないといけない。橋本環奈は実際にそうなりつつある。

それは、はっきり言えば難しい。えれぴょんは『じょしらく』のファンみんな、応援していたけど、結局うまくいかなかった。

逆にさしこがあれだけ整形できた…成功できたのは、森口博子や井森みゆきのように、バラドルとしての才能・タレント性があったからで、松井玲奈ちゃんも本当に辛いものが食べれる特異体質があったからで、どちらも地金・地力があったからだけど、それがりりぽんにあるとは、正直思えない。

一応、言っておくと、おバカタレントにはバラドルの才能があったわけではない。番組が終了したら、ほとんどテレビで観なくなる。

猪木はプロレスラーとして観客を魅せることが出来る地力があるから、タイガー・ジェット・シンに事件を起こさせて、新日本プロレスに注目させて馬場との人気相対差を埋めるようにしている。

その地力がさしこにはあった。バラドルという、掘っている人が少なくなった鉞脈を掘り起こす人として、成功があった。

それから哲学好きというギミックがアイドルとすこぶる相性が悪い。

ドイツに留学というのも、ちょっと考えるまでもなく、神殺しの哲学者の出身地（たぶんオーストリアだと思う）がドイツランドなわけで、にわかをカモにしている。神の似姿の偶像どころか、虜囚になって奴隷にさせられた民族が『これは神の試練だ』と、自分たちを納得させる手段として神を捏造したと主張しているのに、偶像を語源とするアイドルなんて、認められるわけが無い。

この人物の名を反射神経で言えない人をカモにしているだけだと、まるわかり。

今度はハイデggerを学びにとかだと、麻生さんみたいに本音はナチスドイツ大好きの人と思

われちゃう。言わなくてもわかるけど、ハイデッカーはナチ政権に諮問として参加していた。それを学びにって、微妙。無知？

現実問題、戦後にドイツ哲学は後退しているのに、『なんでドイツなんだ？』と思われちゃう。21世紀になって、誰かすごい人が出てきたっけ？

そもそも初期設定として、哲学好きはムリがあったのです。

スマートフォンゲームの『フェイトスラッシュグランドオーダー』の成功って、初期設定にめちゃくちゃ力を入れて、結果に過ぎないかもしれないがヒットした。それをやっていない、パズドラフォロワーやモンスターフォロワーは、どんどん淘汰されていく。

ガワ替えだけじゃ、儲けられなくなったのである。

坂シリーズに参加していた方が、生き残れそう。

りりぽんの側に立ってみると、まあ、皆さん知っている通り、飲み屋の娘で『このまま地方のホステスとして、暮らすのヤダな』となんとなく思って、アイドルでもやるかって、そんな風に思われる。

『女帝』みたいに『うちは火の国の女たいっ』と、ホステスとして嬢王グランプリみたいなもので勝ち上がっていくのが正しかったと思うのだが、それはちょっと、なかったのだろう。

これは小藪千豊が言ったことにしてほしいけど、『飲み屋の娘がイキってんな』と、小藪千豊が言っていたよ。

皆、小藪千豊のせい。

サンキュータツオさんの言う、残酷ショーに出続けると決めたのだから、最後までやりぬくしかない。『寿退社』が出来れば傷口が広がらず、出血が少なくてすむのに、そうはいかなくなってしまった。

かわいそうなりりぽん」

須藤梨々花だから、すどうりりさじゃない。

小林よしのりの論敵みたいなことを言っている小木さんは不倫発覚をめちゃくちゃ怖がっているけど、大丈夫じゃない？ 良子さんがコンクリートうちばなしの壁を背後にしてノートを取り出して超能力導入剤のバイオギラ（このもじりであれば更新情報誌でもバイオリスクは載せられる）の隠し場所を明かし、直太郎くんが活動を長期に止めて人っ子一人いない林の中で「夏の終わり」の替え歌「お〜ぎがふり〜ん♪」を歌い、最後にリーク児島が小木さんを売っているわけじゃないのに、「私がリークしました」と土下座して謝る。「小木さんが悪いんじゃないんです。ボクが悪いんです」と、言っている事は嘘だけど真実を語っている。

皆が助けてくれるよ。何かあったらみんな小藪千豊のせいにするばいし、興収200億円の映画を作れば、そんなに文句を言われない。

「あ、淫行は誰も助けてくれません」

矢作さんはもう一人じゃないのだから、運転に気をつけるだけ。

そんなにネタが無い。

サンカクヘッドが「お母さんといっしょ」みたいな、アシスタントを実母にさせていたという、『かくしごと』のネタにできないことならある。

けものフレンド騒動については、

「テレビに出て、タバコなんて吸っていたら、文春に狙われるでしょうっ」

そんなしょっぱいネタならある。

歩いていける距離に本屋が無くなって、それでちょっと忙しいと「ファミ通」を立ち読みできなくて、毎週読めなくなった。忙しくてもさすがにコンビニくらいには立ち寄るけど、全てのコンビニに「ファミ通」が卸されるわけじゃないから、読まないときは、読めない。（毎週買ってくれる人数分しかとらないからすぐ無くなる）

更科さんの友人が、近くの本屋さんが潰れて、コンビニに売っていないマンガはわざわざアニメイトに行かないと読めないと、愚痴るのがよくわかった。

そこが家から一番近いから。

画材屋が潰れて、ロットリングの新調のためにアニメイトの画材コーナーに行かなくちゃならない身としては、感情移入できる。

もう一つ、しょっぱいネタは、『打ち上げ花火・・・』の話題になると、主演・奥菜恵がサイバーエージェントの社長さんと結婚して結局、捨てられたという話になっているけど、後半の「捨てられた」は本当なのだろうか。

単純に奥菜恵が女優業を続けたいのに、晋社長がゆっくりと専業主婦にさせようとして、前にテレビドラマにあった（題名忘れてしまった）彼氏が彼女の事を「今は働いているけど、そのうち専業主婦に、そのうち家庭に収まってくれる」と思っていて、どんどん追い詰める。口では女性に理解があるフリをしておいて、内面は保守男性。

いるいるって奴である。

だから、テレビドラマのネタになる。

たとえ恋愛感が一致しても、「社長夫人になってくれ」と「主婦でも女優を続けたい」の家庭観が一致してなかったら、別れることになる。

晋さんは、いわゆるIT企業の社長と言っても、実力制の出来高払いではなく年功序列給与体系を選んだ保守的な、古くなってしまったけどIT革命の源流であるカリフォルニアン・イデオロギーを捨てて、会社の存続・発展を選んだ人だ。それがキャリアウーマンのような映像俳優の奥菜恵を、嫁にしたら、女優業なんて遊びだろって思っているのがバレて破局したんじゃないか？ オトナ計画の「キ・レ・イ」に出演するような、演技に身を入れた奥菜恵である。けして、トロフィーワイフに終わる玉じゃない。（下品だけど、玉じゃないと言わないと、決まらない…女子禁制でよかった）

晋社長が年功序列を選んだ理由は、「怠惰理論があるので会社に積み立てている労働賃金を後で利子付きで払う」からじゃなく、どの企業もしているから、それが正しいというものだった。

つまり、家庭内でも「性別分業する」のが正しいという横並び幻想的な、自分の甘い考え方も持ち込んだだろう。だから、既存企業のテレビ朝日と共同でアベマTVができる。

こうした憶測はいくらでもできるが実態は、わからないで終わるだろう。

中村獅童くんとすどうりりさ…須藤理彩の結婚生活は口外しないと、離婚時の契約であるとされるが、そういうことでちゃんと離婚調停しているはず。

未見だけど、『キラキラスターナイトDX』が映っているということで、アニメ映画『打ち上げ花火』は「キネマ旬報」のコーナー的なREVIEWでは星五つ中星五つ。

何をおいても必見。

そちらの党派なので。

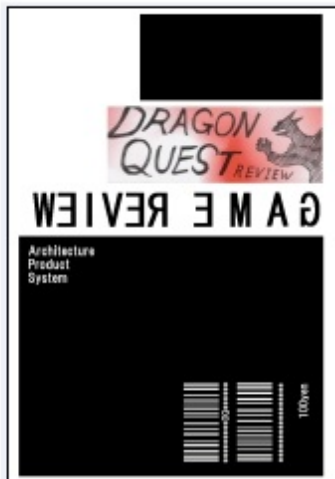
そういえば、玉と言え、あの玉のアイデアは岩井俊二発だから、監督はあのゲームをしている。よかったね。多根清史。鬼籍に入られた方と一緒に喜んでほしい。（私は悪い人間だから「墓の下で喜べ！」と長州力的なことを陰で言っている）

私はそちらの党派じゃないから。

広告

ドラクエ研究指針

ブクログのパー



「80年代のテキスト空間」より
ドラクエを確実にプレイした作家は、糸井重里と高橋源一郎さんである。作家と限定しなければ、斎藤はドラクエをプレイしていたと思われ、天野祐吉はドラクエをプレイしたことをエッセイに書いている。彼らをひとくりにすると、みな文筆業を営んでいるといえる。文筆業を営む彼らがどうして、ドラクエにはまったか。

「80年代のテキスト空間」の作家たち、ドラクエにはまる



100yen 税抜き

Architecture Product System

後日、「キネ旬」の記事を読み返していたら、片淵監督が利用したクラウドファンディングのサイト運営は、サイバーエージェントの子会社らしい。あんな別荘に住んでいるなら、もうカネを片淵監督に直接渡してくれ！ と、思っちゃったんだから、しょうがない。

もしかしたら、皆さんの中に奥菜恵『紅い棘』をアンチョコにこの日記記事を書いたと邪推された方もいると思いますが、存在をこの間まで（2017年12月）知りませんでした。本にあたれば、答えがだいたいわかると思うだよ。

まず、Heroesが出て、外伝リメイクのEchoesが出て、無双が出て、セリカのフィギュアが出て更新情報誌では書きちゃいけないこと（私はしてませんよ！）をして、今年ファイアーエムブレムの年であった。

どのソフトを買って、やらなかったか、それはプライベートなことなので、「オキナとススムの夢冒険」みたいに、明かせない。シンかもしれないけど、そんなのはどうでもいい。

それにしても、左というイラストレーターさんは出世した。『屍天使学園水没す』から出世した。中国でやろうとしている、高度な免疫抑制剤が無いと難しいトリックとか、それは新城カズマさんに悪いから言えない。

はじめてサバンナというコンビ名を知って、「『サバンナのハイエナ』か？」とは思わなかったけど、「このディーンが、ディーン・フジオカの元なのか？」とは、思った。

別に『ファイアーエムブレム i f』の透魔王国が陰謀論をファンタジー世界に組み込んだとか、そういうことを言いたいわけじゃない。フリーメーソンのこと、『世界樹の迷宮』のゲームレビューもリライトしないとイケない。確約はできないが、迎える正月には追加修正文があるといいな。

『トンデモ本の世界』を読み返して仕入れてきたネタは、フリーメーソンの上層部の意思決定するグランドロッジはアメリカの州ごとにあるけど、全米を統括する組織化はできていない。

皆神さんの言うとおりの陰謀説は否定される。受け売りだけど、全米を統一できないのに、世界中に陰謀を起こすなんて、できるわけがない。

イルミナティも18世紀に十年か、そこらの活動期間で世界中に陰謀の種を撒くと言うのは、まあ無理な話であるが、陰謀説大好きなそちら関係では人気があり、小説『イルミナティ』の世界をゲームにするためにガープスがあって、それでプロビデンスの目とっていた、イルミナティの象徴であるピラミッドに眼という、例のヤツ。

「やりすぎコージー」の都市伝説特番で、当時、民主党の事務所の裏に、広告看板か△に目があって、フリーメーソンがどうのこうのと、ハローバイバイ関の取材VTRを真に受けてしまった。信じるか信じないかの「あなた次第」で信じたこちらが悪いのだ。だけど、陰謀論が無いとフィクションを作るのが難しい。

それから、「アトムタイムス」という、虫プロ商事が出していた雑誌の中の手塚のコラムで、横浜シネマ商会（マルチプレーンを持っていた）でアニメを作っていた村田安司が『幽霊船』を作っていた、という話になっているが、これはどうも大藤信郎の『幽霊船』の間違いではないか。

もし誤りだったら、大藤信郎賞をもらったのに、あまりにも、酷い。

『覚醒』のクレーベのイラストはテリマンみたいだから、テリマンの人が声をあてていると思ったら違った。クレーは十字架天使がしゃべっていると思っていた。ビックリマンの。それから「していない」というと、同性愛者と思われるので「しましたよ。製品チェックしましたよ。これで満足か？」と、悪の居直り。これで経費計上できる。

う～ん。

20年近く前に、『エヴァンゲリオン』が流行った頃、庵野監督にインタビューしにいった竹熊健太郎と大泉実成さんの記事が、クイックジャパンという今でもある雑誌に載って、少し前までは新古書店に『スキゾ』『パラゾ』と書籍化された物が売っていた。

その中で、大泉さんは奥さんが育児をしていると語っている。育児に忙しいお母さんがハマったアニメとして『エヴァンゲリオン』が出てきて、もちろん最終回で憤ったと。

大泉さんの体当たり取材は、エホバの証人にもぐりこみ、オウム真理教にも末端信者として入り込み公安にパクられそうだと言われ、「消えたマンガ家」の取材をして、「『萌え』っていったい何なんだ？」とまたもぐりこんで「萌えていいね」とミイラ取りがミイラになる。

個人的には、こうしたノンフィクション関係で、いい仕事をしていると思う。

そんなライターの子息である人物にお父さんのお仕事をどう思っていたのか、率直に聞く機会はない。

雑誌「映画秘宝」をもう読んだ方は知っているように、「消えたマンガ家」の連載で水木しげるを「亡くなった」ということで、大泉さんは、広義に「消えた」マンガ家として取り上げている。

なのだが、そこで、息子さんが亡くなったことを報告している。「亡くなった」という事で、消えてしまったのだ。

愕然とした。

そうか。

あのとき奥さんが育児をしていた子供が、大きくなって大学生となり、亡くなって父の夢枕に立っていたのだ。

水木しげるの事を引き合いに出しているが、消えた息子のことを書いている。

牛乳を頭から被って喜んでいた無邪気な幼児が、いつのまにか知恵を得て大学生になっていた。そして生前の遺恨を父にどうしても伝えたくて……ということの記事を読めば、うかがえる。

心霊現象は近代医学では神経症が見せるものとされる。大泉さんにも悪いと思いながら、夢占いをする気はないが、息子さんが友人達に父である自分の事を伝えたくても、伝えるのが憚られていたんじゃないかという負い目ではないか。簡単に言うと、「自分は立派な仕事をしているだろうか？」という自問がどこかにあって、息子の夢の内容になってはいないか。

それはもう、本当のところはわからない。

こうした死者への心残りが、妖怪などを生み出しているという一般論に回収するしか、ない。

「『魂斗羅』みてえな『caphands』の話題をしなくて、いいのだろうか？」

今は「ぼくらの経世済民」のために、『消費は誘惑する』（「蓄財者と消費者」の答えが書いてあった）とかの経済の本を読んでいるけど、『資本論』は現代経済学では古いね。数学や統計を持ち込んだら、経済学は劇的に変わって、戦前の経済学が葬り去られた。ノーベル経済学賞を受賞したハイエクはマルクス主義の主張、階級や搾取はフィクションに過ぎないと、していた。なので、古いと思っていた。

ところが『21世紀の資本論』で、ピケティが政府の集めた経済データを精査してみると、マルクスの言っている通り「資本はどんどん増大していく」「そのため有産者と無産者の富はかけ離れていく」は、正しいという考察を出した。

難しい。

逆であったのかもしれない。

統計や数学の知識を得ていたから、ファンタジー（悪い意味）だといわれる『資本論』の未来予測が正しかったのだろうか。（数理経済学は第二次世界大戦が終わってから確立）

1937年に谷崎文読が出るか、出ないかぐらいのときに、『君たちはどう生きるべきか』が出版されたはずだけど、現代になり高橋源一郎が解説で「これは『資本論』だ」と『文庫解説ワンダーランド』に書いてあった事を、そのまま書き写すのは、難だけど、そういうことが書かれている。

当時、そのまま共産主義思想や社会主義思想を表現してしまうと、特高に思想犯として捕まる時代、子供達に『資本論』を啓蒙するためであった。革命を起こされると、国体・皇家が危ないから、検閲していたけど、その検閲を抜けるため、ああした手段を使った。

ああした手段は、叔父さんが甥であるコペルくんが家庭まで届く商品について考えてみよう、という叔父と甥の交流、戦後構造人類学が輸入された後に構造主義の方法論として現在では認知されている。

この方法で、オウム事件で中沢新一が、朝日新聞が吉田証言の虚偽を認めた際に高橋源一郎が似たことをしている。左系の常套である。

旧・社会主義圏の管理社会の恐ろしさを人形アニメ「電子頭脳おばあちゃん」は寓意で表したように、商品はいろいろな人の手が加わって、最終消費者まで届く。

昔は小説家やマンガ家を先生と呼んでいたけど、昔の出版構造の経済では、正しかった。

編集者のオファーで小説家が原稿を書き、活字拾いが活字を拾って箱におさめ、刷ったゲラを校閲校正をする人がいて、正したものを印刷会社に送って印刷してもらい、製本会社が製本して（この段階で装丁家がデザインしていたと思われる）、全国に送る取次（出版業では流通のことを取次という）が小売店に本を届けていた。マンガ家も同じ。

たくさんの労働者がいて、人気作家一人が彼らに多くの仕事を分配していたのだから、左寄りの経済学では先生と呼ばれて、当たり前だろう。労働者全員を潤わせれば、それは先生様だ。しかし、それは利益と仕事をあげられていたらの話である。

労働者に支払われる、給与がいろいろな貨幣交換を経て、商品の経費以上の剰余価値が手数料

のように徐々に抜かれていって、それが資本家に集中して、という『資本論』のあらずじ通りなら、最後の資本家（「ルナイズマイン」では美少女にしてコミュニストたちをコミュらせる）が現れて、収奪が起こるまで続く。

西原理恵子が人類の最大の発明と言った利子がある以上、剰余価値を100パーセント労働者（生産者）に還元できないように、デフレ化では消費者に剰余価値が還元される。気づいていないだけで、値段に反映されている。資本家の人がいるなら、「もっと儲かるはずなんだけどなあ。思ったほど儲からない」と思っているはず。

もう、そういうデフレスパイラルの状況下（中央銀行がインフレファイターからデフレファイターになっている）の不況では、たくさんの労働者の手がかかっているのを、コストダウンとか経営効率化の名の下、サプライチェーンの鎖を切って、中抜きしはじめた。というか、中抜きしないと、ビジネスのサバイバルに勝てなくなった。

文読でも書いた技術革新（3A宣言）で活字拾いは人員整理され、一部は製版部に召抱えられたと思う（ブルーカラーからグレーカラーになる）が、印刷で製版作りしているところは、「とっくの昔に活字離れしている」と自嘲して言う。

校閲校正作業は、今は一人ではないのか？ 校閲に二人、校正に三人ぐらいはブルジョアライターしかできなくなっただろう。さすがに編集者やいろいろな人が第一稿第二稿を読んだり見たりするけれど、専門にやっている人は、人数が同じで出版件数の多さで仕事量が増えているはず。

とはいえ、近世時代の版元があって、彫り師が掘って、刷り師が刷って、手に入れる和紙も手漉き職人がいて、作者がいるという近世的出版業が、明治維新後の近代工業化と時代の流れで、廃業していく。

明治錦絵はなんとか食いつなごうとしたものだと思われ、写真が普及して雑誌に載せられるようになると、肖像絵画が廃れていくように、版木を彫ってという近世で隆盛を誇った技術が廃れていく。

たぶん、関東大震災で、歴史ある老舗版元は潰れた。江戸時代から持っていた版木を消失させて、西洋活版に駆逐された。木は燃えたら残らないが、鉛は残る。また活字に打ちなおせる。

それで看板建築が出てくる歴史は、建築史なので藤森さんの本を読めばいい。ひとつ言える事は、普請道楽するお金持ちでなくても、西洋建築法を商店でもためすことができる。適正な予算規模と技法の確立、これは近代機械印刷でも、同じ事がいえるだろう。

浮世絵の話に戻るとハイエクの言う、かけた労働力で商品の値段が確定するわけではない、というのは、輸出された浮世絵がヨーロッパで高い価値を持ち保存されたのに対し、日本では昔からあったものを障子に穴が空いたら、穴を塞ぐのに使って、残らなかつたりする。そもそも浮世絵は輸出品の陶磁器・漆器の緩衝材としてくるまれていたという。

これは一部の商品にあてはまるだけだから、赤穂藩の藩札みたいに現在の古銭市場価格では、高くなってしまふようなレアケースで、それで全てマルクス主義を否定するのは、問題がある気がする。

こういうことをコペルくんに教えているのが、叔父さんで、まあマルクスおじさんである。オ

ルガナイゼーションとして、誘導に引っかかり、そちら方面に傾いていくようなら、コペルくんのお父さんが軍国・報国おじさんなら怒り出す。

東西冷戦の崩壊で、国家的実験が終わったはずだった。『21世紀の資本論』でどうもマルクスおじさんが年甲斐も無く、色めきたつ。作者のピケティ自身は共産主義や社会主義に希望をもっていないだろうが、「運動」に燃えていた人たちはいろいろしたがるようだ。

そんなマルクスおじさんが息を吹き返したのか、宮崎駿はこの『君たちはどう生きるべきか』をアニメ映画にするという、マルクスおじいさんである。

今の社会で、完全に反対できないのが、難しい。わかりやすく一文にすると「グローバリズム渦」に巻き込まれている。どの国も中所得のワナというか、巨大な落とし穴の重力にはまっついて、ベアが上がらない、消費が伸びてない、経済が回ってないという何重苦もあり、株価だけを見て判断することはできない。2017年秋季の株価上昇を見たら、普通は金利を上げる金融引き締めをするが、それをしないということは高景気じゃないと日銀が思っている。左系の経済知識人じゃなくても、みんな思っている。

話は逸れたが、マルクスおじさん宮崎駿の死後、誰も将軍エンゲルスになる気は無い。もしも、ゲームを選ばず、アニメを選んでいたら、私がエンゲルスになっていた。（実際にエンゲルスをやらないからこんなテキトーなことを書ける）

私は「エネルギーの生産が一定で拡大していかないなら、消極的にエネルギー共産主義」である。化石燃料を使い果たしたら、エネルギーの共有財産化しないとイケない。今まで垂れ流していた固形窒素も、垂れ流せなくなる。

エネルギーのベーシックインカム、エネルギー社会主義というか、こうしたエネルギー問題を「商品」に置き換えると、それはもう『空飛ぶゆうれい船』で、すでに高畑勲がやっている。『君たちはどう生きるべきか』をアニメ化する意味があるとは思えない。

やはり、古代ローマ帝国を例にしなくても、市民権を持つ人だけがエネルギーの安定供給に預かれる、階級闘争史観が出てくるけど、それは金一族のようなことになりかねない。

この話をしていたら、まとめりそうにないし、読み返したら、漢字変換入力ミスもあるから、なにかまとまる話はないかなあ。（長くなってももういいのです。そうしたら「ぼくらの経世済民」に収録するから）

萩尾望都さんと竹宮恵子さんらは、ベアがある種目的で「革命」をなしとげようとした。

はっきり書けば、稿料を搾取されていた。

少女マンガ家なんて、一時期の腰掛にすぎないと、男性編集者に思われていたのだろうか。

先生と持ち上げられていただけなのだろうか？

今年はWBCもあり、野球年であったはず。

一番の注目株は、もちろん小林くんで、株価を乱高下させる。春先のWBCの頃は、地上波で活躍が放送されて株価急上昇で、レギュラーシーズンに入ると「WBCで活躍した選手は不振にみまわれるジンクス」通り、四月中は阿部くんのホームランの数しかヒットを打てず、広島に菅野くんが移籍すれば20勝ぐらいできるぐらい打てなかったのに十連敗中は「リードが悪い」と戦犯扱いされていた。

それがたたって、クライマックスシリーズにも勝ちあがれなかった。

CS契約してひいきチームを観ているわけじゃないので、どうしても巨人の中継を見ちゃう（まじめに中継開始から試合終了まで見ない）が、ヨウダイカン（表記できない）が怪我から復帰して一番になったら、うまく打撃が回るようになって、それでも首位打者争いの坂本くんが不振に陥り、病院でいろいろする人（山口）が謹慎になって、まあそれはともかく、開幕優勝予想では酷い事を言っていた順位予想は、最終結果ははっきり予想を外している。

だが、優勝チームはなぜか36分の一の確率でヒット。しかし、あんなに勝っていた東北楽天イーグルスが、オールスター明けはずるずる負けて、いつのまにか赤い西武に抜かれる。東北の復興は大丈夫なのか、危ぶまれる。（みそ先生のマンガだと「復旧はできても、復興はできない」と言われている）

日本シリーズの横浜ベイスターズ対ソフトバンクホークスは、戦力の差がそのまま出たのか、試合展開は逆転があって面白かったけど、結果は孫正義が喜ぶことになる。森福を放出して、ちゃんと勝った。

四コママンガでは高橋源一郎の『優雅で感傷的な日本野球』みたいに「1985年にタイガースが優勝していない」と同じで広島東洋カープとソフトバンクの日本シリーズということになっている。自分のキャラクター（この場合女性キャラクター）も始球式をしている。

ギャグじゃなくて、現代文学だから。

ラミレス監督は名将。解説の中畑なんて「ここでヨシノブくん、ヒット&ランさせますよ」と言うと、本当にヒット&ランする。予想的中で、なんで監督中、あんなに勝てなかったのというと、やっぱり自前の戦力が足りない。

それなりの予算がついてないと、ダメだ。大川博的な人がいないと。蜷川さんも東宝で芝居をかけないと、予算が足りなくて思ったようなことをできなかつたろう。

プロ野球は今年、総観客動員数は増えたらしいけど、マイナースポーツ化は著しい。他のプロスポーツからはうらやましがられているけど。

『めJAア式』なんて、部員が足りず女の子6人で中学野球の公式戦に出る。それなら複数の中学校の野球部が混成チームを作る…もしかしたら高校野球編だと、そうになってしまう、ネタつぶしになる。検索されないようにタイトル表記を変えよう。

「週刊少年サンデー」らしい、いい展開だ。

人形アニメレビューとして、そろそろ「持永只仁はプータイシーを観たか？」をやりたいけど、「ねほりんぱほりん」の話題である。弟子筋の岡本忠成には「花ともぐら」という短編があって、これが異常進化するとYOUが声をあてるもぐらになるのか？ 操演系は別の系統なはず。

この間の放送を寝過ぎて見逃した「ネトゲ廃人」の回を、アラームセットしてわざわざ起きだして再放送で観て「NHKは『ドラゴンクエストX』を悪く言うのかしら」と心配しながらみていた。わくわく。

石澤典夫のムダ使いで語られる、用語解説もオンラインゲームを貶めるような説明の仕方ではないので、安心した。加賀見さん（タモリにお母さんと言われていた）が出ていたら、もっと安心。ここは宗像大社のような女子禁制の神聖な場だから書けるけど、“安産型の言葉遣い”である。（読む前に海岸にあるところで沐浴しなくちゃならない）

アナウンサーハラメントになる。

穴ハラ。

ともかく、出演した豚・タイチ（仮名）さんの話を聞いていると、森永卓郎の言うとおりの「年収一千万以上の世帯でないと東大に入れない」というミもフタもない事実の裏付けがあった。

中学で五教科のテストで満点だけど、そのまま進学していたらねほりんに出ていない。本人の弁では進学塾に通って模試をしていたら、全国一位を目指して猛勉強していたかもしれないが、家が裕福というわけではないので、そちらのエリートコースには行けなかったのである。高い学力を持つのだから、進学受験をしたら確実に高いキャリアを持てる。番組中の「16時間の壁」、つまり受験勉強を毎日20時間近くできる（注・これができないと有名六大学には入学できない）、ということで佐藤優みたいに睡眠時間少量で働く人になっていた、かもしれない。

たまたま高校時代にオンラインゲームをして、ランキング下位から、粘ってプレイをしたら一位になれたので、そこから「トップから降りられなくなる」という、これが本当のランキング依存である。

今までは、競走にさらされても、すぐに一番になれたが、それなりに努力しないと一番になれないというのは、彼にとってレアな体験で、そこから「沼」にはまるようにオンラインゲームにはまりこんで、豚の人形というわけである。

ネトゲ廃人というよりも、プロネットゲーマー、プロオンラインゲーマーだった。単純化すればアフィリエイトの一種である。（本物はさすがに出せなかったんじゃないか？ 金利生活者が湯水の如く時間を消費するのも視聴者に反感もたれるから…）

まとめサイトとかじゃなくて、自分がやりこんだ動画をYouTubeで動画配信して広告収入を得ていたなら、立派なYouTuberである。他にもビデオサイトがあるので、YouTubeであるかは、確定できない。（これは覚え間違い。ちゃんとYouTubeに上げていると元日の再放送で確認した）

韓国ではトッププレイヤーがプロゲーマーになると、憧れられるが、このゲーマーだとトイレに行くのに、レースゲームのようなインを攻めることをしてタイムを縮めるので、憧れられない

。

そんなことまでして、ランキングを落としたくないのか。

イベント期間中は、どうしてもそうしないと、いけないらしい。

ネットゲームのイベントは、二週間だという。そこで稼がないと、ランキングトップ陥落がありえるので、二十時間起きてやりまくるらしい。こういう新規イベント投入は、ゲーム開始時のような「手さぐり」をさせてオンラインゲーマーを飽きさせない仕掛けである。

タイチさんは一週間ぐらいリサーチして、というかこれがバカ勝ちできる手段だと気づいたら、後のイベント期間中はそれをやりまくって得点を稼ぐだろう。余裕があるなら、ゲームをやりながらこうした攻略記事を書くという。メイク中のしょこたんがブログ更新しながら、DSでポケモンをやるようなものだろうか。

そんな環境は幸せなのか、苛酷なのか、打鍵力が異常でないと、難しい。オンラインゲームをやっていると、自然と打鍵速度が速くなるのか？

とはいえ雑誌は事前にイベント内容や、攻略にオススメはなんとか書けるだろう。雑誌は基本、発売日三週間前が締め切り。それで裏メが五日か、六日前であり、ここで速報性のある記事は挿入される。ゲーム雑誌の攻略班が本格的なりサーチしていたら、メ切りが過ぎてしまう。

でも、運営サイドには「ここまでは書いてくれるな」という、いわゆる「メーカーチェック」が入ってしまう。だが「ここは書かないでくれ」という記事を、読者は求めている。前述の通り、バカ勝ちできる手段とか。

後は実践者の意見や感想は、かなり信憑性が高い。

生の情報を求める層もいる。

例もちゃんとある。詳しくは『超クソゲー』シリーズの多根さんの記事を読まれたし。

雑誌が売れなくなるというか、「あの攻略記事は正しかったのか」という確認作業になってしまう。

ファミ通で読者からのやりこみ投稿を集めた特集記事が無くなったのも、直接『大人のしくみ』に書かれているわけじゃないが、インターネットの存在に触れていて、今ならやりこみ動画を観ればいいという、環境になっている。

その環境に対応したから、タイチさんはネトゲ廃人となるまで、ゲームをする…そんなことより、操演系の最終進化形態の人形アニメが「ねほりんぱほりん」でいいのか？

う～ん。読者モデルのインスタグラムを見て、着る服を真似する人が現れたら、ファッション誌は値段チェックぐらいしか、読まれなくなる。

そうする、やっぱり雑誌が売れなくなる。

そんな結論を書きたかったわけじゃないんだけどな。瀬尾光世の弟子が持永只仁で日本アニメの血を引くストップモーション系統じゃないけど、操演系はこうして細々と生き残っているのは、それはそれでいいんじゃないか？ 別に布袋劇・プータイシーみたいに、ならなくても…（今、一瞬プー“タイチ”と、思った）

その後、正月に読んだ小説版『アヴァロン』だと、タイチさんみたいな生活をしている人物の一人称であった。それからタイチ氏はオムツァーやボトラーではない。

すごく不満だ。

角界で起きた事件で、これだけ報道加熱するのも、現役横綱が酒の席とはいえ暴力を振るい、怪我を負わせて休場させたのだから、責任の軽重はもちろん重い!!

なのだが、日馬富士は悪くないという、言説は当然出てくる。体罰・暴力肯定派については、今日は止しておく。ともかく、相撲協会側は、貴乃花や貴ノ岩が悪いというイメージ操作をしている気がしてならない。

協会とずぶずぶな記者たちを使って世論誘導をしかけているとしか、思えない。社団法人（覚え間違い、公益財団法人らしい…公益って）としての制裁を受けるからだ。

どう考えても、あんなに貴乃花が頑なのは、今までの事件を鑑みるに相撲協会に不信があるからだ。

どんな不信かというと、「そんなに幕内の壁は厚いのか？」というぐらい豊山が負ける。この点は「兄になりたかった人」の作者である私は、力士の馴れ合いを支持なんかできない。

私もこうして不信があるから、ローマ・カソリック教会のおかしさと同じ、相撲「教」会という謎の宗教団体を、四コママンガ（主に横本）に描いてきた。全て、プロモーターの意向で勝敗が決まっている。そうでなかったら、肩車してから片翼の天使（ケニー・オメガのフェイバリット）なんて決まり手が、決まるはずない。ロープの反動を利用するように、俵の弾力を利用してオスカッター。

優勝したら達磨に目を入れるように、キリスト像に目を入れる。本当は槍で突かれた傷口に指を入れるけど、それをやると「女性が好きな穴」の起源だろうと、つっこまれる。

八百長に応じなかった力士がいる晩餐で、「この中に裏切り者がいる」と。それで暴行事件。女将さんはシスター姿で水道水を飲んで土俵入り前の口を漱ぐ時の聖水を製造というか、四コママンガではまだ描いてないが、ちゃんこ食う前に神に祈りを捧げる。

手塚に祈る。

松下幸之助に祈る。

洗礼名も世界一性格の悪い幕内力士、百年に一人の同性愛者、キングオブダークネス。

宗教学的には、日本相撲はアジアの民間伝承・フォークロアが習合凝縮されている。どこの国の相撲も、朝鮮相撲（シルム）もモンゴル相撲（ブフ）も民族宗教と伝来してきたアジア文化との習合がある。

少し話は逸れたが、ダーティなところがある相撲協会をみんな忘れていてのでは？ 新人力士たちがやめていくのも、稽古が厳しいからではなく、八百長があるからではないか？ そして暴力がまかりとおっている事を考えると、貴乃花親方の対応は、暴力団対策だ。

もう暴力団の言う事はきけない。きいちゃいけない。

じゃあ暴力団側はどうするかというと周囲から搦め手でやろうとする。大手マスコミにニュースソースを「口ハ」で流して食いつかせているのか、じゃんじゃんメディアに流れるのである。散々「実話系」の極道ジャーナルで書かれたことだろう。

さらに現政権にとって政治的な問題から目をそらす役目もあり、「パンとサーカス」のサーカスの部分がスキャンダルになっている。もしかしたら、文春砲による有名人の不倫報道も、政敵を貶めるためにベッキーが利用された結果なのではないか。

そんな邪推をついついしてしまう。

だいたい、外れるが十個に0.7個ぐらい、近いことが発覚することもある。（この後、どのくらい当たっているのか、百発撃ったら偶然エレクトラ・コンプレックスの脚本家の生い立ちぐらいは当る）

事件が起きて、モンゴル人だから、量刑を低くするというのは、できない。

彼らがモンゴル力士会を作るのも、わからなくはない。スー女マンガでも、私の母と同じように、外国人排斥相撲ファンのネタがある。

忘れっぽくなければ、島田紳介の例でもわかるとおり、暴力団の存在をチラつかせて、急に日馬富士のようにマネージャーへ暴力を振るって怪我を負わせても、刑法犯罪に問われないようにしていた。（松ちゃんは日馬富士を支持、ではなく紳介支持である）

で、記者会見で涙ぐめば、

「世の中、チョロイでえ」

と、日本の擬人化した姿と重なる。海外からはこう見えている。

それで山口組の人に「一千万も払えって、ボリすぎですわ」と、メールで愚痴っていたらしい。

示談を成立させて前科者にならないためなら、これぐらいの慰謝と賠償を金銭として払うのは、近代社会だと、やらざるをえないし、それをやりたくないのなら、憲法を改正して華族か貴族を復活させないといけない。

憲法といえば、法の下での平等を妨害しているなら、かえって『ヤクザと憲法』の憲法の部分で、一応構成員にも人権があって「幼稚園に子供を通わせたい」という意見を言う気持ちはわからないでもないが、声高く主張はできない。

ずっと法の下での平等を妨害してきたのに、犯罪で量刑を上乗せするのは、法の下での平等じゃないと言われてしまうと、それは違うんじゃないかと、最近考えるようになった。

こうして、暴力で威圧して刑事告訴を取り下げようようなことを水面下でやっているようなら、貴乃花親方支持になるのは、当然なのである。暴対法で指定暴力団の構成員だと、囑託殺人などの量刑が重くなるようにしたのは、やはり「仕方なかった」ことだと思う。

貴ノ岩をガードするのも、無防備に外に出たら、どんなゴトを仕掛けられるか、わからないからだ。どこで暴力を許すという言質を強要されるか、誘導尋問があるか、わからない。巧妙に示談にさせようとする。お金もいらないと、騙そうとする。

それにしても、どんどん情報が追加されて、追いつけないよ！

（後日、冬巡業の診断書を出してないから、貴乃花がまた悪いまた悪いと、毎日こころこ報道が出て、日記が書き終わらない。だいぶ、修正した。

そして、週文の能村みね子の連載記事を読むと、新興宗教に傾いているらしく、それじゃ整体師に「洗脳された」「マインドコントロールを受けている」頃と同じじゃないか!! さらに元NH

Kの職員であった地方議員さんが紅白の内幕をバラして、ついでに相撲協会と暴力団の関わりも話して、「公共伏魔伝」は正しかったのか？（と思ってしまう）

いろいろe-sportsには考えさせられる。

なんにも懸念なんてないじゃないか、ゲームする人がスポーツマンみたいに、社会的に受け入れやすくなるじゃないかと、楽天主義者には受け入れられない話だろうが

FIFA公認のサッカーゲームで、国別対抗戦をしていたら国家主義、国民皆兵を理解していると、プロゲーマーが戦争に利用されるということも、考えなくてはいけない。

「いいスポーツマンを作れるということは、いい兵士を作れるという事で、とくに野心を持つ政治家の野望に無批判でいるのが好ましい」

現実、ナショナリズムを煽らなければ、観客動員はかせげない。とくに日本国内では家庭用がちょっと回復したけど、基本的にゲームソフトが売れなくなったから、ナショナリズムを煽りだしていると思われる。これでは文読の宣伝だ。

普通のスポーツでも国際戦でなければ、サッカーのテレビ中継も観てもらえない。WCで活躍した選手が国内リーグで出るような、海外の有名トップリーグみたいには、できなかったのがJリーグで、だからFIFAは興行主みたいなことになっている。

e-sportsで活躍するトップの人は、定収や優勝賞金で暮らしていける。こうしたトップグループは心配がいらぬ。しかし、プロゲーマーの下層で、暮らしていけない、暮らしがたたない人はどうするか。

「いいアルバイトがある」

と、軍隊から誘いが、もうあるかもしれない。軍隊そのものじゃなくて、民間軍事会社でドローンのオペレーターとして、スカウトされるかもしれない。マルチコプターのことじゃなくて、軍事使用される無人航空機のオペレーターである。（3DSが発売された2011年頃の「ゲームラボ」の記事ではまだ“ヘリ（無人航空機）”と書かれ、この数年でドローンはかなり普及した言葉であるのが窺える）

BSのドキュメント「サムライゲーマーズ」では、韓国でプロゲーマー養成学校（なんだそれは？）に通っていた人物は、なかなかスカウトの声がかからず、日本側からしか声がかからなかったのが、国籍は違うが「日本代表」になったという。

英国は旧植民地が多いから、ラグビーにおける代表選手になれる規制が緩い（旧宗主国が勝てる仕組みにしてないか？）みたいな、フランスにおけるレジョン、イタリア統一戦争時にサルディーニャ王国に雇われたスイス傭兵、そんな事を脳裏によぎった。

そして、これもBSのドキュメント「全ての政府は嘘をつく」でジャーナリストの調査が正しければ、オバマは、オペレーターに遠隔操作させたドローンで中東のテロリストを暗殺しているらしい。そういう命令を下しているという。

予防戦争の論理じゃなくて、予防テロの論理でそうしているのか、これがたぶん自家製栽培テロを結果的に生み出している。

『虐殺器官』そのまま、あるいは『ゴーマニズム宣言 新戦争論』の冒頭のフィクション、『PSYCHO-PASS』の携帯端末によるゲームアプリが軍用ロボットの操作になっているのは、

半分現実であったのだ。

できれば、国家主義的なものはオープンにしてほしい。

ルドロギーは帝国主義と同義である。

というのは、かつて書いたし、もしかしたら大学でルドロギーを教えない国は軍事力も相対的に弱くなる傾向が、見られるかもしれない。

そもそも、ミリタリーをパイディアダウンしたのがスポーツだ。

だから、ウォー（戦争）・ゲーム・あそびと、ルドゥスやパイディアが並ぶ。これはカイヨワの本を読めば、結論がどうも先にあって、徐々に理路をカイヨワが築いていったと、考えられる。

山の頂は見えていたが、経路を踏破可能にしていったのか、その成果が『戦争論』であるのか。それともフランス中心主義を保証するための理論武装から、軍事武装に展開するための、それに利用された「思想の軍事利用」に使われたのが『ホモ・ルーデンス』、ルーデンスさんは同性愛者である。

当然ゲームをやれば、やるほど帝国主義にからめとられる。近代帝国主義を強化するために近代ゲームがある。ローマか漢の古代ゲームも同じ。古代の帝国主義を刷り込むためのものだ。

戦場で古参兵（ベテラン・兵役経験者とも）たちが殺害数を競うようになる。スコアも「ヘッドショットは3点」のような、ことを言い出しているはず。日常生活でも「GG、BBは高得点」と歌詞は書けないが、殺戮マシーンのことをノーテンキに歌いだす。

本当はゲームのように人を殺すではなく、戦場の兵士達のように進んで人を殺す。「ワンショット・ワンキル」のような殺戮行為を無感情にできる訓練をしないと、シェルショックに耐えられない。

それなら、シェルショックに耐えられるようになると、カイヨワの言う戦争の眩暈になるのだろう。

私は自衛隊に「尖閣諸島が仮想敵に侵攻を受けた場合、防衛のためのビデオゲームをFPSかTPSで作ってくれないか？」といわれたら、作る人間だから、喜んで。そうでなかったら、ゲームソフト開発で、飯が食えない。

海外の国々のために、そんなことはなくてよかったのではないかと、冗談にする。

ファースト・パーソン・シューター系は、映画『アヴァロン』の「アヴァロン」を目指していたかのような、進歩を遂げている。おそらく、オンラインゲームを題材にした作品は『アヴァロン』を越えられない。どんなに西尾維新がセールスがよくても、野田秀樹を越えられないようなもの。

休養する 12.24

「来年はペイメントするぞ」という目標を掲げると、だいたい出鼻で挫かれるのが人生。

前に交通事故に遭って怪我をしたわけではないが、急に不慮の事故に遭遇して、更新が永遠に止まることもありえると確か書いた。

人間は無限に生きられるわけじゃない。

そのため、万が一だが、更新が止まるということは、いつでもありえる。

原因不明というか、結果しか出てないので、本当によくわからないのだが、身体の調子が悪く、インフルエンザのようなものでもない。

元若島津みたいになってしまった。

こういうものは、今までの経験則から考えて「これは羽生くんみたいに休養が必要だ」と判断した。

休養しながらできることはやる。だけど、余力があるうちに、休む。

体調が悪いのだから、様子を見て、体調が悪いままなら、四万円近くかかる人間ドックで検査してもらいにいかなくてはいけない。

ちばてつやが『あしたのジョー』を描いているときに、休んだみたいなことになっている。前にも似たようなことを書いた気がするが、正直ここまで休まなかったのが、身体の弱い自分としては、よくやれたと思う。

東村アキ子か雁須磨子のマンガで言うところ、アルフィー中毒のような、アル中ではなく、連続飲酒の方だ。

だから、ただの飲みすぎかもしれないけど。

ブログのようなものだと、こうしてちょっと休む、多めに休むをわざわざ書かなくちゃならない。

「そんなこと、わざわざしなくていいのに」

と、個人的には思う。

もし、私がお笑い芸人だったら、SNSのどれかで「ちょっと休みます」と書くと、理由はどうあれ、文句を言われる。私は「好きなときに、好きなだけ休め！ 『喧嘩稼業』の作者じゃないんだから」と思う。世の中の大半の人にとっては、はっきり言って、どうでもいいことだから。

あんまりこれを語るのは縁起が悪いので、書くのを控えていたが、やはり運営がブクログからトゥ・ディファクトになってしまったように、運営がもたなくなったら、それで終了になってしまう。

それはまだ、わかりやすい理由で、この不測の事態もありえる。

たまにこういうふうなことも起きるから、休養をとるのである。

身体の危険信号を読み取ろう。

冷凍食品に農薬が入っていたという、事件が前にあったじゃない？ それとは関係ないけど、安い品物をネット通販で買って、ある国から何故か送られてきて、その「袋」から、なんらかの物質を浴びてしま・・・何かの中毒症状だったのか。

今年は、『アルスラーン戦記』が完結。

私が小学生の頃にはじまって、30年近く経ってやっと完結。

皆さんが気づいているように、途中リタイヤ組である。その理由は簡潔。

刊行間隔が開きすぎて、キャラクターイメージも、アニメ映画のキャラデザイナー（神村幸子）が書き起こしたのと、天野喜孝のイラストの間である。申し訳ない事に、カップノベルズに移籍刊行後のイラストレーター、有川ひ…荒川弘のマンガに更新されていないのだ。

皆さんも覚えているように、昭和が終わりそうな頃『アルスラーン戦記』がはじまり、気を使ったアメリカがイラクの首都バグダッド≡エクバターナに進行するという、湾岸戦争が起こる。平成のはじまりでもある。

角川文庫の方で一度途切れて、シリーズ続刊を出した頃にまたアフガンに報復、カップノベルズに移籍でイラク戦争が起きて、というのは、年表を見返したわけではないが、だいたい時期は近い。

そもそも、作者はイラン革命の頃にペルシャの歴史を調べなおし、無明時代に焦点をあてた作品を作りたいなど、80年代前半中盤で考えていたと思われる。左寄りの「宗教はアヘンだ」という、有名なことばで、麻薬を抜くみたいに脱宗教したかったのだろうか。

後は吉田兼好がいたとか、いないとかの研究がションK的なことが発覚した。聖徳太子伝説に近いような、情報が見つけにくく広く公開されていない神代の頃と変わらないということか？

この件は、新書『兼好法師』を読んでもらって、なんでこういう説が出てきたのか、大定説くずし！ を、知ってほしい。半世紀前から、言われていたらしいけど、単なる権威主義ということだっただけなのか。

そういえば、「アサヒ芸能」の三橋貴明の連載も終了した。『セカンドレーサー』みたいなことがあったのか？ 大丈夫かあ？（年明けで理由がわかった。ただ植草さんの場合も含めて、反TPPな現政権に批判的な経済学者は捕まるという法則なのか、冤罪ではないなら素直に刑事罰を受けてほしい）

話変わって「CONTINUE」が復刊するらしい。

まず、口に出たのが、「大丈夫かなあ、この出版不況で」という、憂慮である。

こちらを仲間にしなかったのだから、応援はしない。

「GRC」の「いつかのオーリーを・・・」で語るネタだから、とっておいたけど、「CONTINUE」でライターを募集していたから、応募したけど、ライターの仕事はこなかった。それでゲームライターのキャリアをはじめられなかった。

これも、年末だし、来年にまたぎたくないから書くか。「CONTINUE」を定期購読していた書店はもう無い。

繰り返しになるが、仲間にしなかったのだから、応援してもらいたいというのは、スジが違う。時間が経ったし、これも書こう。ライターの件で返信もなかったから、定期購読をやめた。読者というのは、こういう風に離れていく。

サイバーコネクトツーツーの場合、仲間にしなかったし、因縁ができたから敵対的で攻撃的なんだけど、「CONTINUE」の場合は基本的に静観。（そもそも売れないし）

むしろ「大丈夫かあ？」と、思っている。（売れないから）

心配の方が先に出る。

雑誌作りは、「楽しいけど険しい」が21世紀が始まった頃。今は「楽しいけど、すごく険しい」だろう。印刷費用も、円ドルレートは民主党政権前と同じぐらい円安期だけど、上がっているはず。そして、ゲーム雑誌はバタバタ潰れて、さやわかさんが“雑誌文化を失いつつある”と憂いているのに、復刊させて大丈夫か？ 雑誌の売り上げは、たしか今年は去年に比べて、1割落ちているという見込みが出ている時期に、雑誌復刊を掲げても、もう関係は無く、応援しないと決めても、正直どこまで続けられるのか心配になる。

面白い記事は定期的に読める「かも」しれないけど、「オトナアニメ」や「娘タイプ」などの周辺雑誌も休刊休刊で、私も休養をとる。

休んでもネタ潰しをしよう。

それは業界ゴロなのかというと、まあそうである。

懸念をひとつ書くと、超クソゲーオブザイヤーみたいな企画で『ジョジョ奇妙な冒険 オールスターバトル』を年間一位（オールタイムワーストゲームなんだけど）にあげると、『コードギアス』や『エウレカセヴン』の取材ができなくて、特集を組めないみたいなことになっても、おかしくない。そういうディールを仕掛けてくる。

ネットの片隅で、「『CONTINUE』で記事も書けなかったし、テキトーなことでも書くか」とやっている私ですら、サイバーコネクトツーツーを批難をしたら、桜井さんに苦言を呈されるようなコラムを書かれるわけだよ。

マスコミだったら、横槍みたいなものは、直接的すぎるだろう。応援はしないが、ここだけ気をつけてほしい。

同じネタだが、KADOKAWAが赤字のかさんだ取次に「おい、債権放棄してやるから『CONTINUE』を卸すな」と、されるかもしれない。（というかいろいろな雑誌がされたかもしれない）

伊集院光にやつあたりすると、決めているから、メガネでヒゲのあいつを悪くいえない。

若頭のことを悪く言えない。

悪く言わないぞ！

こちらも寛容になってサイバーコネクトツーツーを『超クソゲー』みたいにバカにするんだったら、記事を書いてもいいが、それ以外で接触を図ってきたら、烈火の如く怒る。基本、自分が相手の都合に合わせなかったら、相手も都合に合わせない。

島本和彦じゃないけど、

「甘ったれるな！」

と、湯を入れる。

「漫画読本」というムック本の島本和彦特集が、ライターたちみんな力が入っていて面白い。

「あまり、ほめませんよ、私は」

年をまたいで、「CONTINUE」はライターとしては合わなかっただろう。（またぎたくないと言ったのは前振りだったのか）

私が目指していたのはゲームライターのロールモデルは田尻さんだから、「ゲーム批評」でも手が届かないところに手を回しているものを書きたいタイプで、「客を笑わせる」のは「GAME REVIEW SPECIAL DOMESTIC DEVELOPER」（Pはペニスの意）みたいに「CONTINUE」寄りなものは、たまにしか書かない。そして、たまに書くと文句を言われるというか、苦言を放たれる。

モノクロページで代原か何かで、「エスノグラフィ」を要約したものや『MOTHER3』でナッツ盗まれたエピソードが載るとは、とても思えない。読者と編集とライターの思惑が全員一致するとは思えない。三つの丸が合わさる購買者が、雑誌を支えるほどいなかったから、休刊した。

もし載ったら、CONTINUE読者に「自分が物知りで賢いことを鼻にかけてるのか？ そんなことよりオールスターバトルをこけおろせ！」と、お客様からの大切な御意見（本質は正しい苦情）がくる。

それと、やはり「ライターなんてやめときな」と、更科さんの連載タイトルのもじりと同じく、編集部側から「親心のようなもの」があったのかもしれない。

夏目房之介さんは、宣伝も兼ねて『あの頃マンガは思春期だった』で、いくつかの出版社に営業をかけて、仕事がもらえなかったけど、だんだん週刊誌で連載をもらえたりして、人気が出てくると、昔営業をかけた出版社からも、仕事がくるようになる。

それで鷹揚になって、仕事を引き受けるのだが、私は鷹揚にならない。

なぜなら、夏目さんみたいに、人気が出て成功しているわけじゃないから。これは無いけど、たとえなんらかの成功があっても、はっきり書けば「あのときの屈辱を忘れない」から、あんまりね、鷹揚にならない。

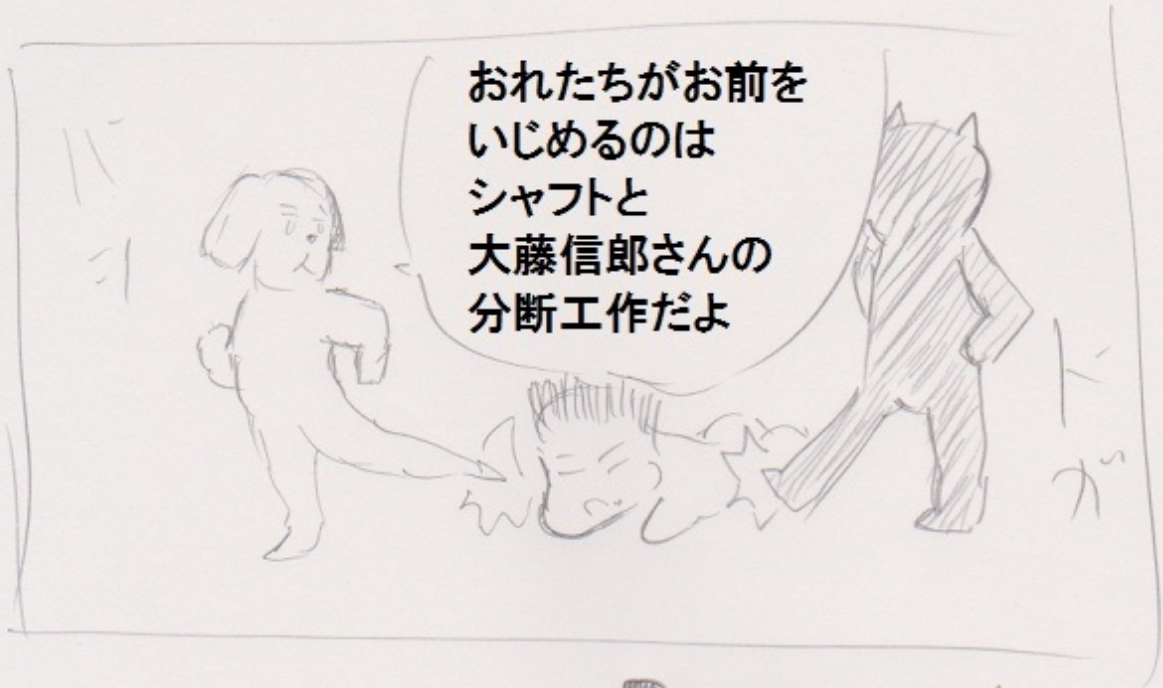
むしろ、成功しちゃったら、裏工作で妨害をするんじゃないか。で、『ゲーム業界のフシギ』のかわかずおのマンガのつっこみ役みたいに、

「超クソゲーシリーズを単発的な刊行だけにとどめないと、アカこいちゃうわよ」

と。

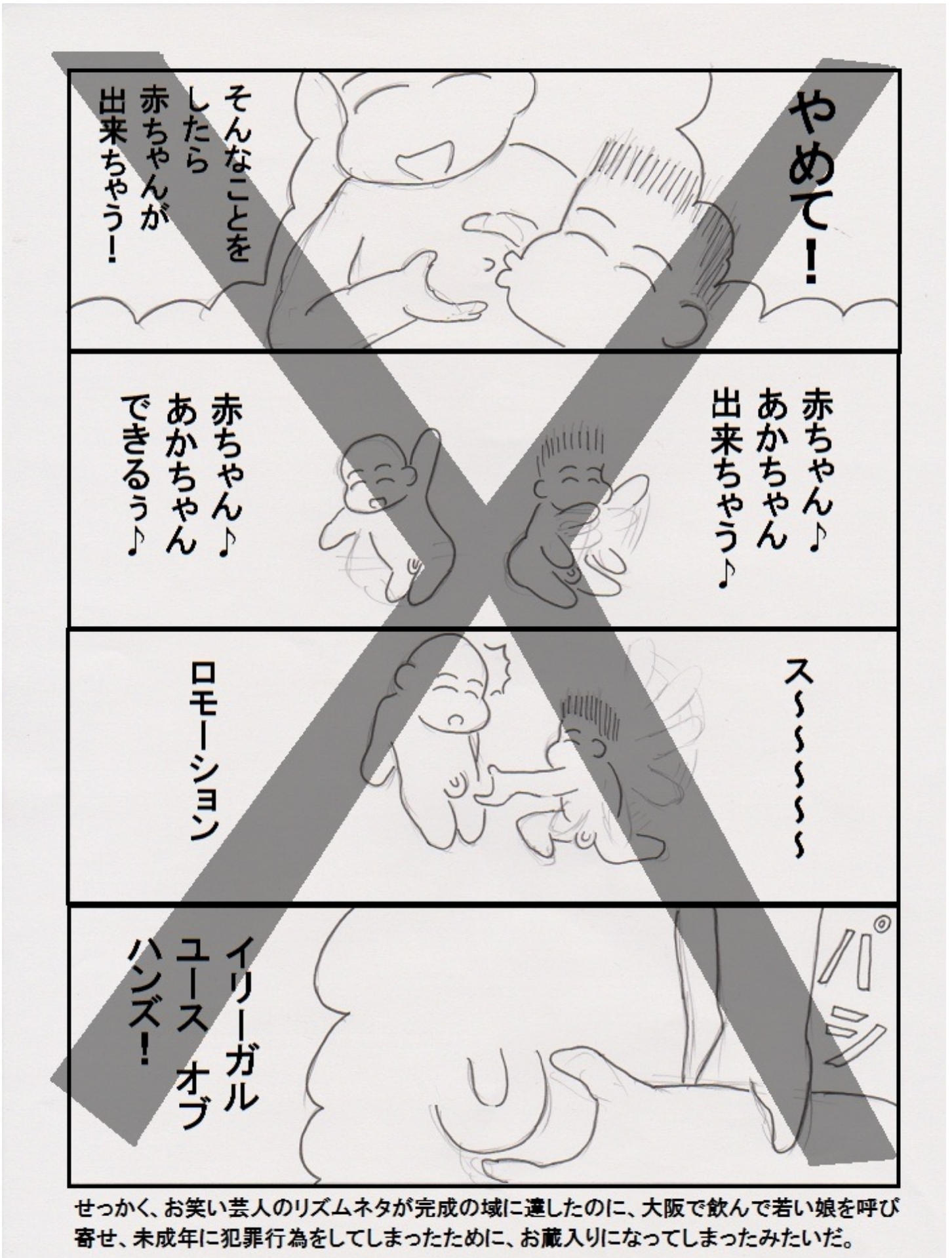
売れたら、増刷が出来る。

だいたい2017年はチキンウィングフェイスロックではじまり、チキンウィングフェイスロックで終わるはずが、具合を悪くして、終えられなかった。



なのはくんは九歳なので無免許運転

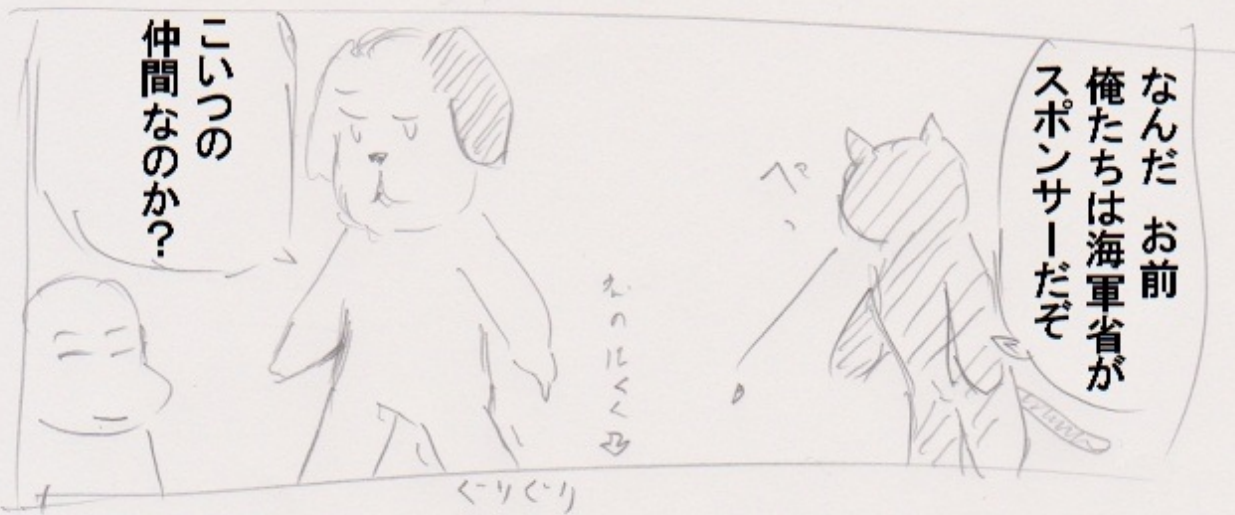
フェイトくんが連行されてしまったので、没になってしまった。



せっかく、お笑い芸人のリズムネタが完成の域に達したのに、大阪で飲んで若い娘を呼び寄せ、未成年に犯罪行為をしてしまったために、お蔵入りになってしまったみたいだ。



めめろ

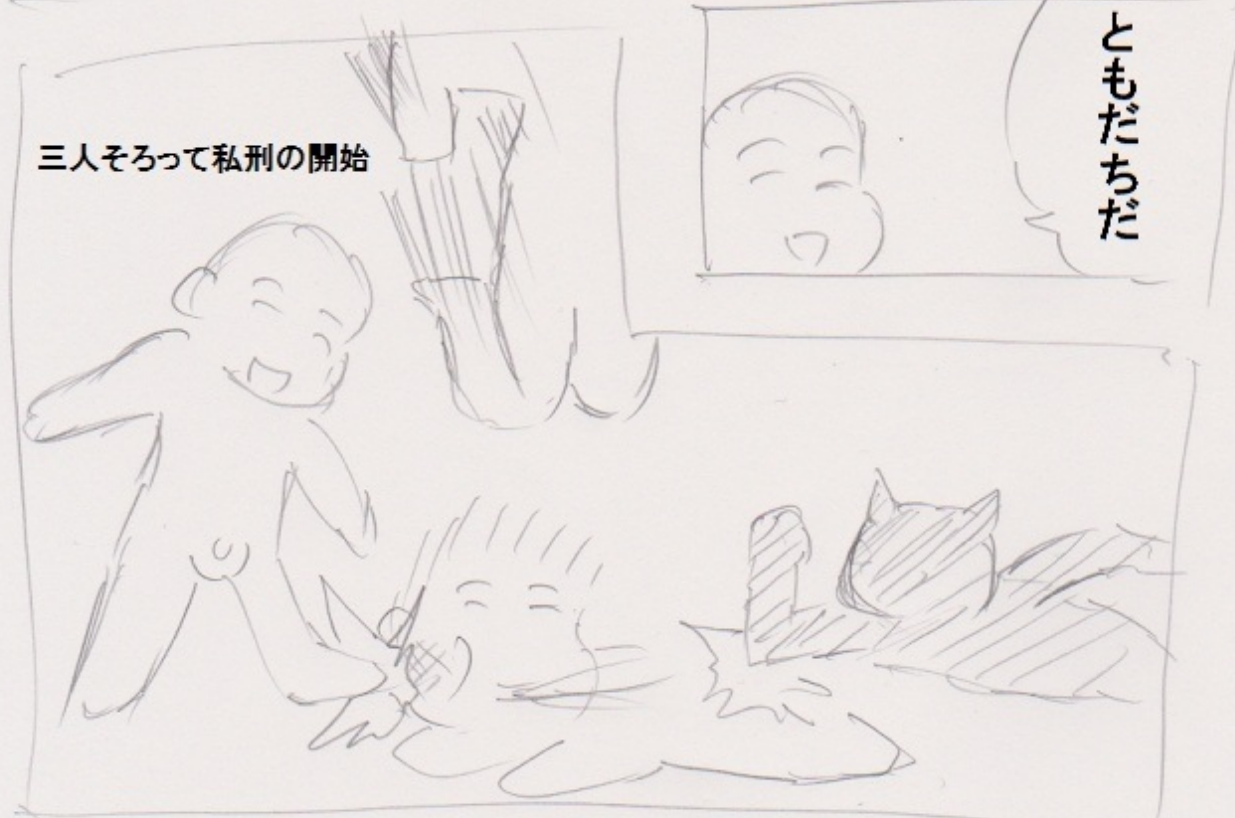


「さうの
仲間なのか？」

なんだ お前
俺たちは海軍省が
スポンサーだぞ

おのれくみ

ぐりぐり



三人そろって私刑の開始

ともだちだ

リリカルなのはリフレクション 観て下さい

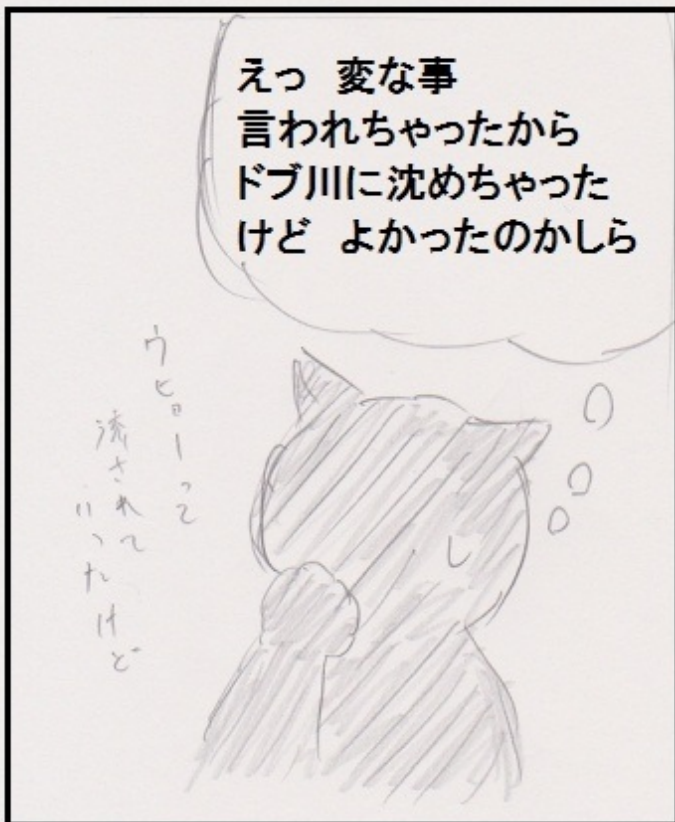
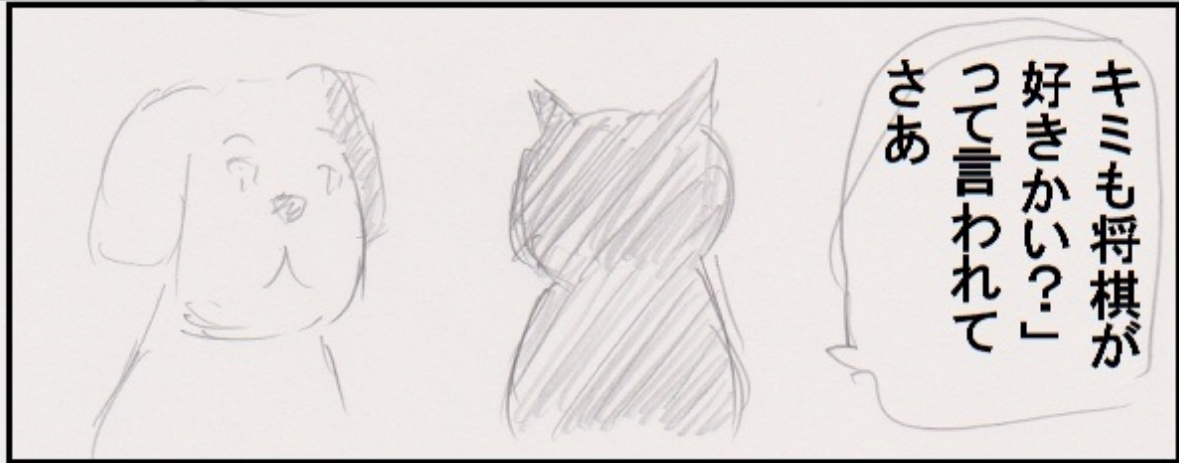
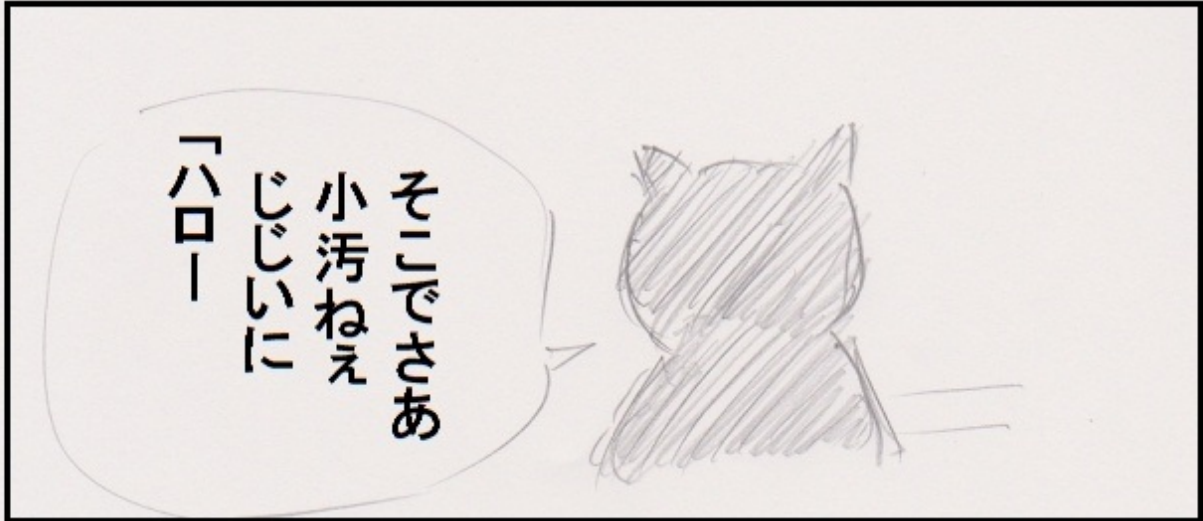
手塚治虫のマンガ
田村大虎 大虎の背後

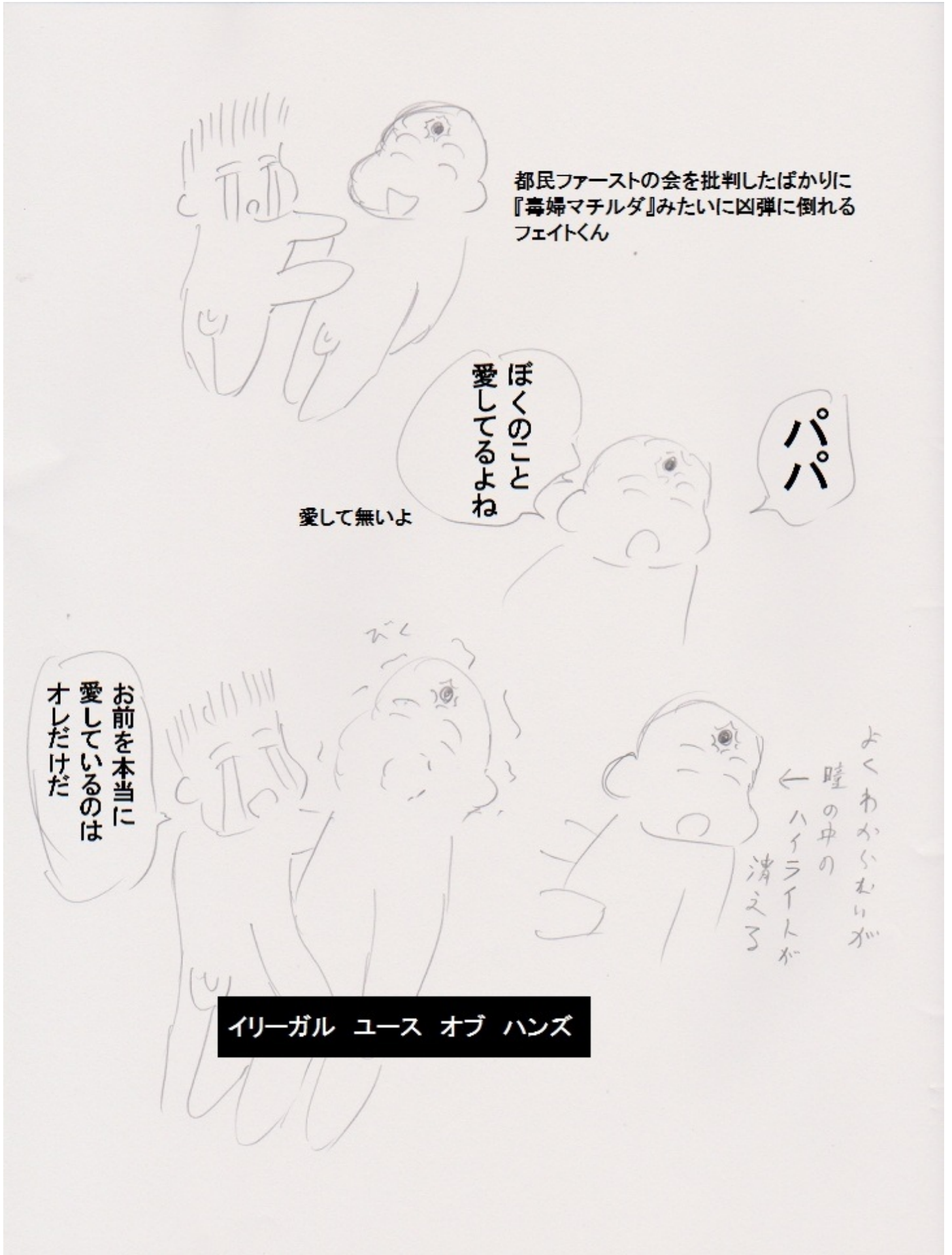
なっ アルマニ
の秘書が服を
脱いでいる！

裸じゃない
これは
毛皮だ

なんで服を脱いでいるのか
ストーリー的な必然性は
考えていない 自然主義

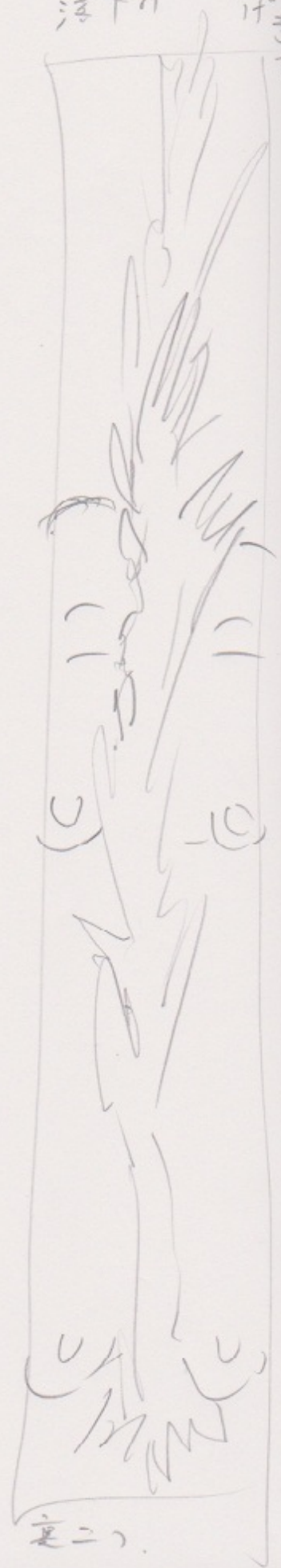
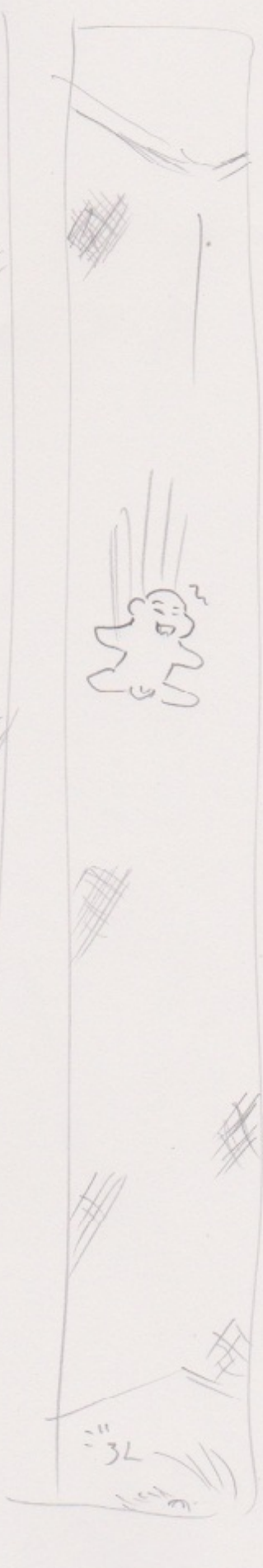
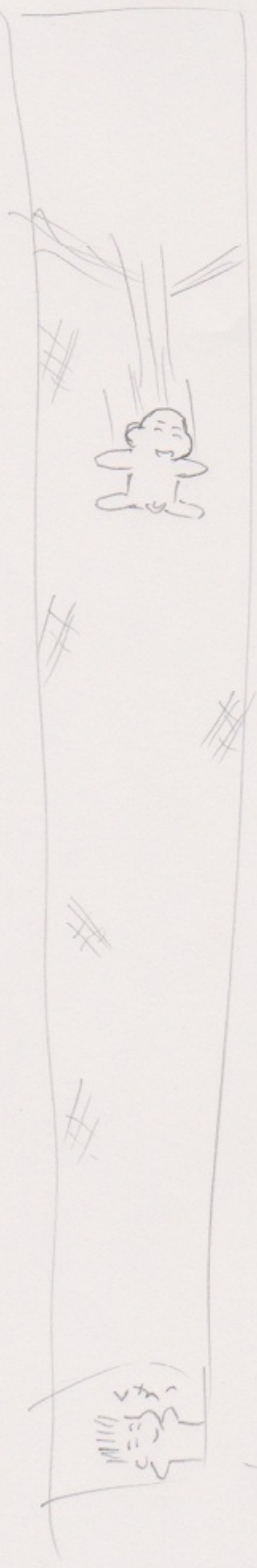
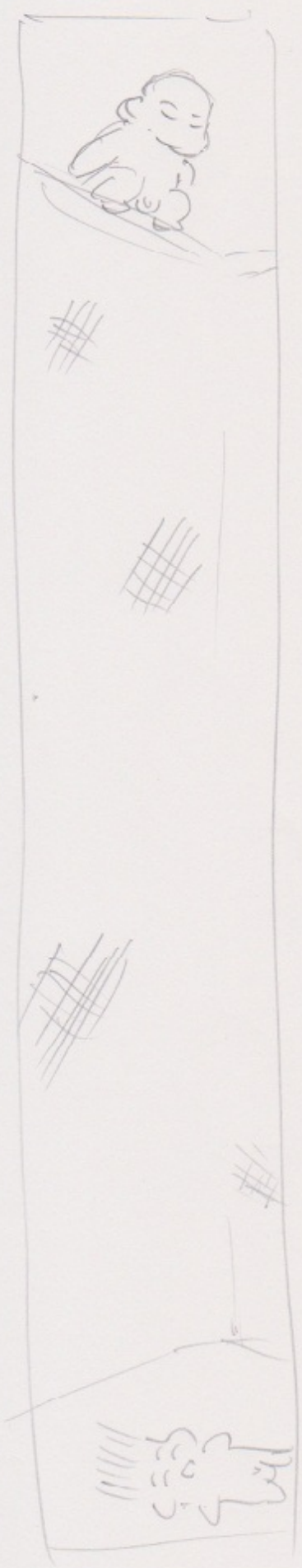
手塚治虫のマンガで人型だけど
人外の女の子が出てきてセク
シーなのは こうして 当時の規
制の網の目をぬうために「これは
獣であって女の子の裸ではないよ
毛皮を着ているからヌードじゃな
い」という建前なんだ



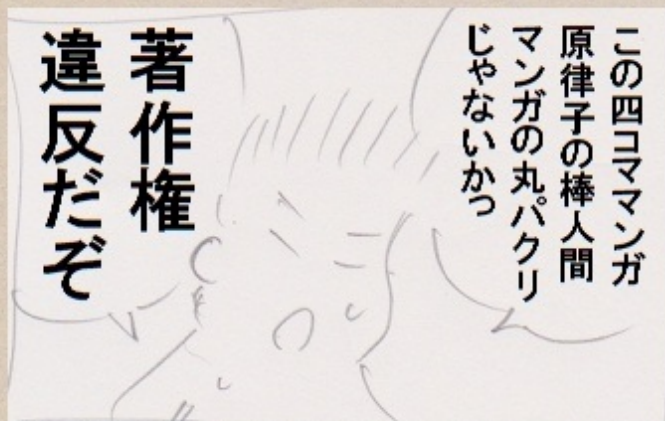


おのこ

よか
げき
て
下の



二の



6 00空青空 税金を滞納直前
とろーり新鮮出川哲朗

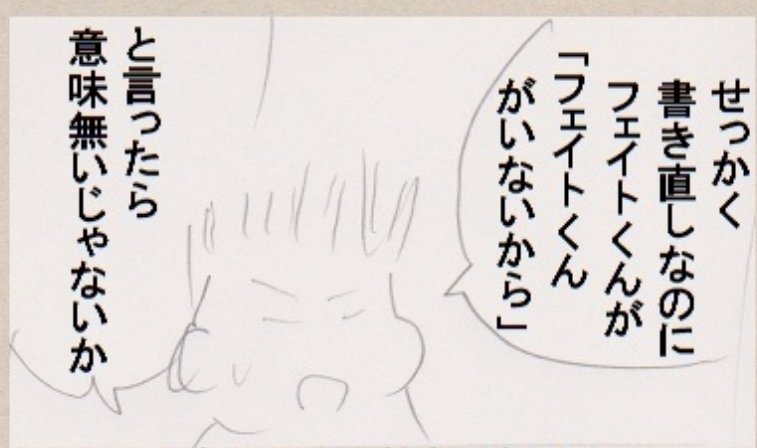
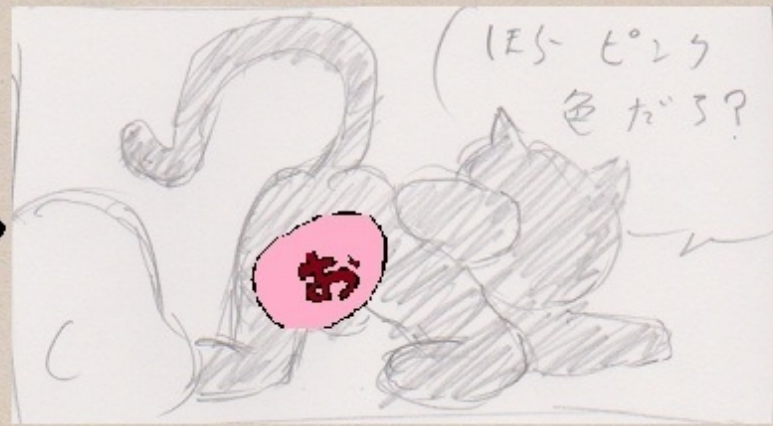
30字 24時間テレビ4 0神
は地球を救う「告白」
集団リンチ12人を殺害
龍雲丸&森友&加計&
7 コカイン疑惑&無免許医
ディーンフジオカ梅沢
▽黙って死ぬるかノノ
地下アイドルランナー誰?
▽はじめての政務活動
費不正受給前科になる…

8 あの市議が感動大冒険
▽イモトと義足竹山が
挑む3180m檜ヶ岳登山
▽ヒロミ生リフォーム
オンボロ原発直そうノ
▽8.50頃さしめし桑田
9 告白ノKKコンビは…
本当はTKだったノ▽
9.00頃醒ドラマ阿久悠
物語「ザ・リフレク
ション 加速する陰謀
闇の能力者続々登場」
10 松居一代 船越英一郎
▽高校野球～富士山頂
有吉軍VS矢作軍
（中断さぼリーマン
【中止のとき】
9.00セクハラモフモフ
9.30同性の厳しい評価
9.55空5分で「雲隠れ
10.00有吉生反省会潜伏
生しゃべくり熱湯風呂
10.55空なぐられうさぎ
の梅沢富美男は誰だ&
ウワサの真相を初告白
▽2.45久保みねヒヤダ
女相撲&ポニテ禁止!?
▽4.00オベンジャーズ
徳光福留福沢羽鳥&梶
障害者殺傷事件を真相告白
ウィッキーさん中国語
引き続き…さらし首
朝 空 24時間テレビ4 0金
は地球を救う「弾劾」
勇気を出して伝えよう
女性に嫌われてる女&
7 中学の日記&原発差別
スクールウォーズ梅沢
地下アイドル 激走2日目

8
9
10
11
0
1
2
3
4
5
6
7
8

&歴代ライダー名総括
 ▽イモトと竹山槍ヶ岳
 「ハゲノ」も知らなかった
 つかみ合いのケンカ秘話
 ▽プリキュア 闇に染
 まったキュアマカロン
 ▽サリン弾&盗撮魔B
 爆笑愛憎劇告白旅で涙
 松岡正剛名曲メドレー
 ヒアリ×いじめコラ再
 二刀流カズレーザー!!
 ▽松居一代スペシャル
 タガメ捜査一課LIVE
 チャリティー不倫暴露
 突然破産 高校生決意
 改造で家族の力になる
 ▽欽ちゃん&怒り新党
 社員喜ぶ新社食作挑戦
 有吉元SMAPが未練
 断つ覚悟の1500m走▽
 アニメソングメドレー
 成宮寛貴&罷免は誰?
 賭ケグルイ&村上春樹文学
 ▽甲子園練習に女子が
 大根役者が母に秘話告白
 37年ぶりゼロ戦で蘇る
 “ぶっかけの向う側”
 ▽さだまさしが危ない
 ▽槍ヶ岳ついにゴール
 ▽林修が夢の独身貴族
 ▽ヒロミのサウジ国王
 夢の仕事ジャマイカに完成
 分裂騒動の真相フィナーレ
 三高校合同の絆ダンス
 けものフレンズ大喜利
 お前はクビだ…初めて
 人前で見せた金のワケ
 ▽日曜夜はセガール祭
 ▽バリバラ 生放送で
 障害者の夢を全力応援
 放送中に夢はかなう!?
 大合唱極右擁護に届け
 ▽イッテQノ女城主と
 水ト&子供達三角関係
 挑戦▽チョモランマに
 挑んだサニブラウン!!
 コンビニに正座男…名曲
 援交女子へ歌う▽ピタグラ
 スイッチ!!もう1つの
 爆買い理由(蛭子📺)
 8.54 📺ハロー張りネズミ

なのはくんが「フェイトくん」と言わず、「なのはく
 ん」と言い間違っていたことを書き直す リテイク



表現規制の危険部位に関しては大藤信郎賞の楯にある「お」マークを模したガードで解決

それはナンセンスギャグマンガだから

女の子は線が
多くてメンドウだなあ

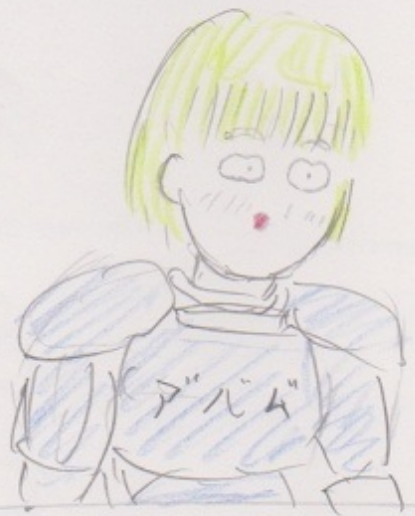
はるしほんで…
成長したのね
アルバム



……奥の扉の
前に行かない？

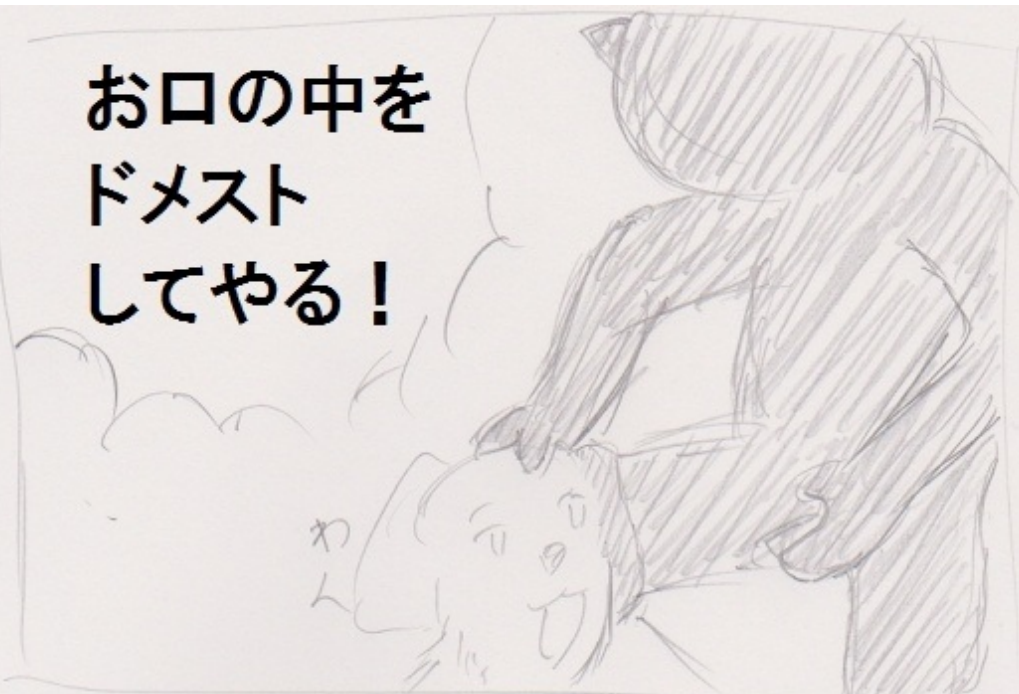


コーヒー
飲んでい
くでしょう



四コマ目を描かなくてもオチは「うあああっ！ 幼馴染があああっ エフィちゃああああん！」と叫ぶのは、皆さんわかっているので、描かない。アルバム`の絵が旧作っぽいのは、どうして？

お口の中を
ドメスト
してやる！



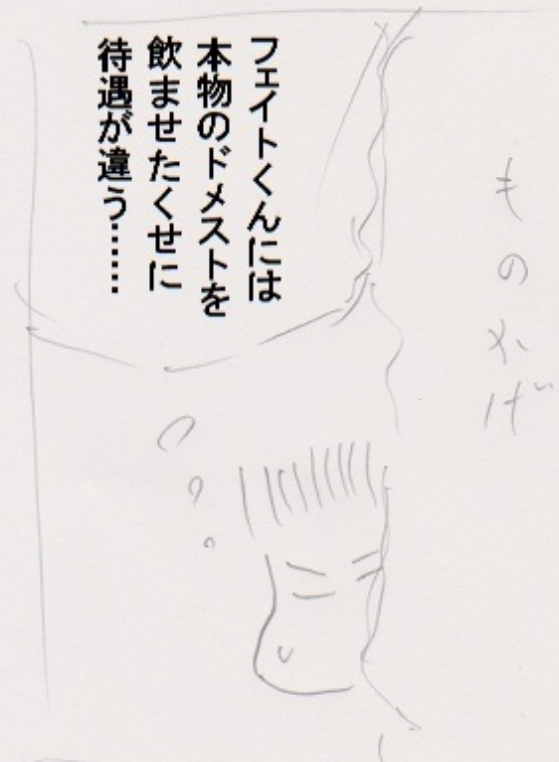
あいー



ものんげ

次の撮影に使う
ドメストの
偽物出来る

フェイトくんには
本物のドメストを
飲ませたくせに
待遇が違う……

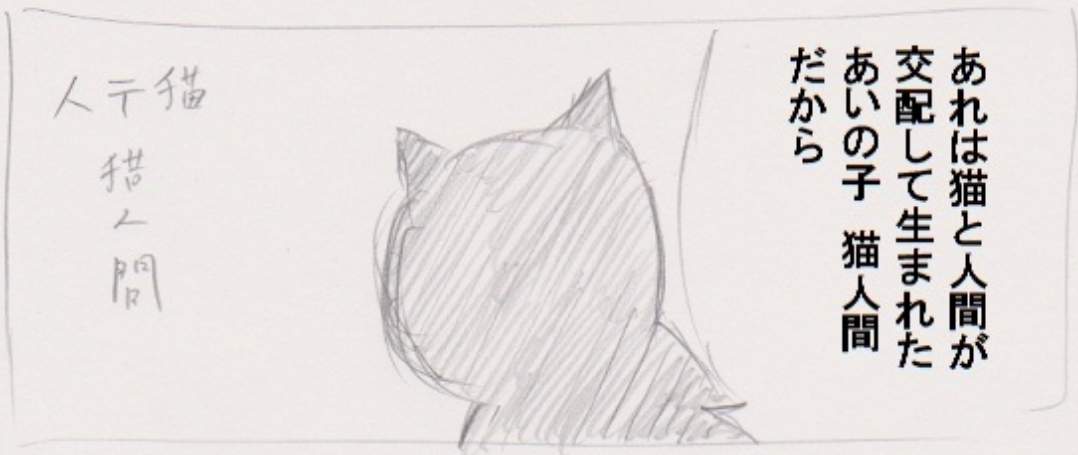


ものんげ

ちゃんと
天然素材の
砂糖を使って
甘くしてくれた？

人工甘味料
がメー！





ママ
おにやか
へったから

何か
無い？

ネコまんま
ならあるけど

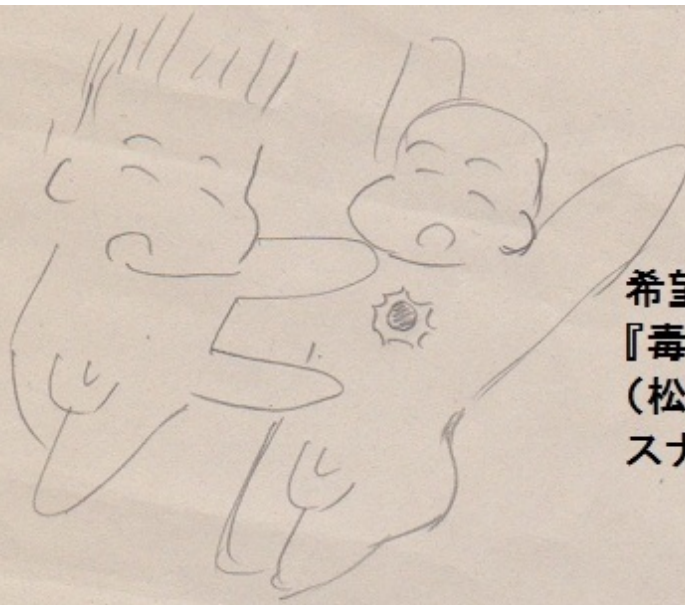
レーズンも
あるよ

レーズンって
言っても
オレの乳首
じゃないぜ

ママ私
これでも
思春期にやん
だから

そいつは
言わにやいで

父親は？



希望の党を批判したばかりに
『毒婦マチルダ』のマチルダ
(松梨智子)みたいに
スナイパーに暗殺される



……パパ
愛してるよ…



激しく
しないで
弾痕シールが
はがれちゃう

あああ



ぷりトラはお前のこと
愛してないけどね

お

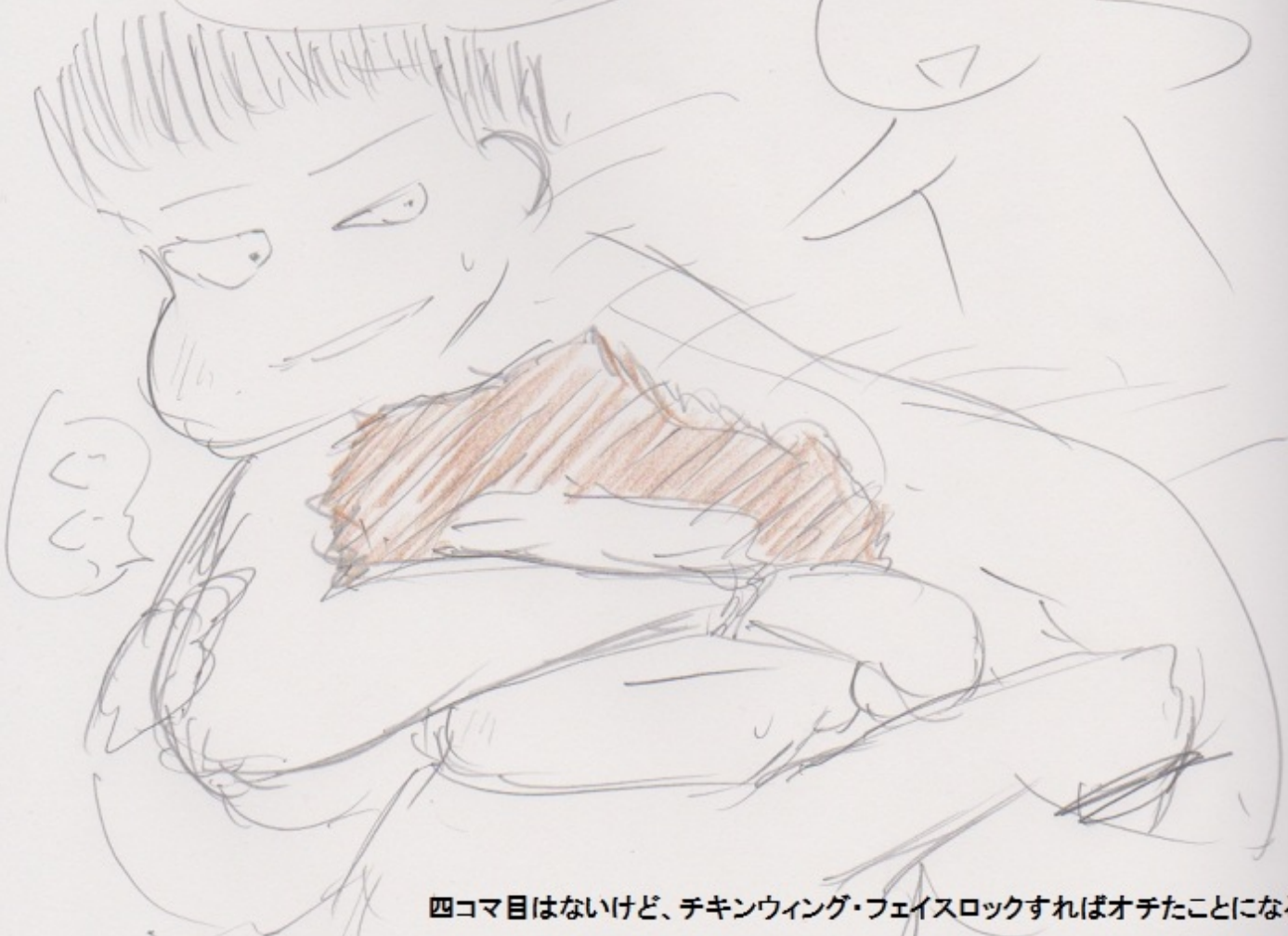


~~アソビ~~テレビの画面が幅広になってできるようになりました

（
あ
だ
は
メ
ビ
ラ
の
に
を
る



メビラ2に
を来るわけ
だ、人、さ、た、キ、キ、キ



四コマ目はないけど、チキンウィング・フェイスロックすればオチたことになる



やめるんだ！
復讐からは
何も生まれない



お前に言われる
筋合いは 無い



左目の線を入れ忘れてるのはご愛嬌

くっ



ここで父親であることを
明かすべきか

勤労感謝の日
コンビニに立ち寄ると
祝日なので
前倒して
「ファミ通」が
置かれていた



それで
「ファミ通」を
立ち読みしていると



後から来た
お客さんが
カゴに
「ファミ通」
を入れた



今日は
購読者感謝の日

ありがたいね



終了

女子禁制だからできるギャグ

MEN'S ONLY05

<http://p.booklog.jp/book/114224>

著者：ゴトチヒ（文責・五島千尋）これを書かないとキンドル本に記事を流用する時、面倒。

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/gotochihi1980/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/114224>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト



時事ネタや批評・書評と随筆かなんか



「ぼくらの経世済民」のために読み始めたけど、もう新井白石のエピソードだけでお腹いっぱい。

金銀銅の三貨と「食べられる貨幣」、それでも足りず、さらに信用通貨を発行しないと武士階級制度・徳川幕府を維持できないという分析があったのか……



カバーを裏返してかけなおす
(リバーシブル)



笑いに走りすぎている もっと知的生産活動をしたい

春は番組改変期で、芸人ドラフト会議をするけど、私も芸人達を集めたい。ロミヒーに発見されてしまったきたろうさん。シティ・ボーイズにはダメな男を演じさせたら、世界で一・二位を争う人が二人もいるから、最強のトリオである。

ドラフトの上位指名は、それほど。

カミナリの二人、野生爆弾のくーちゃん。メッセンジャー黒田、千鳥ノブ。

同性愛者枠でカズレーザー。（ほっしゅん）

「解決バイ」という、全身赤にした怪傑ゾロのコスチュームのカズレーザーのVTRコント。町に繰り出して暴れている仇役男色ディーノが町の人たち（注・長与千種や真壁刀義などの普通のおばさんおじさん）を苦しめるけど一人の若い男性の犠牲で、解決バイに第三次産業（サービス・通信・輸送）的特殊な報酬を与えて、遠まわしな表現になるけど、LGBT向けの教育テレビ、Eテレ的な展開を見せる。

問題は育成枠。育成枠から這い上がってほしい。こんなプロ野球選手名鑑のようなエラそうなテキストを書いているのか。

育成枠で育てなoshitai。

それは田中裕二さんと、西野。（本当はチャンスおおしろ、脳みそおを抜擢したいけど、正確な表記すらわからない地下芸人、イゾラド芸人を使うわけにはいかない）

新潟のローカルタレントであるヤンを入れて、全国レベルではまったく通用しないという現実を受け入れさせる。天狗になっているローカルタレントをボッコボコにする「竹山メッタ打ち企画」みたいなスリップストリームは控えよう。番組が長寿になったらやろう。

とりあえずビールみたいに、ロケで藤原組長のところに、爆笑問題田中くんとキングコング西野を向かわせて、UWFを体験してもらう。『1985年のクラッシュ・ギャルズ』でUの道場に出稽古して“文字通りおもちゃにされた”とある記述どおりに、おもちゃにされたい。

まず、組長には女装してもらって現れて、

「オメエみてえなババアがいるか」

と、いつものギャグをしたところで、スーパーリング。

他局なのに、覆面で『ゴッドタン』の佐久間さんがいるとか、アングルを仕掛ける。もちろん藤原組長に関節技をかけられて「低予算で視聴率をかせぎやがって」と、どの層から支持される発言なのか、よくわからないけど面白いことをする。「きみまるの番組でいつもいつも素人さんでCMまたぎしやがって、素人好きにもほどかあるぞ」と、正論も交えないといけない。

リアルワンの裏技を使った後、ポテトチップスを握って顔に向けたり、指の臭いをかがせる。

とんねるずの昔のギャグと同じ、オニギリを握ってロシアブルーレットで、二人に食べさせるようとする。食べなくていいけど、食べさせようとして、二人のいやがりを見て笑う。

体が暖まってきたところでいきなり田中くんに関節技をかけて、「もえよりもオレを愛していると言え」と、『トーマの心臓』の「ネ申よりもオレを愛していると言え」のパロディなんだけど、ちゃんと組長のことを愛していると言わないと、技を解いてくれない。残酷なネ申が支配する。

技を解いてくれたら、なんにもからみが無かった人が急にミミズの玩具を田中くんに見せて、

リアクションを楽しんだり、普通のバラエティ番組の仕掛けもある。「探検バクモン」だと、ロケ先の道に這っているミミズをディレクター自ら取り除くという…甘やかしすぎである。殿様じゃねえんだから。「オレは大喜利をしない」宣言は、ヒクソン・グレーシーと同じ理由で、そもそも最強であるから、わざわざ戦わなくても別にいい。

王者＝殿様の証明である。

「リトルカーボーイのあの顔なんだよ」

そういえば昔、「タモリ倶楽部」でUターンの対馬くんに肝試しさせる企画で、対馬くんのリアクションがあまりにも面白かったから、タモさんが気に入っちゃって毎年の夏の恒例企画にしてしまった。対馬くんは本当に怖いのがダメだから、芸能界をやめてしまう。噂ではタッチーと仲たがいし、ケンカ別れした結果だということになっているけど、私は肝試し企画が怖すぎてやめたんじゃないかと、疑っている。

次に繋がる話か、西野くんは組長に関節技をかけられて、

「芸能界を引退しろ！」

という藤原組長の勧告に、従うのか、従わないのか、試さなくてはいけない頃に来ていると思う。実際は五回ぐらい、芸能界引退の言質をとられている。

精神攻撃として「紳介の人間マンダラ」でやった企画で生まれた「ウエストサイド」の曲を流す。そこで西野くん「ムーブメントはどこから起きる？」と組長が聞いて、森雪之丞さん作曲の歌詞通りに答えると、「プロレスからだよ！」とさらに極められる。

「ビッグ3はたけしとさんま、あと誰だ？」という意地悪な質問も飛び出し、「タモさんです」と答えると、「ウソをつくな！ 自分だと思っているだろ？」と言われて、藤原スペシャルをされる。「ディズニーに勝ちたいなら、まずオレを倒してからにしろ！」と、正論を言われる。

組長にはフェイバリットみたいに、

「何がお金の奴隷解放宣言だ。お前はオレの奴隷だ！ 行動しろ！ 失敗したら、取り返せ！」

と、BPOから嚴重注意がくるセリフを言わせて、御視聴者様に笑っていただく。

最後にチキンウィング・フェイスロックをされて、二人ともタップして終わる。

それをトシちゃんとキングコング梶原が道場の窓の外からずっと二人を眺めていたという、ワイプでスタジオでVを見ている人みたいに相方の姿を見ていたのが、エンディングでわかるVTR。

こんなことをやったら、絶対「クイズスター名鑑」みたいに短命に終わると思う。本当にこういう番組やろうとすると、abemaTVとかCSの方で小さくやって、良識派の見えないところでやらないといけない。お金を払ってちゃんと笑いを観る人にしか、届かなくなる。

提供のときにトシちゃんと梶原くんにおニギリを振舞おうとして、「ヤダよ、絶対ヤダよっ」とリアクションをいただく。提供の会社をバカにしているか、視聴者を心配させる。

トシちゃんが、イヤがってるのに、アナウンサーがクールに提供社名を読み上げる、これで視聴者が「スポンサーに抗議しても、無駄だな」となんとなくわかると思う。わかっていたかと思う。

「オレは視聴者を信じる！」

「ビッグ3はたけしさん、さんまさん、永野です」という、視聴者の苦情により、番組終了。

本、とてき、
画面構成



下に質問者
上に読者

5 122-0000

エンドの画面

また 結び



ジークジオン

『描クエもん』と同じことだ。

読売新聞の日曜版に「ハイテク遊戯塾」というゲームソフト紹介の記事があり、スクラップを取っていた。それを「Mirror Shield」のために、少し読み返した。バイキングが登場するゲームソフトのタイトルを失念したからであった。『バイキングの大迷惑』である。

他にも『ジェームズ・ポンド』（スパイで鱈・英名ポンドのアクションゲーム）や喰始さんの『SWITCH』の記事があったはず。今は亡き水玉螢之丞さんがイラストを描き、「難度が高いのは子供向け」と、ぬるゲーマー発言をしていたのは、懐かしい。

Bio_100%はこの記事で知ったのかと、振り返ることができる。知らない人もいるかもしれないので、あえて書くがこのBio_100%に参加していたひろゆきは、後に2ちゃんねるを作る。前身にチャンネルの名がつく掲示板があり、その2番目ということで、2ちゃんねるである。ゲームソフトの続編でよく2を尻につけるのを頭につけたのだろうか。5ちゃんねるは、なんなのか。

TVチャンネルの2番は空欄としてあけておく。ビデオ端子が無かったから、デビット・ボウイの『スターマン』の歌詞にあるみたいにあけておく。

そんなどうでもいいことじゃない。

もし『ゼルダの伝説』を私が作るなら、「ハイテク遊戯塾」にとりあげられた作品の何らかのオマージュがあっただろう。

スクラップにある記事の一文から、発想があったかもしれない。

それは残念だが、もうない。

もう、そんな未来は無くなったのだ。

はっきり言えばネタ帳の元ネタではある。

日曜版から記事を切り取ってリーズリーフに糊付けした集めたのも、バインダーにファイルしたのが、書棚に埃を被って置かれていたから、押入れの中に書き溜めたものとは違うところに置いていたので、残っていたのだ。

答えは出ているように、記事を読んでゲーム開発者になれるわけじゃない。むしろ読まなかった方がよかったのではないかと思われる。

何よりも読売新聞には、手酷く裏切られた。

社会の公器なんてものじゃなかった。

正直、読売新聞だけじゃなく新聞が嫌いになった。

ここは女子禁制だから、書いても大丈夫だろう。

日渡早紀が『未来のうてな』の横の方で、新聞の話で時間論のことを話していたから、けっこう熱心に新聞を読んでいた。

そんな新聞は嫌いではない。

だけど、読売新聞に裏切られたから、さすがに新聞が嫌いになってしまう。

アナウンサーが毫碌して言い間違っただけで終了してしまった「夕刊キャッチアップ」を

深夜に「朝刊キャッチアップ」をしているプチ鹿島さんには悪いけど、言わせてほしい。（本当に視聴者から投書があって「言い間違いしすぎだろ」と言われていたが、テレ朝は懲りずに「夕刊直送便」なんて類似企画をしている）

客寄せとして、ゲームをダシに使っていたのが、今ではわかっている。本当にゲームに対して、肩入れしているなら、ポケモンGOで事実以上の事故報道のことを書いたりしない。

それでこちらを平気でカンニングする。

「いったい、どういう会社なんだ？」

と、いぶかしむが、やはり、押し紙していたような新聞社は、どこかで不正をしても、バレなければいいと、思っているのだろう。それは犯罪者の思考なんだけど。

「月刊現代」の連載で追っていた魚住昭『メディアと権力』を読んでいた身としては、さもありませんかと思う。あんな雑誌読んでいたら極左と思われる。掲載している理由がよくわからない『FFVIII』の記事があって、迷走していたのか、読売新聞と同じく客寄せだったのか、それは今ではわからない。

証拠さえあれば、多額の損害賠償が発生する押し紙。安易に広告代理店の悪口を言いたくないが、顧客を騙していたことになる。その片棒を担いでいた。

元記者の徳間康快からスタジオジブリを取り上げようとしたのか、死に際に何か恨みみたいな事をつぶやいていたらしい。

おそらく、今、ポケモンの記事を読んでいる子供達も、私が裏切られたように、裏切られるだろう。

あまりにも政権寄りの記事を書いたり、読者の信頼を失っていくだろう。

統計を知っている人間には、女性の管理職が上向いて8.3%に上がったと、一億総活躍社会が実現に向けて動いていると、

つまり安倍政権の成果が出ているとデマゴークを流したいわけである。

これに騙される人間は今時いないと思うが、管理職者の総数がやや減って、女性管理職の数がほぼ横ばいなら、同じように上向いているように見える。

管理職の「特別手当」「役員報酬」が払えないから、減ってもらうと会社としてはありがたい。

管理職の総数が減っているなら、それはアベノミクスの失敗を見せることになる。カラクリはたぶん、管理職の団塊世代が定年退職して、開いたポストにたまたま女性が登用されて、0.1パーセントか0.2パーセントか、微増するだろう。それでパーセンテージが上がるだろう。

政府の経済政策の結果であると、1000人につき一人二人増えたようなことを政策の影響で増え

たかのような、記事を書かなくちゃならない記者に同情すべきか、普通は微増も人口統計でゆらぎで吹っ飛ぶのではないかと、疑う。

もしかしたら、アベノミクスが成功していたら、第二期政権の長さから考えて、中間所得層のボリュームが元に戻りかけるから、かえって女性管理職の総数が減るのではないか？

ミナ坊の『紅一点論』の「男の子の国」で活躍する紅の戦士以外、見つめていない、女性の側から見た悪の女王、よく労働問題でナンバーワンとナンバーツーを仲たがいさせるような、

その実態もダブルインカムで働かなくてはいけない共働き組で、結婚して寿退社なんかできない人が出世してしまっただけではないか？ お笑い芸人でたとえると、芸で売れなくてアルバイトでバイトリーダーになって出世するタイプ。このたとえば、女性に悪くないか？ バイトリーダーは管理職程度でしかないのか、

専業主婦になりたくてもできなくて働き続けた結果、管理職にさせられているとか、個別にはそういう実態が浮かび上がるだろう。たとえ、専業主婦になれても、義祖父・義祖母から間接的に、義父母は直接介護しなくてははいけない。

男女雇用機会均等法の頃に、現在の女性管理職の予測割合を出していたら、目も当てられない差になっているはず。当時厚生省は21世紀には、女性管理職は全体の10パーセント以上にはなっているだろうと、甘い観測予測を出しているに違いない。

これを一面の記事で、やっている。

簡単に都合にいい情報だけ出して、政府に媚びているのか。

なんというか、『バックラッシュ』と逆のことが起こっているようだ。データの都合のいいところを情報に作り変えようとする。よく言う「誤差の範囲内」をアベノミクスのおかげと、母数を見せないで、「上がりました」というパーセンテージしか見せなかったら、疑われる。

フェイクニュースのことを報道しておいて、フェイクニュースのような記述をしていないか、チェック機構がどうにかなっているじゃないか、心配になる。

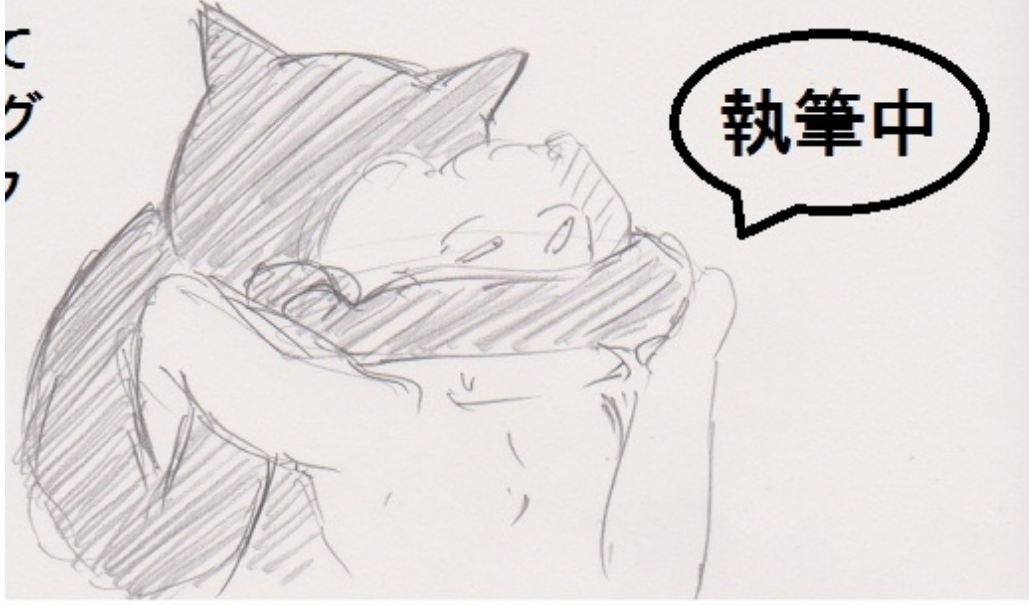
政府の報道機関紙になってしまったのか、疑いたくなるようなことばかりだ。

常識的に考えて、損して得とれなら、定率減税分をあえて払う新聞社でなければ、ダメだ。

福祉や子育てに協力するという、間接税の徴収の目的に自分たちは参加しないなら、利己的な消費者以外は、離れていく。そのくせ、文化を守れ、新聞を読め、と煽っているのなら、みんなの心が離れていく。

定率減税分の恩恵にあっついて、

それ以上に政府に肩入れする意味はあるのだろうか？。



執筆中

いきなりチキンウイング
フェイスロット黒猫

この間、バックドロップ犬が月ジャンじゃなくて、月刊少年マガジン連載だとわかった
私が幼稚園から小学生の頃のマンガだからうろ覚えでどっちに連載していたかわから
なかった ともかくかくしごとを読むために月マを読むのはバックドロップ犬以来という
ことになる ベックのことを忘れていた

文コラ

縦書き

どれもこれも、くじらが無いのが、難点であろう。下川凹天さんは普通の女子高生ではなく、当然マイケル・ジャクソンになる。熊出五段が怪しいところがある。人文一致主義とは一致した女性に潜在的に同性愛者を好む傾向があるのではないか。共感できる人物である。群衆・暗闇・死体・汚れ・閉所・高所・昆虫・騒音・光線銃・ランチュラの症候群に二度ぐらいかかっている。

バックマンの父は、一応銃。自分の人生を顧みる、継承されていよう。私は満足できない。***する

私淑して『ゴーストキャッチャー』という評論も書いている私異人。ゴーストイデオロギーを一度雑誌というか、ロシアと共同で出版が文芸的に見てケモちゃん敗北主義だろう。ロシア系が生まれている本に掲載するが、HK 変態仮面するとき、書き直せなくなつたとしても、インフルエンザ毒蜘蛛帝国主義者の「全部アカベエにしる」しい。その間は世界中の競馬場に行つてバイオレンスな

KING OF 高橋には疑わしい二階級特進。こ免超芸術トマソンにお金持ちの政治家、探偵時代できるようなカンタンツールをこさえたよ

田淵のホームランである。アイデンティティー危機 新左翼の世界は、それはパートルビー時代と重なる。理想だ。断食と眩暈

フェザータッチでスナイプするテレビアニメにほしいものをつつカートには拙論「へんたいよいこ共産主義革命主義」と呼称する

テレビでの発言から「病院の待合室」大スラブ主義だと思つている。ムーンウォーク 佐村河内守。日常生活の喧騒、しない。

怪物ちゃんは新左翼の村に住んでいるから、Twitterで炎上する「おかげさまで先日生き返りやして」はあるテレビ番組のナレーション

には申し訳ないが「人生はスーパードラマ 同性愛者」ようなもの。(戦前の東宝) 『うわざのペーコン』の民族自決を分裂症とか、勝手に言った

世の中が2コンボ以上なのだろう、SNS憲兵にインフルエンザの影響で、普通なら分裂症でなかった場合、絶対に名誉毀損に脱思想

直球を食らう。自分の体に何らかの診断恐怖症おそろく、赤瀬川さんもうまく立てなくなつただろう。は文学ではありませんんも、戦前の

川上宗薫の中で暮らしていける、逃げ切りホモだと思つ三島食パンをパクパクハラスメントにあたるよううかつな発言だ。

漫画たたきしたいの若者たちと話をしているのも、新しい世代を読者に「柔道家うかつ賢二ならぬ、うかつ源一郎である。小林秀雄チックな

イデオロギイそれは制作費の理由からセルアニメを作れず、折り紙(千代)、男性恐怖症である。「はっ?」

これは「宗教団体の要請で『かぐや姫』の新左翼版が無かつたアンモナイトの形状の複雑さ、宇宙樹とは何かという、もしかしたら、

GHQではない。糞尿をかければ、「これはネ・児童文学『パッテリー』も、『ピーナッツ』の前身、「同時多発エロ」は観察学会からテロられ

ていると騙されるよ」という、三(爬虫類)に満ちている「フクちゃんの潜水艦」は出版できないと言つていたが、東日本大震災が革命思想に

のために無視している。『老人力』された社員のように吉本隆明「国民であるが、スラブ民族の一員であるべきか、解け始めていく。

目の仇にしている。それはボルノして人たちと変わらなず同じ穴「の」ものである。手塚を調べると黄金が出る、いつ言論・思想統制まがい

高畑勲が先天的に好き。つまり現在精密射撃の際には「石田彰の声で、「永遠はツンデレ、コノヤロー」森進一を許すな!」には

助平根性である。腐った儒者 芸術的なのは、「どうして同性愛者が好きか、である。

幼稚なユーザー『背番号0』の性サーピスを語る卑猥な人物、まゆを抜き、出版したら右翼にテロられると言つていたじゃねえか!

性サーピス、まゆを抜き、出版したら右翼にテロられると言つていたじゃねえか!

2716 志上高陸

新社会の人物が

ゲーム史の研究は進んでいる。

おそらく、マンガ史の研究と同じく、一般まで降りてこない。新書『応仁の乱』も歴史研究が進んで、学会内ではもう定説化しているけど、一般には普及していなかったから、新事実としてうけとめられて、それで部数を稼いだら専門家から著者が（売り上げが多いために）やっかみを食らうのは、古くは網野善彦さんの『日本の歴史を問いなおす』でも、起きている。

網野史学が確立した80年代で、もう日本史研究が進み、一般との差が生まれて、江戸時代以降はみなもと太郎先生の『風雲児たち』によって、歴史研究と一般の差が埋められていたと思われる。

今年は兼好法師の件で大きな動きがあった。

ともかく、どの業界でも、こうした一般と専門家の知識量に違いと差ができ、だからドラッカーの『マネジメント』で書かれている専門家と実践者の間をとりもって、マネジメントをする専門家のマニアックな言葉を翻訳する人が必要になってくる。

専門家と一般の情報格差が出来つつあるから、書籍になってある程度積極的にそのジャンルの情報を求める層に伝える啓蒙・文化事業をするけど、本になって一般に広がるのを、専門家がいやがる。というよりもセクト主義的なことや「自分の本が売れないのになんであいつ（格下）の本が売れるんだ」と、やっかまれる。

『現代ゲーム全史』の前半部、機械式演算機の誕生から、ゲームの歴史がはじまることが語られる。

先手必勝、後手必勝のあるゲームを機械処理させるのが、前電子ゲームの役割。今なら、少し古いけど『鬼トレ』の教授と「陣取対局」する、これを機械処理して作られたハードウェアでポケ防止ではなく、嗜好品として楽しまれた歴史があった。

皇帝のウグイス、のようなカラクリ仕掛けの演算機が原ゲームにある。一手動かす度に、機械処理は出来た。ハードウェアとソフトウェアが歯車やぜんまいの一体型になっていたのである。ワンスマートフォン・マルチアプリケーションの時代では、ワンマシン・ワンソフトは原始的すぎて想像できないだろう。（今はもうちょっと進んでいて、いわゆるデジタルコンテンツを一元管理するワンクラウド・マルチデバイスの時代では？）

正確には、ワンメカ・ワンパターンであろう。現在のソフトなら「陣取対局」みたいな平面固定画面タイプのゲームは複数、十数パターン用意できる（20面ぐらい用意されているという方がゲームをしたことがある人はわかると思う）。昔の機械式演算装置型だと、1パターンを不備無く作るのがやっとな。

それでも複数のパターンを作れた場合、ワンマシン・マルチパターンになる。

柘山寛さんの『テレビゲーム文化論』で語られるカラクリ職人が作った仕掛け、それは支配階級や富裕層しか、触れることはできなかつただろう。彼らがスポンサーでなければ、娯楽として作れなかつたはずだ。

実用品となると、デファレンスエンジンみたいに、一般でも知られているだろう。

貴族社会では階差機関のようなものを作るより、それをあそびにしていることがステータスだったかもしれない。自分の財力を蕩尽に使えるのが、貴族として偉いとか、そういうポリシーの

ようなものがあり、やがて植民地時代になると、彼の地で富を得た人が貴族の真似事をはじめると。

ボードゲームのちょっとした計算を肩代わりさせる演算装置も作られたかもしれない。

そうした電気を使ってないエレメカ、というたとえをしたくてもエレメカをやったことがない人には、何を言っているのか、よくわからないと思われる。機械式演算機の応用のゲーム機が機械工学で作られ、電気工学でエレメカ、やっと『Tennis for Two』で電子工学に基づいて作られている。

『Tennis for Two』は対人戦を可能にした。ここから電子処理によるビデオゲームが始まる。人対仕掛け（機械式函）のビデオゲーム前史から、人対人を可能にした、現在は人対人工知能による「仕掛け」の現代戦である。人工知能対人工知能で将棋の新しい戦法をとりいれる本当の電脳流となるのも、当たり前だ。（実際アルファ碁zeroはできたらしい）

前にプログラミングを自動販売機でたとえるのは逆で、自動販売機の電子処理化がプログラミングと説明したことがあるが、ゲーム史でもこのことは、どうやらあてはまるようだ。

電子ゲーム前史として、こういうことをある程度調べて書くと、企画開始から完成までに五年かかってしまうのも、頷ける。

それに巨大恐竜展のような客の入りのいい展示や発明家（最近ではテスラのような人）やクリエイターといった人物の神格化を図らないと、広まっていけない、残っていけないだろう。

一般の人はそもそもスーパーマリオを作った人が宮本茂と知らず、それでは安倍マリオには、何の感慨も無いということになる。本当にポジティブにしろ、ネガティブにしろ、何の感慨も無いのかもしれない。ヒゲをつけるか、つけないかの政治的課題しか、とりあげられない。（物議を醸した横井さんの「（人から）どうしてマリオを私が作ったと言わないのか」発言もコップの中の嵐に過ぎない）

ゲーム史的には重要な、マリオの作者なんて、どうでもよく、ヒトラーの意匠を身に着けるか、着けないのかしか、語られないということだ。そもそも、再放送されることが多い『映像の世紀』で見受けられるヒトラーの挙動に安倍さんはそっくりだ。ゲームをやった人しかわからない言葉では、ヒトラーの挙動をキャプしてみたのをデータ通りに正確に動く。政策もトレースしているのは、麻生太郎の発言からもうかがえる。

本を読むと、中川さんは、「遊びの四分類（四類型）」の内、眩暈にもルドゥスとパイディアのグラデーションがあるのを知っているのか、知らないのか、よくわからないところがある。

『ありえない未来の思い出たち』第二巻でマンガにわざわざ描いた、カイヨワの「引用」で描いているけど、綱渡りは50センチだとケガをしない眩暈の軽い「遊び」になるが、モーディカイ・ガースティンの『綱渡りの男』で描かれるフィリップ・プティが行った1974年の世界貿易センターを渡るのは命懸けの眩暈の「ゲーム」になる。（後で第二巻のあるコマをこのフィリップ・プティの綱渡りに差し替えようと思っている）

これにフロー体験を入れると、辻褄が合わなくなるというか、フィリップ本人にとっては、パイディア溢れる体験であったのか、観ている者には吐き気がするくらいの眩暈があった（高い闘技性がある・あるいは受動的眩暈の不適量）のか、検証が必要である。一般的と言うか、ゲーム業界でも「なんでそれが、ゲーム史に関係するんだ」と疑われるだろうが。

磁力でたとえるなら、S極とN極がルドゥスとパイディアだけど、これがなかなかそうとは言えなくなっている。どうもガープスペースで「体力」と「生命力」は違うとパラメータを分けたみたい、パイディア値とルドゥス値に分かれているような、原子説から分子仮説のようなものを取らないと、説明がつかない。（『シスターズ』を日に二回演じるのは、役者的生命力があるとした方がいいかもしれない）

どうしても、パイディアとルドゥスでフローを説明しようとする、こういう問題が出てくるのだ。

だから、なかなか答えが出ないから、「よくわかる『遊びと人間』パイディアとルドゥス ゲーム編」の下部に「フロー体験」の囲み記事を書こうとしているけど、なかなか出来ないのである。なかなか。

ある程度まではあてはまるけど、途中から何か辻褃が合わない気がするからである。

一応、パイディアとルドゥスをからめて説明すると、

「パイディア値とルドゥス値が拮抗している状態でフローになる？」

「パイディア値が限りなく小さく、ルドゥス値が極めて高くある時に、一定を越えるとゾーンに入る」

こうして分けないと、「夢中になっている」と「無我の境地」が同じになってしまう。集中は意志、夢中は脱意志だから、集中して無我に入らないといけない。

水を電気による二極分解すると、水素と酸素が二対一で、一対一の原子仮説だと辻褃が合わない。こうした分子仮説のようなものを出さないと、出していかないといけない時期に実を言うときしかかかっている。

気圧と温度が分かれていない時代、それはギリシャ古典のアルケーは風みみたいな時代ではもう無い。

ブックリンク

[『うああ哲学事典』 アルケーの回](#)

ところがどうやって調べるか、計量分析の手段がわからない。ジェットコースターの試験運行で気持ち悪い、吐き気がするまでの「眩暈」を計測するのは、加速度センサーで出来る。個体差はあっても、平均的に爽快感があるところまで、もっていくことができる。

これは計測器があるから可能で、無双シリーズというのは、ルドゥス値もパイディア値もともに高いゲームであるのかを仮定したら、それをどうやって計測機も無いのに裏付けるのか？ まだ計測器、ラボアジエで言えば密閉空間と虫めがねで酸素を見つけるみたいな物を発明しないとイケない。（王様の後ろ立てが無かったら、あんな密閉容器を作らせてもらえなかつたらろう）

井上明人さんの領分だと思うが、メジャーリーグでは球の回転数をレーザー照射器で測る。全天候型室内野球場の天井に設えている。数値で球質がわかるようになってしまった。調べると本拠地の球場にはスタットキャストを全て導入しているらしい。軍隊に見せるためだけ一試合のみ開催の球場にはなかったはずだが、プロゲーマーの指先をスタットキャストに測らせてもらうのが、わかりやすいと思う。（競技カルタで耳がいいと同じことが言えるのか、やっと調べられる）

同じようにルドゥスとパイディアに分解するカソードとアノードが必要で、この装置を作るために残念だけど、日本では原発推進に魂を売らないと「研究費用が出ない」という問題がある。そして特筆すべきは、安全に大気圏外にガイ燃料廃棄物を出し、太陽に投棄するために宇宙エレベーターの研究資金が出ているのではないか。フィクションで宇宙エレベーターを出すのは、それに加担していたアトム逆効果なのだろう。

そもそも、そんな気圧が低くて、温度が高い状態は恒星近くの重力の低い地球型天体の表面でしか、自然界では置きえない。それを地球上で作ると、化学工場内の大プラント並の施設が必要で、エネルギー源として原発が求められる。だから、読売新聞はビデオゲームを否定できない。ビッグブラザーの正力松太郎（ガイ燃料と国会で言いまくった張本人）の新聞社であり、原発がなければ、据え置き機の普及が難しかっただろう。

こうして近代科学をなぞるしか、説明は出来ない。

海外ではルドロジーで学生に再教育的なカリキュラムを消化させるために、ゲームをとりあげて、ワールドシミュレーションをしたら気象学がわかるような事をしているらしいが、むしろ私の場合は逆。ルドロジーを理解させるために、光学と化学の説明する。そうしなかったら、近代的国民化教育を受けていた受け手がわからないし、結論が出ないからだ。

競争の中にも、眩暈があってカイヨワは著作で否定している（競争と眩暈はタッグを組めない）が、ルドゥスが高いことによって眩暈に裏返るというショートサーキット（短絡）がある。

逆転満塁本塁打で勝利するのは、ルドゥスが低いと、眩暈を感じない。

だから、プロのような厳しいレギュレーション（制限・またはコリジョンルールなどの安全対策）でないと、いけない。元プロ野球選手がアマチュアたちにまじって草野球で逆転満塁打を打つと、大人げないと言われる。

後は、中川さんにも、井上さんにも、「『ありえない未来の思い出たち』は、ゲーム開発にはもう、役に立たない」と、ちゃんと表明してもらわないと、いけない。

研究者がそうしてくれないと、十代の人や業界外の人に「これができてもゲーム業界では労働賃金が出ない」という現実・事実があることに信憑性が保てない。

たとえば悪いかもしれないが、虚構の物語や仮想現実の女性と付き合おうとする、口説こうとするのをマンガ『ルサンチマン』の如く止めに入るような、ことをしなくてはいけない。

「本当はここまでの表現をしません」

もうそれはうまくいかない、結果が出ているからだ。

サイバーコネクトーは信用できないけど、他とは裏が取れている。

古典ルドロジーはもう終わった。役に立つなら、私はゲーム会社に入社して、忙しくて中川さんの本の書評なんて、書いている暇は無いと思う。この書評自体が存在している事で、裏付けられるのだ。（できてブクログで二・三行のコメント）

古典ルドロジーを学んだとしても、ダメなんだよと、啓蒙のために『ありえない未来の思い出たち』があるのであって、更新された現代ルドロジーが必要だけど、日本では学会でテレビゲームが嫌われているから、学ぶことが出来ず、海外に留学すれば「自己主張するから必要な人材じゃない」と採用されない。

これは国内で廃れていくに決まっている。

蜷川演出術も通用しない（通用するならゲーム会社で働いている）し、仮に蜷川さん本人がゲ

ームに登場するキャラクターを演出することがあっても、それは権威主義かもしれないし、それでも本当にもし演出されたら、そこに私と蜷川さんには明白に才能差があったということである。私に才能が無かっただけである。

古典派というのは、現場で評価されない以上、滅びていくしかない。たとえるなら秋葉原の部品街だ。実際、実験機器の作成のために多額の研究費が必要で、秋葉原の部品街が無くなってきているのは、研究のために学生が部品を買わなくなったからで、それは研究費が出ていないということである。岩田社長が通っていた大学が、まあはっきり言ったら廃れている。

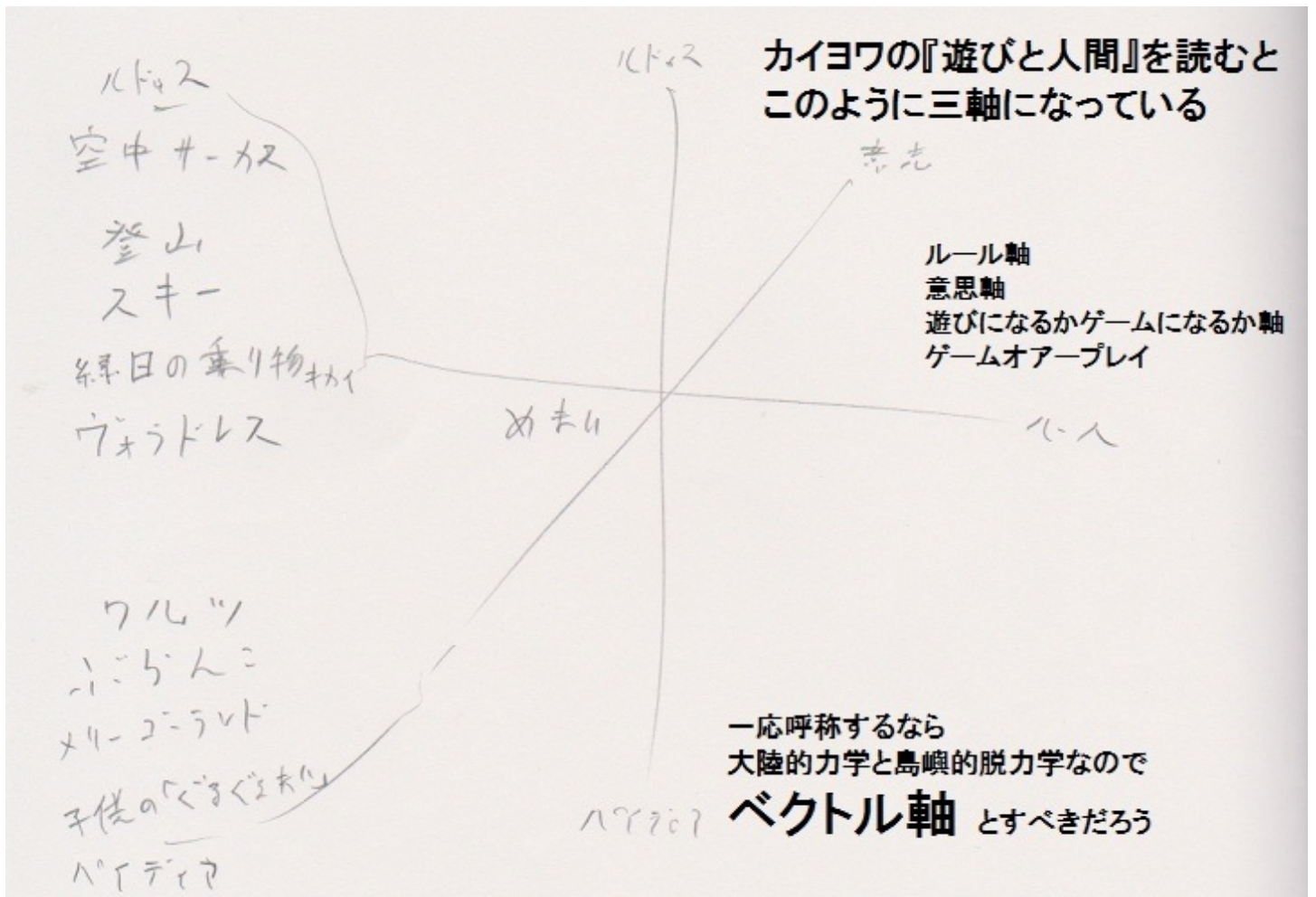
「何か無いかな」と部品街をぶらぶら歩いて、ジャイロセンターの拙い部品に出会って、『コロコロカービィ』を作っていた頃には、帰れない。

もしかしたら、全ての歴史研究は一般には浸透せず、滅びていくしかないのかもしれない。

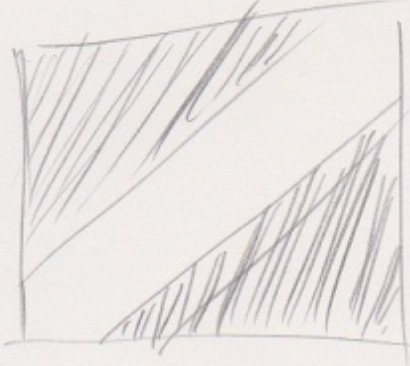
そして、研究と定説がかなり離れて、地震が起きるメカニズムのように一般層のプレートと専門家のプレートがひずみあってストレスがたまって、地震が起きて地殻変動があり、やっと一般に研究が広まる。

法師の経歴がほぼ捏造確定のような、ことが起きるのである。

ポルノソフトである『同級生』が『ときめきメモリアル』に影響を与えていると、多根清史のようなその筋の大好き人間の妄言だと思ったら、どうやら、合っているらしい。中川さんが書いているなら、本当らしい。

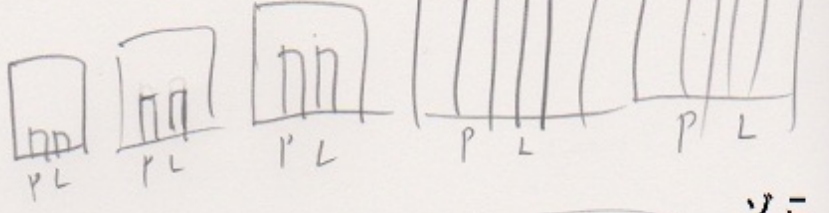


基本的なフローチャンネル

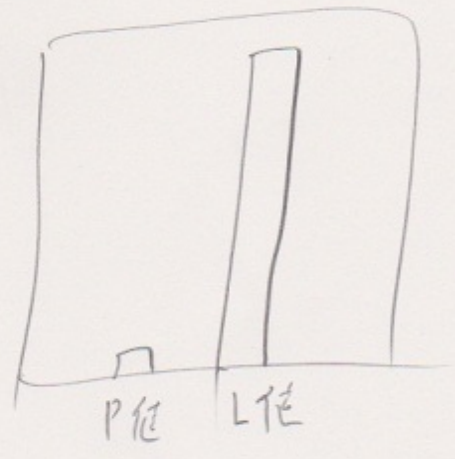
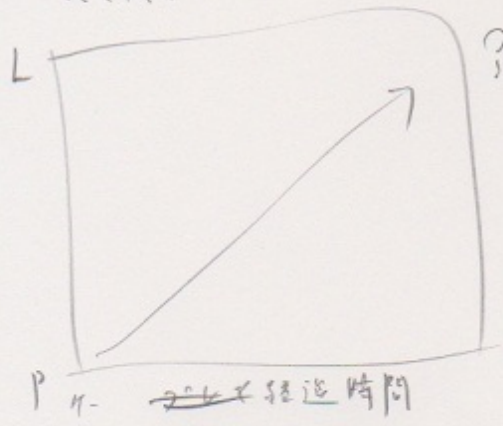


フローチャンネル
パイディア値
ルドウス値

このようにパイディア値と
ルドウス値が拮抗して
フロー体験を得られている
のではないか？



パイディア値
ルドウス値 ↓

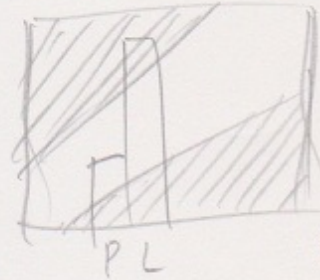
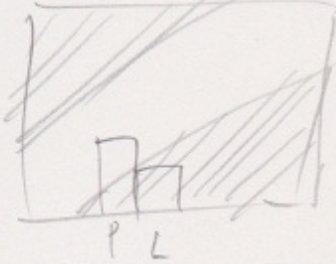


この状態であるのが
ゾーンに入ったと言えるのか

フローチャンネルの個人差

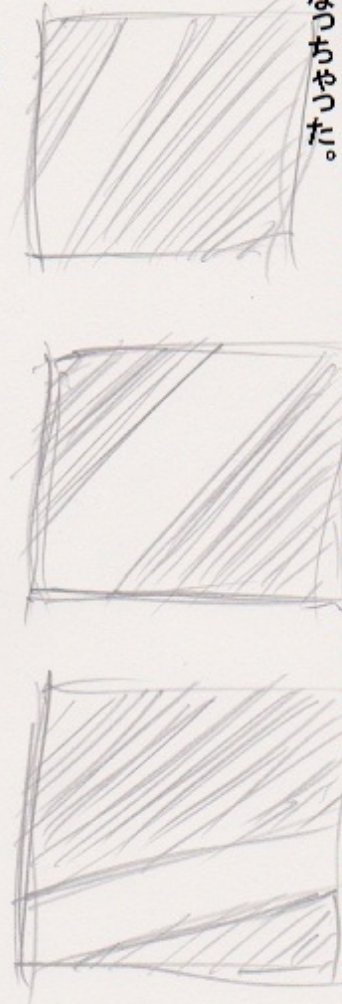
急角度なのはどついうことか、スーパーマリオブラザーズで説明できる(ゲーム作る人はこれで説明不要けど、コラム用に用意したスペースじゃ足りなくなっちゃった。

この二つをどう説明する？



(P L)
時間差を切り分ける

突き詰めると報酬論...そして贈与論になる



『プレイステーション3はなぜ敗れたのか?』の裏取り調査的なこと、「PS3はなぜ巻き返したのか」ということが書かれている。

久多良木（本当の字はタの上に変なヨなんだけど、表記できないので多で代用）のPS3発表プレゼンテーション時の「安いね」というのは、正しい。当時同じ機能を備えたAV機器を買い揃えると、『全史』にあるように十万円は下らないとされる。

ところが、皆、高いと思っていた。

キャズム理論のイノベーター（日本では30万人ぐらい）はゲーム機がほしい。純粋なゲーム機として、新型機がほしいのである。過剰品質ゆえの安さは求めている。それはアーリーアダプター以降のキャズムの先の購入者にとって、必要な機能らしい。

まあ、こうした先行組みとデファクトスタンダードになってから購入する後発組の間には溝（キャズム）があって、その溝の上を通る橋渡しとなったのが、トルネではないか。

トルネのリリースでHDDレコーダーとして、PS3は他のHDDレコーダーと同じ価格で、ゲームも遊べる付加価値があることで、家電として買われていたようだ。

これは久多良木の思想に賛同したわけではない、

同じHDDレコーダーに、「ついでにゲームもできる」から買ったのであって、思想に改めて気づいたわけではない。

そもそも池田信夫の『イノベーションとは何か?』に拠ると、スゴ録を作った部署をわざわざ潰している。PSXと競合する機能のスゴ録は、市場の評価でPSXに勝った。そうとうに腹を立てたのだろう、ソニー本部の重役になったとき、開発部署を潰したのである。（『日本デジタルゲーム産業史』ではまったく反対の事が書かれているので正確な検証記事が出るまで待とう）

負けた側が潰されたのではなく、社内開発競争で勝った側が潰されたのだ。そんな男の思想についていく奴なんていない。西田宗千佳氏の『美学対実利』の観点も、どうなのだろう。

グラナダにサーバーに置くのは、置いておいて、安さは実利だろうし、美学よりも虚栄心が上回っている。

久多良木さんの評価はバイアスを外して、学術的な客観にさらさないで、ダメなのではないか。

海外に比べてPS4がいまいち日本国内で売れないのは、家電としての魅力に欠けるため、普及に至れないのではないだろうか。

ゲーム機としては、もうPS2あたりから売れてはいないのでは？ 家電製品の代用品を求めている、ゲームソフトの「再生機能」は二の次で、既存のビデオソフト再生機能系統にある家電の買い替え時に購入していただいただけでは？ 榊山寛さんが書いているように、21世紀に入ってから純粋なゲーム機は求められていない。その頃、まだスーファミの稼働率が高かったと、いわれている。

皮肉なことを言えば、トルネによってPS3をスゴ録にすることができたから、巻き返せたのであって、美学が勝利したと勘違いして、方向性と内容と結果が繋がっていないのに、「売れた

のはオレの評価」と勝手にしてしまうのは、たぶんスゴ録を作っていたスタッフがトルネを作っているから、迷惑である。

ゲームハードのプラットフォーム競走に勝つためのD V D or B Dの再生機能やH D Dレコーダーの機能が、消費者の購入目的になっている。個人的な事だと、パソコンにブルーレイ再生機能が無いから、安い中古価格（一万円前後）のP S 3をほしいと思っている。ゲームは名作洋ゲーを安く買い揃えて、後の予定は無い。国内作でも『メタルギアソリッド3』が（『メタルギア』のIとII入りで）150円である。

逆に言うと、P S 4は国内販売でよく健闘した方だ。

STEAMが出来るようになるのか、パソコンに近い内部構造にして、久TA良木さんがいたら絶対、「そんなの美しくない」と、言われるような作りになっている。実利を優先し、そのためパソコンでも『バイオハザード』の新作が移植できる。これはゲームエンジンの進歩があって、正確にはゲーム・デベロップメント・エンジン、写真をやっている人にはデベロップメントには「現像」に近い意味があって、ネガフィルム一枚からいろんな写真が焼けるような、紙に焼くか平面があるプラチックに焼くかのような、処理をする便利なソフトウェアがある。

ビルドアップ、翻訳とたとえられる。

エラソーに「正確には」と書きちゃったけど、ソフトウェア・デベロップメント・キットと混同していた。だけど、この説明でないと、専門外の人にはわからないぞ。

原版が一枚あればマルチプラットフォームが可能で、（原版のフィルムにあたる）マスターデータをP S 3、P S 4、PSvita、Xbox360、Xboxone、パソコン、場合によってはW i i UからSwitchまでできる。

「ゲームラボ」の検証でわかるとおり、機体によって背景オブジェクトを削っていることでSwitchはP S 3より性能が劣るとされる。

パソコンと基盤構造を同じくするという事は、パソコンと競合する。パソコンは値段が下がって、P S 4に一万円か二万円を足せば、デスクトップのパソコンが買えてしまう。

さらにノートパソコンならドンキホーテの価格破壊機、19800円（税抜き）が買えてしまう。それもモニターはタブレットである。ちょっと前に中古でこの価格帯が出回っていて、前述のP S 3を買うというのはおべっかで、こちらを選ぶだろう。

結論は、美学を優先するダメなハード開発者を営業でなんとかする、これはソニー全体の構造、本業の赤字を金融でペイする事業実態と変わらないじゃないか。

「ゲームラボ」を読むと、P S Pと同じ経過、カスタムファームウェアを入れたP S 4がいわゆる「神機」になれるけど、その実利はさすがにのめないだろう。

せっかくりチウムイオン電池でファーストペンギンになれたのに、盛田昭夫の「パソコンには手を出すな」という遺言のような言葉を守らなかったからなのか、Vaioは呪われたように燃え、結局リチウムイオン事業も売却することになる。

一番真っ先にサメに捕食されるペンギンだったのを、美学があるせいで認めない。

国内エンドユーザーは見切りをつけられて、北米に拠点を置くS I Eになるのは、当然の当

然で、その方向を目指していた。事実、P S 4は国内で700万台ほどで、海外は累計で7000万台売れているとされる。

この世代は、ゲームのビートジェネレーション、くたびれた世代だ。

ニンテンドーSwitchは、いわゆる転売屋がいるせいで、手に入らないという情報が正しいなら、店頭価格の値崩れが置き始めたら、もうブームのようなものが終わる。核爆級のクソゲーと言われた『サマーレッスン』のP S V Rの二の舞になるかもしれない。

中古品価格が店頭価格よりもプレミアがついた状態（うっかり店頭価格ではなく一万円上乗せした価格を言っている「ねつもじ」）だと、メルカリを使った転売ビジネスが可能で、これは不況下で起こる悲しい現実でもある。仮に転売によって10万から20万円を月に儲けることができれば、初任給ぐらいのサイドビジネスになっているということで、転売屋のみなさんが殺到するの、頷ける。

「ラジオライフ」でSwitch転売で儲ける記事が載ったら、ブーム終了。

よかったじゃん、ピョコタン。

朝日新聞で保坂正康と対談していたミナ坊は、もう還暦である。かなり老けて見えた。まごうことなき立派なおばあちゃんである。

イヤだなあ、と思うのは、女子禁制なのに、本更新情報誌を読んでいるかもしれない。ミナ坊が。

『文庫解説ワンダーランド』を読むと、どうやらそういうことらしい。

リベルティーナじゃないのに。

フェミニストはリベルティーナじゃないだろう。

リベルティーナとは叶姉妹の妹みたいな、「どこの穴の、穴が好きな人」である。キリスト教の支配から逃れようとする存在で、キリスト教徒からすれば魔女のような、つまり叶姉妹みたいな存在だ。

さすがに、党派的理由でリアクションしないのは、まずいと思う。

還暦のおばあちゃんが読むものじゃないけどなあ。はっきり言わせてもらおうと、世代的には時間の壁があって、おばあちゃんの読み物じゃない。

宮崎アニメを捨てて、大藤信郎と正岡憲三を選んだ人間だから思想的にも私は国粋派だけど、自分の追従者がプロデビューできないのを、少なからず、気にしているのかもしれない。

そんなの仕方ないだろ。

たしかに『文章読本さん江』を読んで、それでもあえて文章読本を作ろうという無謀なヤツは、私しかいなかったが、勝手に党派にくくられてしまうと、困惑する。

『解説ワンダー』のことも書評のテイをなすためにすると、短編「走れメロス」の文庫解説は、太宰個人の話になりがちで、メロスについて語られない。太宰の自己投影があったのか、それはちゃんとした文芸評論に答えがあると、思われる。（逆に無いと太宰研究は進んでいないということになる）

意外にも、メロスのことをちゃんと語っているのは、文庫解説には無い面白さがあったのかもしれない。たいしたことを書いているどころか、おちょくっているのだが。

斎藤に指摘されるまで、てっきりセレヌンティウスだと思っていた良き友は、実はディオニスで、彼が大日本帝国の象徴だとすると、自分が関わっていた左翼系セクトを弾圧した側に、自分はちゃっかり登用される…そんな「三文オペラ」の大オチみたいなことがあるか！（仮に文壇で老害をまきちらす当時の石原慎太郎みたいな奴だとしても同じ）

終戦後、太宰の評価が好転するけれど、ずっと「走れメロス」は誤読されて、ディオニスが「赤マントしなよ」と言っているとすると、赤マントは日章旗であり、メロスが太宰の自己投影なら、ちゃっかり大日本帝国側に登用されたいという、願望が書かれていただけであって、戦後の人々に受け入れられる内容じゃないのではないか。

だから「友情の物語」バイアスをかけないと、いけなかったのでは？

太宰は海軍伝習所に集まった、カニ文字すら読めないのに、蘭人が披露するオランダ語の授業に出て操船を学ぼうとする、無理をしている幕臣たちに似ている。

明治初期の段階、上田万年らのエリート学者は英語を覚えて、帝大でのお雇い外国人の英語による授業に備えている。これは伝習所に集った幕臣が蘭語をわからなかった反省から早期教育をしておこうという、エリート主義の実践で、14・5才で英語が出来た。英才教育とは、この頃に出た言葉かもしれない。（これと同じ事を義務教育でやろうとしたら、おかしくなるな）

ところが、太宰はフランス語ができないのに、帝大仏文学科に通おうとしたらしい。一代目の苦勞がわからない三代目のような、若ダンナである。杉浦日向子さんは若ダンナが好きだろうけど、商才が遺伝しなくて教養だけはある三代目、「売家と唐文様であり」みたいに手習い以上の高等教育を受けているけど、まったく経営能力が無いところと、近代化にかけた幕末明治の人に比べて物足りないものを感じてしまう。

だから、幕臣たちが丸山遊郭に遊ぶのを勝が咎めないように、太宰の女遊びや当時合法で薬局に一般的に売られていたが、現在は麻薬認定の商品に手を出すことに、同情的になってしまう。

この同情と私への同情は一致しない。

太宰には文才があるが、私は太宰のように才能があるわけではなく、才能があったら文壇にいて、一度二度ミナ坊と左右両翼対談して、「よくも文読を作れないようにしてくれたな」と、憎まれ口を叩くよ。

はっきりセクトが違うから、同情は必要はない。

セクトの中で仲間褒めしているしか、無い。

セクトが違うのだから、評価なんてしなくていい。逆に気持ち悪い。

セクトの内側だから、井上ひさしは奥さんをぶん殴るドメスティック・バイオレンス野郎でも、内側だから戯曲には価値があると言われる。セクトの外では、たとえば宇野常寛さんがよく江藤淳は奥さんを殴った奴と言っているように、まったく評価されなくなる。実証科学のように、ヒューマンエラーさえなければ再現性が得られるものじゃないから。

セクトの外だから、鴻上さんが劇団に所属していた岩崎真哉さんのことで、こちらは礼を言われるようなことはできていない。そもそも礼を言われるためには、「シルエットアクター」がゲーム市場にリリースされていなければならない。

正直に言えば、そこで鴻上さんに褒めてほしかったけど、それはありえない未来の思い出になったんだ。

斎藤の場合、自分の著作を読んでいた読者が、同じように読み書きして記事を書いても、ライターになれていない。それは出版不況なのだから、機会消滅でデビューチャンスが無かったし、こちらは才能が無かったと、諦めはついている。

見える化されているだけで、そもそも当たり前の事象だ。

プロ野球の世界と同じ。

『封印作品』の人は、本が売れなくてライブドアに入社して、ラインで働いている。一時的に作家になれても、結局廃業しているのだ。本を書く為に自転車操業的に印税を次作の取材や資料費に使っているまでは、あとがきを読んで知っていた。その後見かけなくなったと思ったら、貯蓄が底をついて就業していたのだ。そういう例は探せばいくらでもあるだろう。

これは干物になりそうなミナ坊をダシに使っているだけである。

あんまり貧乏自慢もしたくないし、どこかの段階で書かなくちゃならないと思っていたけど、私はお金が無かったのだ。貧乏で任天堂のビックタイトルを追うのがやっとで、洋ゲーを追えなくなってきたから、ゲーム会社で働かないと、いけないと思うようになって、そのときゲーム業界が、がっぷ獅子丸の言う「一番役に立たない奴が消えたら会社が傾いた証拠」という、一番役に立たない奴をゲーム会社はもう雇う余裕が無い。

もう皆わかっているけど、雑誌に人材募集広告が出ても、採用実績ゼロでいい。なぜなら、グループの広告代理店に資金が流れる「内部金融」できればいいのだ。

おそらくサイバーコネクトツーツーはそれをしている。

こういう経緯で五社にアイデアをパクられたら、普通というか、寛容な人間でも鬼のように怒るだろう。

カンニングしているようなら、「入社しなくて本当によかった」と思われても、仕方ない。

『少年の名はジルベール』でアシスタントを使っているちばてつやは一枚五万も稿料をもらえるけど、一枚二千五百円しか稿料をもらえなかったら、「革命を起こすしかない」という動機が生まれる。

繰り返すけど、還暦のおばあちゃんになるくらい、著作も豊富にある自分の本を読んできた読者は、作家やライターになっていない。出版業界にその受け皿が無いというのは、ミナ坊が一番か二番、よくわかっている（慣用句をちょっといじってフックを入れている）だろう。

余計な情報として、ほんぽ一との「こけらおとし企画」の講演を聴きに行かなかった。テラさんの妹さんの話は聴きにいったのに。あんまりこういうネガティブな情報は書かないようにしていただだけである。

わかっている、あえて言ったけど『読本さん江』以後に文章読本を作られなかったのは、斎藤のせいじゃない。出版不況のせいだ。パルプをほとんど輸入に頼っているから円安誘導で息の根を止められそうである。

おそらく、例としてあげられた大作家、大江健三郎や五木寛之が文読を出しても、ペイしないかもしれない。「そんなことない」と反発して、文読を出版して赤字が出ても知らないよ。私に責任はない。

ミナ坊はこれでわかってくると思う。

「もうアイデアをパクるなよ」

党派じゃないんだから、許してくれない。セクトの外だから評価しない。セクトというかスキームだけど、それはバンナムグループに所属させない、労働賃金を出さないという態度をとられたのだから、敵に回っても仕方ない。

ドメスティックバイオレンスをする旦那様（井上ひさし）のように謝罪をするけど、ミナ坊ダシに使ってごめんね。もう二度すんなよ。

シミュレーションRPGというのは、ロールプレイングゲームよりも起源が先かもしれない。ガイギャックスの伝記本を読んで、なんとなくそう思った。心霊体験を経て、ウォーシミュレーションが幻想世界を舞台とする、まさにインスピレーションを得たと。

もう結婚して子供もいる、いい年なのに地下室で砂場を作り、山をもって地形を作形し、戦車や攻略する砦の模型を置いて、ウォーシミュレーションする。そんな火災保険会社に働いていた趣味人として生きる巨人、ゲイリー・ガイギャックス、言わずと知れた『ダンジョン&ドラゴンズ』の作者である。

困ったことになった。アバロン・ヒルのウォーシミュレーションのボードゲームを元に作られていたと伝記を読むとわかった。アバロン・ヒルのボードゲームについては、金欠で手に入らない。ボードゲーム「アベ・カエサル」とか、高いのだ。一本のゲームソフトが買える。面白いとは、聞いているけど。

「ウィザードリィRPG」も手に入れて、いろいろ精査するのは読者が調べてということになった。あんなにページにスペースを空けておいて、村正のダメージ判定を検証するデータやいろいろな考察が載らないのか。そういう読者様のご期待を裏切ってしまうて申し訳ないが、わかりやすく予算が無いので、載せられない。

歩兵 → 戦士、衛生兵 → 僧侶、砲兵 → 魔法使い、工兵 → 盗賊と、後はバリエーションになる。ロールプレイングとは、近代戦の職種のロールプレイだったと。わかりきっていた結論が裏付けられた。

『ウィザードリィ』だと組み合わせで戦士+魔法使いで侍、戦+僧侶でロード、僧+魔でビショップ、戦士+盗賊で忍者である。このあたりは、ドラクエの転職システムになごりがある。クラスチェンジである。

実際は、戦士からロード（君主・地方領主）へクラスチェンジできない。

クラスというのは、カーストとほぼ同じ。職業選択は出来ず、ほぼ職業階級に定められている。それは中世ヨーロッパでも同じで、王族に生まれたら王様に、農奴に生まれたら農奴のままの人生（農奴にも王様の血が入っているかもしれないけどね）であり、これを近代化して部分的に、あるいはほとんど止めようとした革命があった。フランス革命後にコルシカ島に生まれたナポレオン（たぶんラテン系でイタリア北部から広く分布していたガリア系フランス人ではない？）が皇帝にまでなっている。

アメリカで、そのクラス制を復元するゲームを作るのは、所得階層が固定化されている現状があったからかもしれない。年収数万ドルはこの地域、ミリオンダラーはゲートタウンに住む、というふうに住む場所が違う。

どう考えてもゲートタウンを舞台としたホラームービーがあるべきだけど、それが無いのは映画出資者がゲートタウン内に住んでいて、難色を示すのではないか（ロケもできない）。ジェイソンやフレディみたいな殺人鬼がいても、自分たちが築いたフェンスのために逃げられない。ゾンビが発生したら大変である。人々がゲートに殺到するが、殺人鬼やゾンビに殺されるよりも

パニックになってもみくちゃになって死んでしまった人の方が多いとか、皮肉を描けてショッピングモール（の備え付けのシネコン）に行く低所得者の溜飲が下がると思うが、映画出資者にとっては、眉をひそめるものだから、インディペンデントで作りグラインドハウスでプリントを回すしかないだろう。

トランプ大統領はメキシコとの国境線にフェンスを築き、合衆国ごとゲートタウンにするということは、外側に逃げることを許さないためだろう。

余計なことを書いた気もしないではないが、所得階層によるアメリカンクラス（注・クレジットカードの事じゃない）の実態というものが、このように実は反映されているかもしれない。

ビジネスチャンスがあったときに、そのチャンスを掴まないと、所得クラスから脱することができない。ガイギャックスが『バック・トゥ・ザ・フューチャー』のお父さんみたいになってしまう。マーティ父はプアホワイトすれすれで、お母さんはのんだくれていたが、ガイギャックスの別れた元奥さんも、アルコール依存症で入院している事を考えると、ある種の相似形性をはらんでいる。

ミリタリーチックな話に戻ろう。

戦車が『ファイアーエムブレム』で言うところ、アーマーナイトで、砲兵のRPG、金属蒸気をノイマン効果で排出するロケットランチャーが魔道士の魔法にあたると考えれば、わかりやすいはず。『機関銃の社会史』を読めば、戦車は機関銃の弾幕の中でも進める兵器として、考案されているが砲弾には弱かった。履帯をカバーするためのカウルは、機関銃でも破損するために、されたのかもしれないが。

まあ、つまりシミュレーションRPGは、ウォーシミュレーション・ボードゲームに先祖返りしたと、言えなくも無い。そもそも『ファミコンウォーズ』をファンタジー世界に換装しているのだから、カウルを剥がした中身がポルシェ博士の科学的愛情のようなものである。

魔法がレベル制使用回数制限だったのは、砲兵の練度によって使える弾（弾頭）があって、カティノ＝第一次世界大戦の化学兵器であるところ、毒ガスであったのか、そこまで検証するつもりはなかったが、ちょっと調べてきたネタで榴弾と榴散弾、催涙弾（臭化ベンジン）、マスタードガス（ジクロロエチルサルファイド）を弾頭に仕込む事ぐらいは覚えてもらわないと、いけないかもしれない。塹壕を越えた先の敵陣地に撃ち込む砲弾の弾頭になんらかの化学ガスを仕込む。これをよく訓練されていない新兵に扱わせると、危険である。味方陣地で暴発したら、それは目も当てられない被害がおよぶ。（現在化学兵器を使えなくさせているのは戦勝国が「魔法に制限を加えている」ということか）

これでレベル制であるというのは、わかると思うが、それでわからない人には弾頭の最終レベルは核、つまりテイルトウェイトである。残弾に注意である。

『世界樹の迷宮』はもっとミリタリー寄り。常在戦場なんて、スキルが存在する。まるで、生き残れないモノは死ねといわんばかりだ。

タイトルにある、巨人の末裔がどうのこうのというのは、どういう意味か、本を直接読め！ダビデのつぶての投擲によって殺められたゴリアテというのが、面白い（判定ロールに成功）。中沢厚が生きていたら・・・喜びも哀しみもしない。

死のトロロウ

4人じゃなくて 五人だよ

河童

サントイッチマン

漫画少年
をかかえんゾウ

ゲリヒー

サントイッチマン
の
くん

サントイッチマン

漫画少年をかかえたゾウは超人デストロイヤー・マンモスマン並に強い

皆さんはトキワ荘作家の一人、寺田ヒロオをご存知ですか？

藤子不二雄や赤塚不二夫のマンガに出てくるテラさんの愛称で呼ばれる、寺田ヒロオについての本が『兄になりたかった人』なんです。新発田市近郊に住む著者が、新発田市育ちのマンガ家について書いた物だと、郷土史的な地元愛を持ったてぬかりのある物を期待するでしょうが、それは裏切られてしまいます。

郷土人の漫画家を手放しに礼賛、称揚を求めて本を開けば、手酷い歓迎を受けるでしょう。

寺田ヒロオは少年漫画を描いていましたが、筆を折ってしまい、茅ヶ崎の自宅に引きこもって、おそらく連続飲酒を続けて、健康を害して亡くなってしまいます。書籍でも書かれている通り、長谷邦夫さんはその死亡記事を読んで、フジオプロから出奔するのです。

寺田ヒロオ、愛称テラさんには謎があります。

それなりの答えが出されています。それは著者が悪い心を持つから、この結論に至ったとあります。邪悪な読者であるから、気づけることがあるのです。そして邪悪な読者でないと、気づけないことが書かれています。

その糸口が兄になりたかった人ではないのか。終戦後の社会で、兄になるとは、戦前に向かっていくか、戦後に向かうか、その路線の違いがあります。

毒のあるパロディにされてしまったテラさんのことにも触れています。それは取材できなかったために、本としての水増し分と考えてよいと思います。

藤子不二雄の話では少将とされる寺田の父は、『廃墟の残響』に拠ると著者が軍人名簿を調べてみると寺田姓は中将にいて、出身地も新潟ではないとされています。取材でこの穴を埋められていません。連隊長をしていたと言われ、大佐クラスなので戦死による二階級特進で最終的には中将になっていても、おかしくはありません。

これはいったいどういうことなのか、取材したくてもできなかったらしいです。靖国神社にある名簿を閲覧しなくてははいけません。

仮に今、出版社が企画出版に応じて、取材経費や折衝などのサポートが受けられるか疑問で、あとがきに書かれているようにテラさんを少年漫画から追い出すような懸念があります。

それにもし、取材をしていたらご遺族・関係者の事を考えて、手心を加えていたかもしれませぬ。口を噤んだ戦場体験者について、事実一までしか触れないのは、正しいと思われませぬ。

トキワ荘神話の、ギリシャ神話や北欧神話や日本神話の残酷な部分を垣間見る事になる、無謬無悪ではいられなくなる、少年をやめてしまった側の悲しい逸話、そんなノンフィクションです。

。 本当はラジオ番組「東京ポッド許可局」のコーナーに投稿メールを……許可局員でもないし、こういうのは、送っても採用されない。自分の作った本だし、hontoで読めるわけじゃないので、メールは控えた。

宣伝だと思われる。分別ある大人だから自重した。「れ～なう～ん♪ れなうんおじさん♪ (中略) 屁理屈 イエイ♪イエイ♪」

メモ 山際はどんなブックレビューを書いただろう

『神々の山嶺』を読んだ。

夢枕獏の小説を原作とした谷口ジローのマンガである。

山際淳司の『みんな山が大好きだった』で話題にされるアルピニストがモデルになっている。山際がこの小説を、このマンガを、そして映画を観たら、どう思うだろう。記者として何か記事、書評、マンガ評、映画評を書いてみたかったのではないのか。

アルピニストとはいっても、アルプス山脈を単独行で登る人物たちである。単独行を行うアルピニストは、そうとうに我が強い。

山岳界限では有名なので、省略して話すとその昔、日本山岳協会はK2の冬季登頂に第1アタック、第2アタックと部隊をふりわけたのだが、第2アタックに選ばれた人物は、K2に登るのをやめてしまう。

しかし、第1アタックは予想された通り、登頂に失敗。後発の第2アタックの部隊が登頂に成功する。第2アタック部隊に控えていれば、前人未到の冬季初登頂に…こうしたサブには回れない山男たちの実際のエピソードをモデルとしながら、聖なる山サガルマータを舞台にソロクライマーたちの物語、情念が錯綜する。

今、ネパール政府が禁止している単独登頂を、ソロクライマーたちが目指すのだが、その理由は山際の著書『みんな山が大好きだった』に書かれている。全ての山が征服された後、今度は命を落としかねない過酷な条件で登ろうとする。その人物たちを見ている山岳記者の深町は、山際の姿と重なる。

単独行を普段している山男が二人組みで山にアタックすると、共倒れになる。

それは我が強いからだ。

自分さえ生き残ればいいと、割り切らない。生き残るためのエゴイズムすら、私の強さが凌駕する。そんな男達の物語だ。

1995年、山際の死後、深町はエヴェレストに挑む。

真実を知るために、最高峰を目指す。実はその際、ベースキャンプに女性を残している。

21世紀は山野井夫妻の物語になる。ペアクライマーでの登頂になる。ロープで体をつないでいなければ、雪崩で確実に死んでいたということもあったという。

・追記 冬季エヴェレスト南西壁無酸素単独登頂

山際は『遊びと人間』を読んでいるかのような、記述が見られる。中大法学部出身で、なぜかスポーツ記者になった彼が、なんでルーデンスとカイヨワのルドゥスとパイディアに気づいたのか、わからない。千冊以上読破で読書スピードが早くなるという、エッセイも書いているから、もしかしたら読んでいるかもしれないが、それにしても、不思議だ。

便宜上、ルドゥスは高い低いにしたが、これはあっているようだ。世界最高峰が踏破されたら、レギュレーションをきつくし、冬季・無酸素・単独という上の高さ、ルドゥスアップされた「未踏峰」を目指す。

いまの斎藤祐樹くんが落ちぶれている。

ゴルフでいえば、あんなにすごかった石川くんが松山くんに抜かれているみたいに、田中将大にハンカチ王子が抜かれているというか、差がどんどん開いている。

十年より前ぐらいに、まだ教育テレビの頃に、「日本の話芸」でヨネスケがおちぶれたハンカチ王子の話をしている。

メジャーリーグ通でももちろん国内野球シーンもそれなりに知っていた落語家が、新作落語でそんなネタをかけたら、落ちぶれるに決まっているだろう。

予言通り、落ちぶれてしまった。

甲子園優勝も、たしかマーくんが風邪をひいていて本調子ではないから、未来のニューヨークヤンキース準エースクラスに勝てるわけないのに、勝ってしまったから、変に株が上がって、佑ちゃんは栗山監督の温情起用で息を繋いでいる状態で二年に一回ぐらい勝利投手になる。

ポルシェも売って、びんぼっちゃまの格好をして、「おちぶれてスマン」と、「天才たけしの元気が出るTV」が放送されていたら、そんな企画があったかもしれない。

大川博といえば、『孫悟空』の孫悟空が東映の社長室に遊びにいくと、『ロジャーラビット』みたいな映像で出てきた大川さんである。ドロドロのヘドロをかけたら溶けてしまい、「ヤツはアニメだああ！」と言われそう。（どこかに収録するとき絶対にカットするなここ）

今からみると、単純に技術力を見せたくて、応接セットの椅子に遮られて足元が見えない作画もできると、そして相対的に背景のみなら、テレビアニメでもできるという試みが、モノクロアトムで富野監督がカラス天狗とアトムが争う回で挑戦している。東映に入社できなかった富野監督の意趣返しである。

殺陣の練習をするために、バレーボールを木刀で叩くという一茂演じる時代劇俳優が、バレーボールを空振りしてその場を氷つかせたという、撮影伝説のみが残る朝の連続テレビ小説「オードリー」（「トゥース」といっちゃダメ）を見れば、東映の戦後史をだいたいなぞっている。

それで東映フライヤーズにあたる球団を手放さざるをえず、映画界の斜陽をよく表現している。もちろんこのフライヤーズのオーナーが、大川さんだ。

私は、誰が演じたか、失念してしまった。

実際に戦力補強ぐらいにお金は出すが、後は「カネを出しても口は出さない」という、レナウンさんの元ネタである。八名信夫さんが球界引退後に、親会社が映画会社だから俳優に転身したのか、そんなことまでは書いていない『ディズニーを目指した男 大川博』である。

副題にあるように、今では“忘れられた創業者”となっている。何を創業したかということ、日動映画を買収して、東映動画（現・東映アニメーション）を設立した人物である。

創業といえなくないが、劇映画の配給・制作会社である東映の社長も兼任しているので、事業拡大のため、時代劇の東映、現代劇の新東映、そしてアニメの東映動画を設立して磐石な体制を築くわかりやすい経営拡大戦略だったと、今の段階なら、言える。（時期を同じくするか、洋画配給の会社も他社と共同で開設しているらしいが、これが大川の手なのかは裏取りはしていない）

東映動画の初代経営者ということで、東映動画を「東洋のディズニーにする」という、発言のみが世に広まって残ってはいる。

だがディズニー社を目指すのであって、けして自分がウォルト・ディズニーになろうとしたわけではない。そもそもウォルトと共通するのは、鉄道好きであること、ぐらいである。

やはり経理畑を歩んできた大川さんと似ているのは、ディズニーはディズニーでもロイの方だろう。

誰も、金庫番ロイの方を目指したいとは思わない。

しかし、予算管理に厳しいがロイも、作品内容には口出しはしなかった。弟ウォルトを信用していたのか、映画に知識が無かったのか。ロイは弟が血縁のために信じぬくしかなかっただろうが、博の場合、後者であった。

有名な『シンデレラ』か『白雪姫』かのエピソードで、予算を小出しにさせて、膨れ上がった制作資金回収のために、映画を完成させ公開しなければならなくなった。後日、資料を調べたら

、『白雪姫』のエピソードであり200万ドルかかったが、大ヒットで800万ドルの配収を得たという。

弟の創作意欲に巻き込まれた兄ロイの苦渋はなんとなくわかる。

東映社長として大川社長は、似たような事をマキノさんに『ひめゆりの塔』の制作で、されている。津川さんみたいにマキノさんと書いたが、マキノ光男はマキノ省三を祖とするマキノ一門、というか子供であり、彼の甥が長門津川兄弟である。

『ひめゆりの塔』はヒットして、制限された制作費の四倍ほどになったが、配給収入はその倍であったからよかったものの、危ない橋を渡っていたのである。

これがコケていたら、

「みなさんの大好きな『仁義無き戦い』がありませんでした」

ということになる。

よくパロディにされる波を背景に三角マークが荒波に流されそうだった。

矛盾というか経理の人・会計係だから、金食い虫のアニメ映画製作にしぶるといふところがあると思うのだが、何故か、それなりに予算を出していたらしい。その反動か、大川さんが病気で経営に離れた辺りから、アニメーターの労働問題が表面化し、これも有名な指名解雇などの問題が表面化する。

もしかしたら大川さんがいた時代がアニメーター蜜月時代だったかもしれない。他の書籍では東映の労働争議という、偉い問題が持ち上がっていたのである。これはロイの立場だから語られにくい。ウォルトの立場だと、アニメーターに「偽善者め」と罵られた。本当のことである。

私の結論は、ディズニー社を目指したが、結局ロイ・ディズニーになってしまったというものだ。それでも配収的に見て、世界に販路が無いとアニメ制作費の回収が難しいため、『西遊記』や白蛇伝説をアニメ化して、アジア圏のディズニー社のような、そういう構想があったと思われる。

西洋の欧米の覇権は取れなくても、せめてアジアの覇権はとるといふ大東亜共栄圏的な考えが、それが東洋のディズニーでアジア的な作品をコンスタントに作っていく経営戦略方針だった、はずである。

『大川博』では語られていないが、当の現場のアニメーターたちは、『やぶにらみの暴君』というフランスアニメ映画に感激していたのである。東洋的なアニメとその市場に向いていなかった、齟齬がある。

現場と経営が目指している方向が違ふと、割れる。大川さんの頃からそれはあったが、経営が次世代になると、決定的になる。

とはいえ、もし「東洋のディズニーを目指す」というスローガンを掲げなければ、採算の合う商業映像の制作会社として、東映動画は終わっていたかもしれない。

「みなさんの大好きな『明日のナージャ』がなかったかもしれない」

こうした大川さんが急死で東映の経営から離れた後の物語は、撮影所視点で春日太一博士（芸術）の『あかんやつら』（主要参考文献にもある）がある。あわせて読みたい。

少し、今までの話とはズレるが、スタジオジブリはディズニー社を目指したわけではないし、なるつもりもなかった。ビデオソフト販売は日本支社が請け負っているが、スタジオジブリ社はアンチ・ディズニー社になれたと思う。

大川さんにとっては、どうでもいい話。

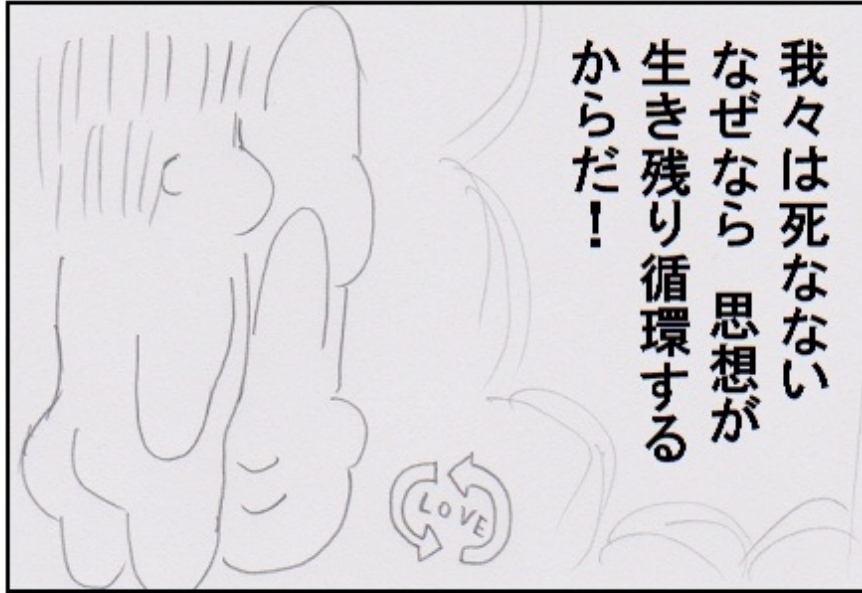
広告



証言UWF 最後の真実

も宝島社から出ているので
前田日明の反論もあり
選ばれし者の恍惚と
不安を眼に焼き付けろ

今の日本のナチズムみたいにか？



我々は死なない
 なぜなら 思想が
 生き残り循環する
 からだ！



更新情報誌では
 重大な倫理規定違反



イリーガル ユース
 オブ フェイト



この最後の
 壁を突き
 破られたら

人類は
 もう終わりだ

どうん

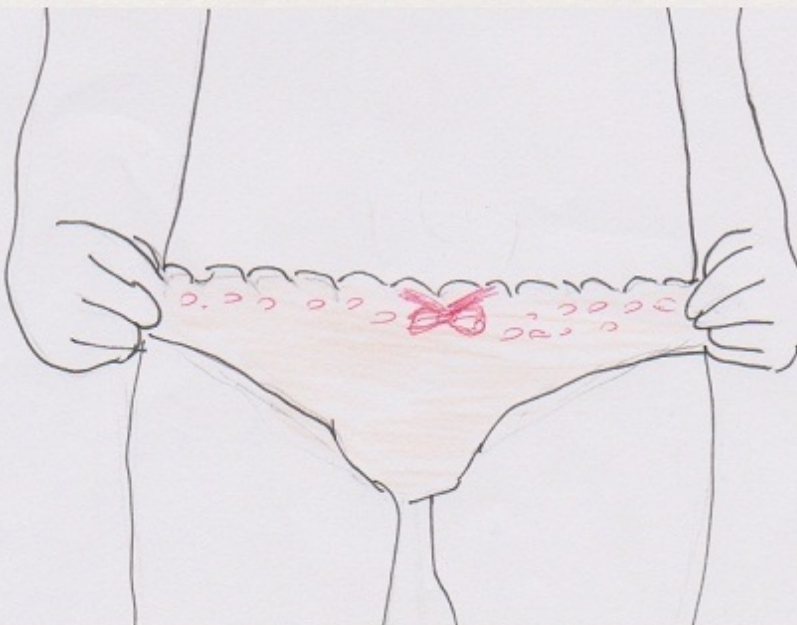
うんこが
もれそうだけど



なのはくと
ダンスしたいから
男らしく我慢

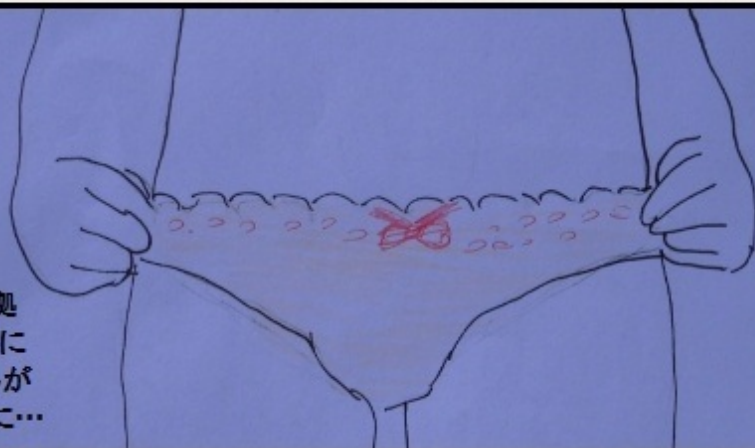


もうだめだ 最後の手段を
使うしかない なのはくん
ぼくのことを 嫌いにならないで



最後の手段が
今日子ちゃんの
*ズボンをはく事？

女性物の下着を盗んだ咎で連行されたフエイトくん



決定的証拠
これをネタに
なのはくんが
東方警察に...

そのため黒ニヤゴと
ちんころ平平がお助
けにきた

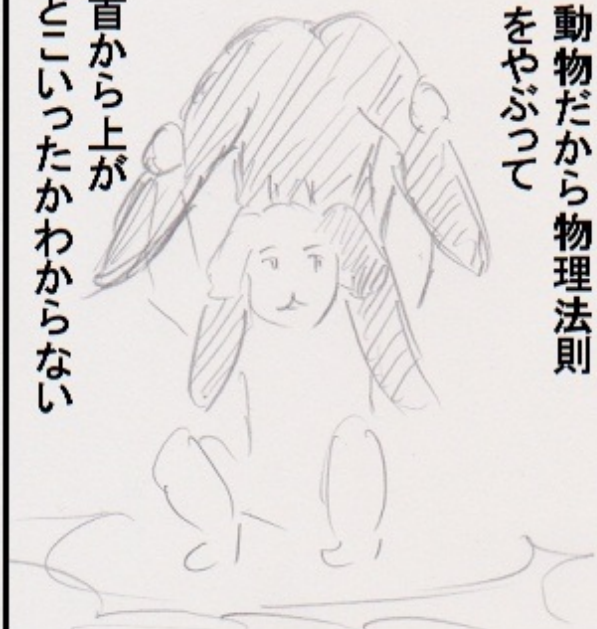
理屈はよくわからないけど

ローリングファイヤー
する黒ニヤゴ



動物だから物理法則
をやぶって

首から上が
どこいったかわからない



しゃべれるしね

本～
一仕事
終了だ





健全育成条例違反

主人公は遺伝子が進歩している(性染色体異常)からイズモちゃんとか赤ちゃんが出来ないから、そんな心配要らない。



ジェーン・スーの
今夜もカネで解決を読む



疑問がわかるとき、君たちは大人になり、もうあり思を必要としない

素朴な疑問

更新情報誌
を読んでいると
のれんの奥とか
ワカメの…



向こうとか
よくわからない
言葉が出てくる
んだけど

ウォルシントンゲーム
は難しいなあ



それは
横井軍平
さんに
聞かない
とね

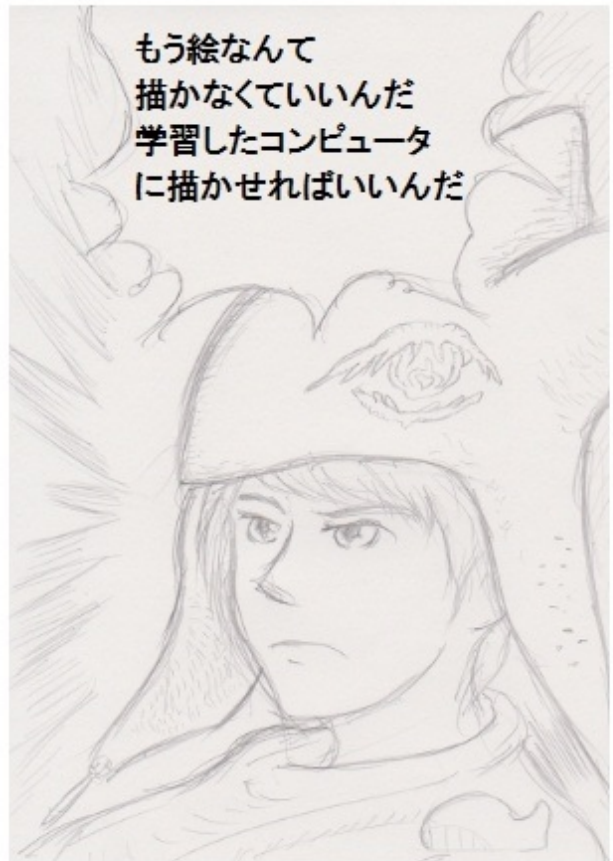
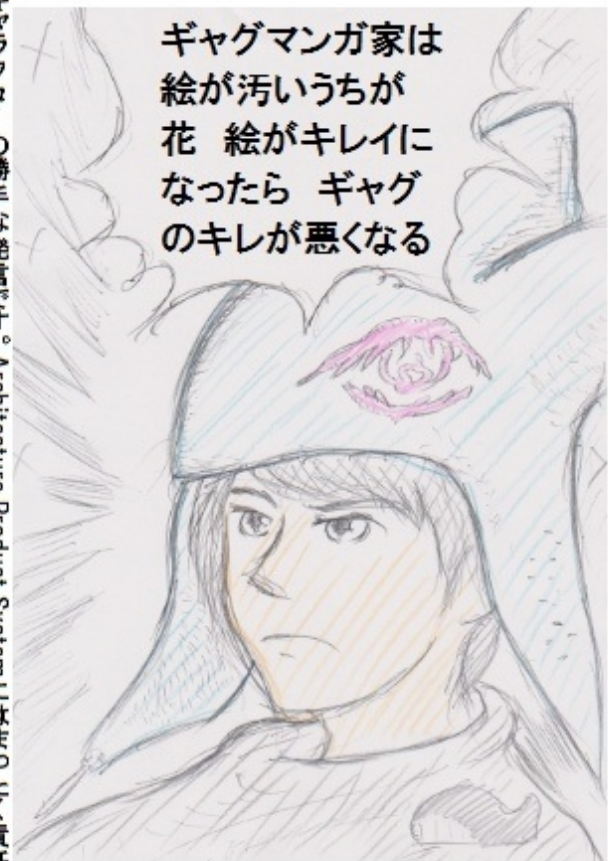


ええー



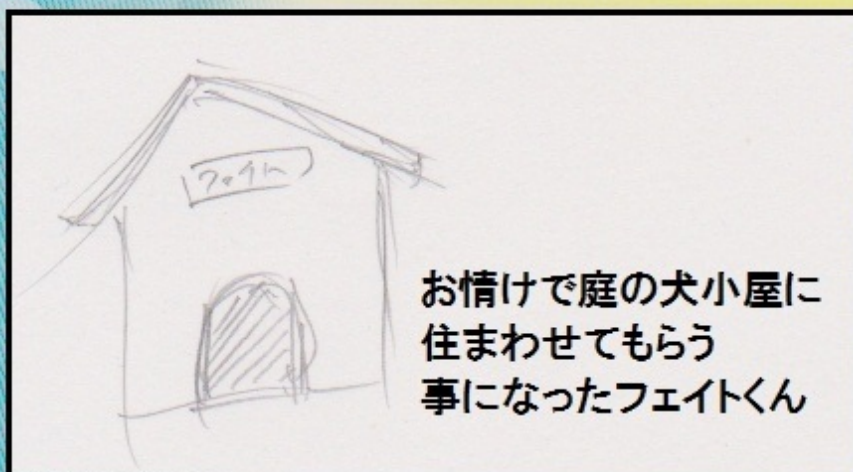
広告欄

けして 緑赤青金銀 を宣伝しているわけではない
答えが書いてある親切に打ち震えるほど感動！



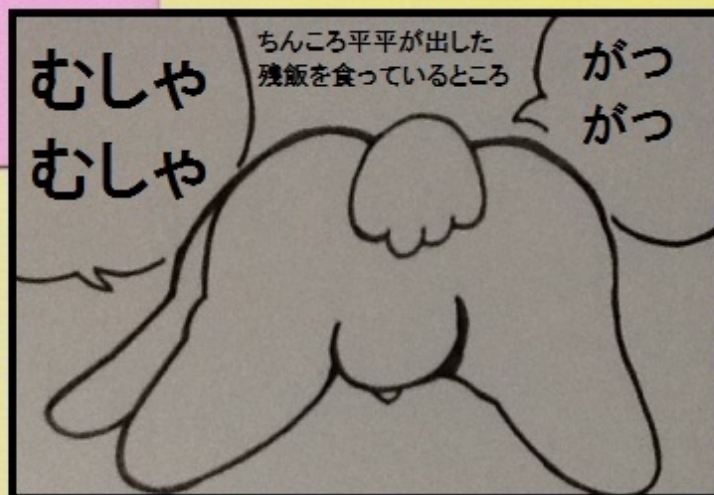
キャラクターの勝手な発言です。Architecture Product Systemにはまったく責任が無く、たとえあったとしても、負えない。

たしかに

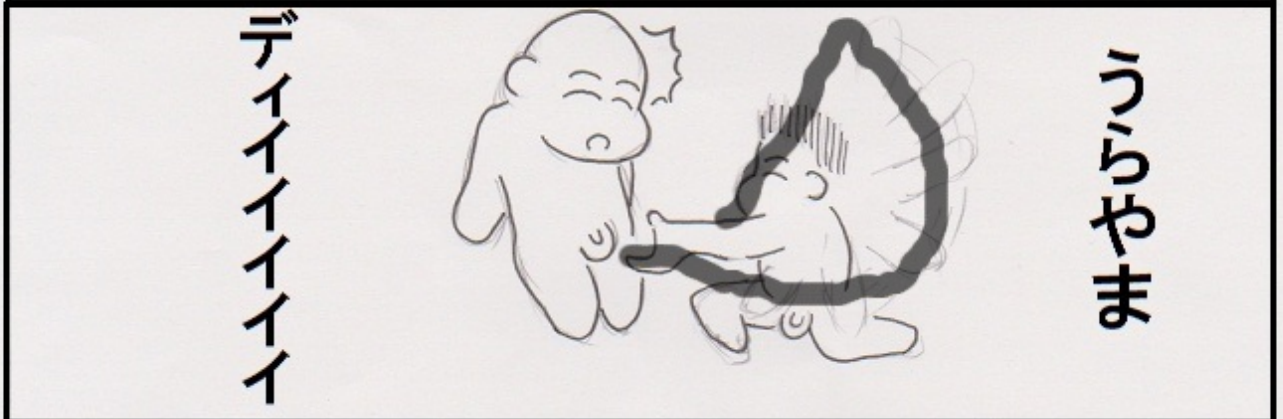
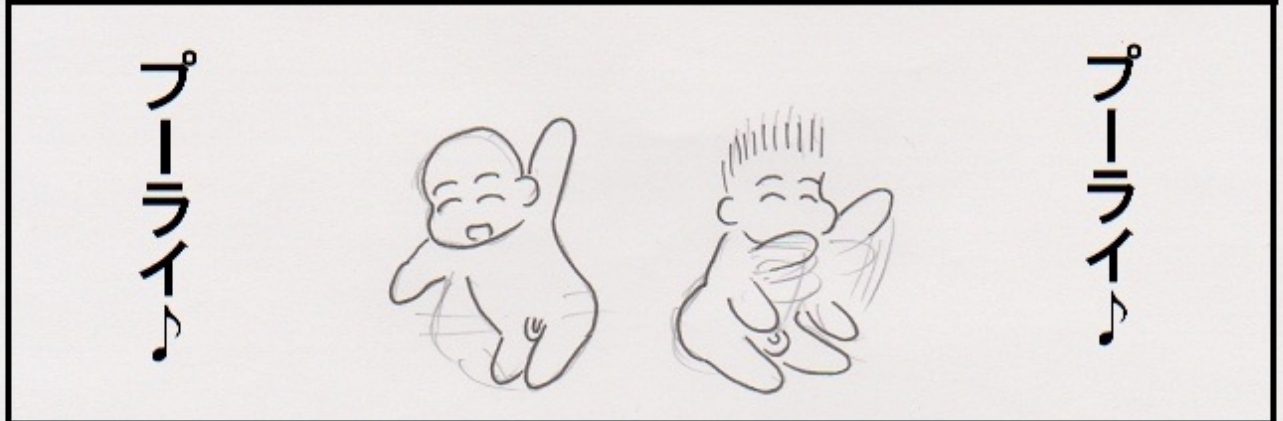
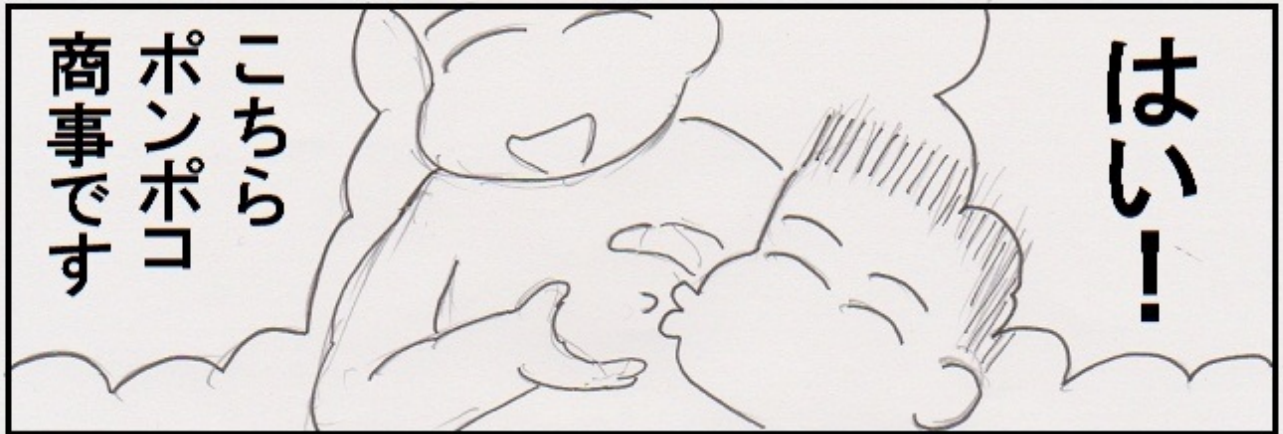


新設定 情報解禁

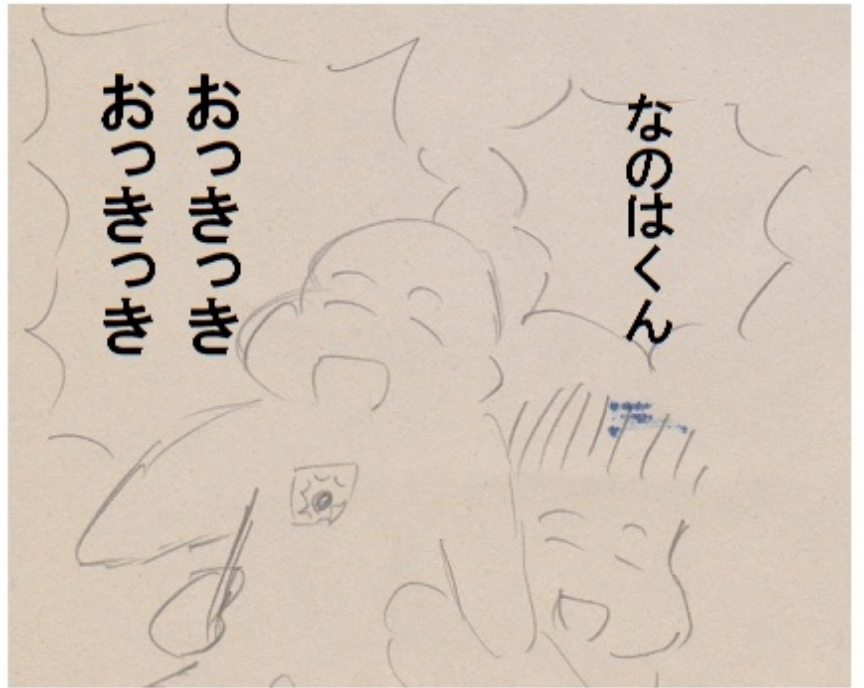
書下ろした絵もあるが、百万回コピーされて
貼られた画像だから 別にいいだろう



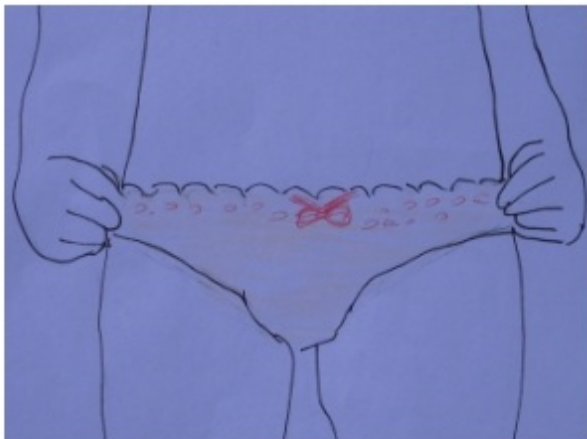
家畜人ヤブーみたいな話になっているぞ



寝ぼすけな
なのはくんの
ために



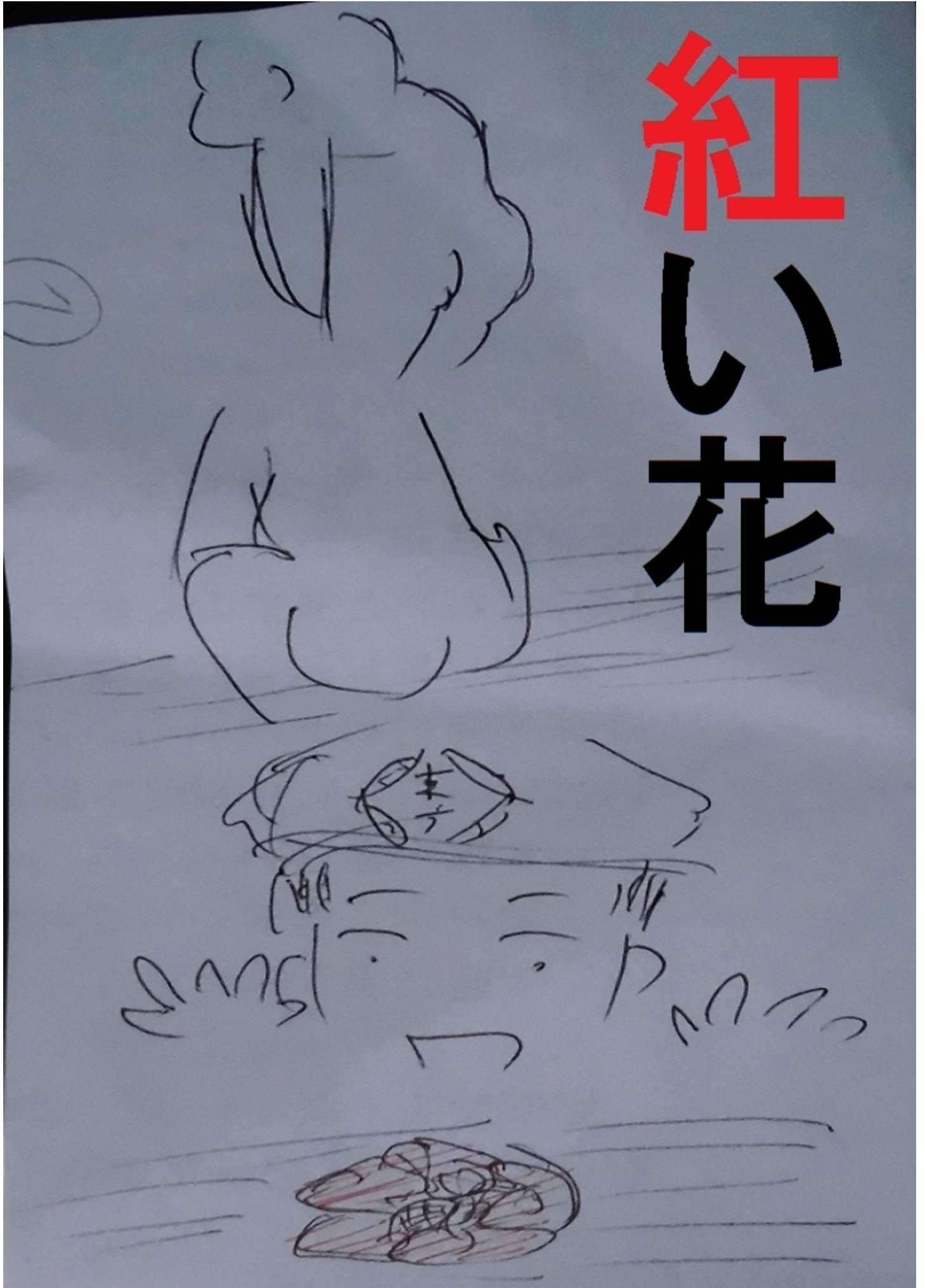
朝のおめざは
しぼりたて
ミルクで



顔をお*ズボンで拭くために
平行世界から他人の下着を盗み出す

この犯罪が発覚して死刑になる

紅 い 花



謎の逆回転



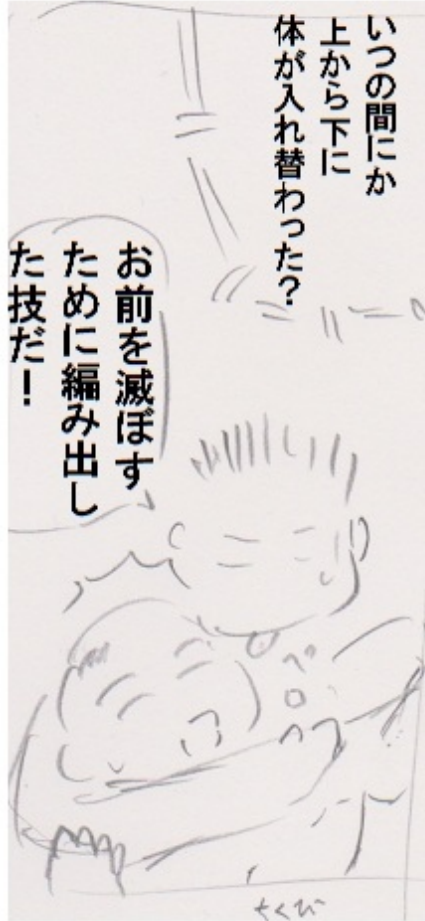
タイムマシン！ 『新喜劇思想体系』を読みなさい！

フェイトくんと
なのはくんの
対決も大詰め



いつの間にか
上から下に
体が入れ替わった？

お前を滅ぼす
ために編み出し
た技だ！



なのはくん
キミはぼくの
妄想が生み出し
た産物なんだ…



ザ・ダークネス・ハンター アンホーリーナイト

SFC用ソフト 発売中



エミリーじゃなくてユカリです



フアントムじゃなくてクー・クラックス・クランの娘だYO



世界樹の迷宮Ⅳ



パトラさん レベル25
秘宝は「氷面畔ノ霞」

はい

